

每月第一土曜日刊行
東京數學會社雜誌

第十二號

明治十二年二月一日



理学部 和 遡及

022132002017727



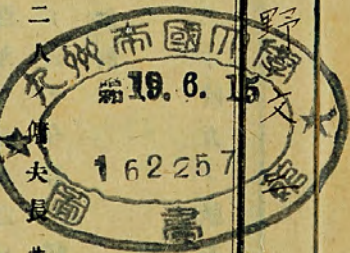
九州大学蔵書

利金ヲ算計スレハ其比恰モ二ト一トノ如シト云フ因テ各

而シテ其月數ノ比三ト二トノ如キニ至リ其
借ルニ利率相等シカラス之レヲ比スレハ四
國ヲ他人ニ貸サントス甲アリ其内若干ヲ借ル

ト然ラハ該夫ノ肩ヨリ幾尺ノ所ニ其重物ヲ
重サ二百斤ナリ今甲乙二人
之レヲ荷擔モントスルニ乙夫ノ力僅ニ八十斤
ト然ラハ該夫ノ肩ヨリ幾尺ノ所ニ其重物ヲ

學雜問



眞野圖書會社 贈

- 一 本社ノ大意ハ第一號ノ題旨ニ依テ知ルベシ
- 一 本號ノ諸問題ハ入社人ヨリ蒐輯スル所ニシテ其答商ハ必ス次号ニ記載ス可シ
- 一 入社人ニ非ザル者ト雖モ奇異ノ諸題ヲ投スレハ其題ノ巧拙ニ因リ之ヲ取捨シ記載スシ
- 一 諸名義譯例トハ漸次ニ改正ス可シ
- 一 集會ハ毎月第一土曜日午後一時ヨリ湯島昌平館ニ於テス
- 一 入社セント欲スル者ハ集會日ニ該館へ來リ名簿ニ住所ヲ記テ出ス可シ

明治十一年二月

東京數學會社

- 一 本社ノ大意ハ第一號ノ題旨ニ依テ知ルベシ
- 一 本號ノ諸問題ハ入社人ヨリ蒐輯スル所ニシテ其答商ハ必ス次号ニ記載ス可シ
- 一 入社人ニ非ザル者ト雖モ奇異ノ諸題ヲ投スレハ其題ノ巧拙ニ因リ之ヲ取捨シ記載スシ
- 一 諸名義譯例トハ漸次ニ改正ス可シ
- 一 集會ハ毎月第一土曜日午後一時ヨリ湯島昌平館ニ於テス
- 一 入社セント欲スル者ハ集會日ニ該館へ來リ名簿住所ヲ記ス可シヲ出ス可シ

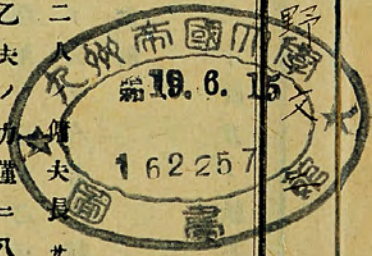
明治十一年二月

東京數學會社

第一套
算數學雜問

一 重物アリ其重サ二百斤ナリ今甲乙二人夫長サ七尺ノ杆ヲ以テ之レヲ荷擔モントスルニ乙夫ノ力僅ニ八十斤ヲ荷フニ足ルト然ラハ該夫ノ肩ヨリ幾尺ノ所ニ其重物ヲ掛ケテ可ナルヤ

二 或人金二万圓ヲ他人ニ貸サントス甲アリ其内若干ヲ借ル後乙其殘金ヲ借ルニ利率相等シカラス之レヲ比スレハ四ト五トノ如シ而シテ其月數ノ比三ト二トノ如キニ至リ其利金ヲ算計スレハ其比恰モ二ト一トノ如シト云フ因テ各



眞野圖書
贈

人ノ元金ヲ問フ

三

凡ソ物水中ニ在リテ減スル所ノ重量ハ恰モ其物ト同積ノ水ノ重量ニ等シキモノナリ今池中ニ巨石アリ試ミニ水中ニ於テ其重ヲ量レハ一百八十斤アリ若シ該石ノ重率ヲ二奇零五トスレハ其實重如何

四

栓木アリ其重三十匁鎖塊アリ其重一百九十五匁之レヲ合シテ水中ニテ量レハ只七十五匁ナリト云フ今若シ鎖ノ重率ヲ七奇零八トスレバ栓木ノ重率ハ如何

五

一室アリ其長横相等シ其天井ハ一尺二寸四方ノ紙若干枚

ヲ以テ貼付セリ今之レニ代ユルニ九寸四方ノ新紙ヲ以テスレハ紙數ノ增多スルコト一百七十五枚ナリト云フ室ノ廣サ幾何ナルヤ

六

二十六号

一 球アリ之レヲ彩色スルノ費ヲ金一圓トスレハ体積之レニ八倍スル球ヲ彩色スルノ費ハ如何

七

二十六号

一 池アリ其周一百間ヲシテ周行自在ナリ今周圍ノ一所ニ一百個ノ石アリ一間ヲ隔テ、之レヲ池ノ周岸ニ並置セントス若シ一人ニテ一個ツ、運フ片ハ其人歩行スルコト幾何コシテ全ク之レヲ卒フルヲ得ヘキヤ

第二套

代數學雜問

一

三職人アリ共ニ一事ヲ營ム其力等シカラス初メ甲二日
 乙四日丙二日ニシテ其業ノ三分一ヲ成シ次ニ甲三日乙二
 日丙五日ニシテ殘業ノ五分三ヲ成シ最後ニ甲一日半乙三
 日丙二日ニシテ事業全ク落成セリト云フ各一人ニテハ幾
 日ニシテ爲シ遂クヘキヤ

二

二十五号

$(a+b)(b+c)(a+c)$ ナル式アリ a, b, c ノ三數同數ナラサルヨ
 リ、恆ニ $Gabc$ ヨリ大ナリト云フ其証如何

$(x-1)^4 = 4x(x+1)^2$ ナル式アリ x ノ同數ヲ求ム

四

馬車アリ駛行ノ際車輪ノ回轉數ヲ算スレハ一町ヲ行ク毎
 ニ前輪ハ後輪ヨリ轉スル多キヲ九回ナリ因テ其輪周ノ長
 ヲ馭者ニ問フコ答テ云ク若シ前後兩輪ノ周共ニ之レヨリ
 長キヲ二尺ナラハ同町ヲ行ク毎ニ轉回ノ差六ト成ルヘシ
 ト果シテ然ラハ此兩輪周ノ尺數如何

五

甲乙二人アリ各馬ヲ貸スヲ以テ業トス其馬ノ數乙ハ甲ニ
 二倍セリ今成人毎日四疋ツ、ノ馬ヲ借ルニ先ツ甲ニ命シ
 出サシム約シテ云ク日々使役スル所ノ馬ハ必ス其類ヲ異
 ニシ前日ノ如ク同馬ヲ併出ス可ラスト甲諾シテ出ス、若

于日辭スルニ馬尽キテ出ス能ハサルヲ以テス因テ乙ニ命
 シ亦前ノ如ク約ス然ルニ乙ハ甲ノ日數ノ二十六倍ニ至リ
 初メテ尽キタリト云フ然ラハ各人ノ馬數如何

六

不等三邊形ノ各邊整數ニシテ最大邊ヲ不易トスレハ三角
 形ノ變數如何

七

二十六号

$\frac{1-s+s^2}{1+s-s^2}$ ナル式アリ其數價ヲ最小ナラシメンニハコチ如
 何ニ定ムヘキヤ

八

二十六号

古家 政茂

$a b c d$ ノ四數アリ前三數ハ算數塚ヲ爲シ後ノ三數ハ積
 差塚ヲ爲スキハ $a : b : c : d :: p : q : r : s$ 比例ヲ得ルト云フ其証如何

第三套

幾何學雜問

一

三點アリ之レニ通スル圓周ノ一分ヲ畫カントス其中心ヲ
 求メズシテ其諸點ヲ顯スコトヲ問フ

二

頂角其兩邊ノ差並ニ頂角ノ中分線ヲ以テ分テル底ノ兩片
 ノ差ヲ知リ以テ三角形ヲ作ルヲ求ム

三

三角形ノ各角點ヨリ對邊上ニ引ケル三垂線ハ其三趾點ヲ
 接シテ成セル新三角形ノ各角ヲ中分スト云フ其証如何

四

圓周ノ一點ヨリ内容三角形ノ三邊上ニ垂線ヲ引クハ其
三趾點必ス一直線内ニアリト云フ其証如何

五

底邊ノ長サ並ニ位地及ヒ他二邊ノ和或差ヲ知り頂點ヲ一
定線中ニ有スル三角形ヲ作ルコト如何

六

三圓周ヲ平分スヘキ圓ヲ畫クコト如何

七

二定直線ヨリ同長ノ線ヲ截リ之レヲシテ兩餘片ノ比例中
數ヲラシメントス其法如何

八

定三角形内ニ相觸接スル二圓ヲ畫クニ共ニ底邊ニ觸接シ

且ツ各他ノ一邊ニ觸接セシメントス其法如何但シ二圓ノ
半徑ハ定比ヲ有スルモノトス

九

三角形ノ底中一點ヨリ一邊ニ平行シ他ノ一邊ニ至ルノ一
線ヲ引キ又頂點ヘ一線ヲ引クハ此二線ヲ以テ原三角形
ヲ三分ス其中央ノ三角形最大ナルハ一點ノ位地如何

十

松平宗次郎

三角形ノ三邊ヲ以テ原形ニ接シ外方ニ三個ノ等邊三角形
ヲ作り其各形ノ中心點ヲ接スレハ又新ニ一個ノ等邊三角
形ヲ得ルト云フ其証如何

第四套

三角法雜問

一 二十号

三角形ノ各半角ノ正切算數塚ヲ爲スルハ其全角ノ餘弦モ亦必ス算數塚ヲ爲スト云フ其証如何

二

或人某山ノ麓ヨリ頂上ニ登ラントシ一直路ヲ進ムニ其路ト平地トノ傾角初メ α 度ナリシガ途中ヨリ遽カニ變シテ β 度ト成ル頂ニ達スルニ及ンテ帶フル所ノ里計ヲ檢スルハ既ニ m 町ヲ歩スルヲ表示ス茲ニ於テ起程ノ地ヲ顯ミ臨メハ低角ノ度ヲ得タリト云フ山ノ高さ如何

三

二壁アリ相互ニ直角ヲ爲ス其高 a 尺及 a 尺ナリ今正午ニ其陰ノ潤サヲ測レバ b 尺及 b 尺アリ其時ノ太陽ノ高度ヲ α トシ第一壁ト子午線トノ傾角ヲ β トスレバ次式ヲ得ルト云フ其証如何 $\cot \alpha = \sqrt{\frac{b^2}{r^2} + \frac{b^2}{a^2}}$, $\cot \beta = \frac{ab}{a^2}$

四

弧三角形ニ於テ三邊ノ和半ヲ s トシ内容小圈ノ弧半徑ヲ r トシ各二邊ノ引長ト他ノ一邊トニ觸接スル小圈ノ弧半徑ヲ r_1, r_2, r_3 トスレバ次式ヲ得ルト云フ其証如何

$$\tan r_1 \tan r_2 \tan r_3 = \tan r \tan^2 s$$

五

古家 政茂

若シ $\sin \frac{\theta}{2} = m \sin \left(2\alpha - \frac{\theta}{2} \right)$ ナルキハ左式ヲ生ス其証如何

$$\theta = 2m \sin^2 \alpha - m^2 \sin^2 \alpha + 2 \frac{m^2}{3} \sin^2 \alpha + \dots$$

六 十五号

菊地 大麓

Tan(A+B) = 3tanA ナル片ハ次式ヲ得ベシ其証如何

$$\sin 2(A+B) + \sin 2A = 2\sin 2B$$

七 十六号

全

三角形ABCニ於テ左式ヲ証スルヲ如何

$$\cot \frac{A}{2} + \cot \frac{B}{2} + \cot \frac{C}{2} = \frac{a+b+c}{b+c-a} \cot \frac{A}{2}$$

八 十七号

全

海岸ニBCDナル三基ノ燈臺アリ又海中ニAナル一個ノ浮標アリ今一船平速ヲ以テ此海面ヲ横航スルニ初メPニアリテABヲ同方向ニ見ル分ヲ經テQニ至リACヲ同方向ニ測リ又分ヲ經テRニ至リADヲ同方向ニ見ルト云フABCDノ位地ハ海圖ニ據リ之レヲ知ルベシPQAノ角ヲ測

ルベキ式ハ如何

第五套

圓錐曲線法雜問

一 二十号

拋物線ノ焦點Fヨリ曲線内一點Pニ引ケル直線FPノ長ヲ通徑ト等シケレハ其線必ス横軸ト六十度ノ角ヲ爲スト云其証如何

二 二十一号

拋物線ノ三切線相交リテ三角形ヲ爲スアリ今若シ此三角形ヲ容ルベキ圓ヲ畫ケハ其圓必ス焦點ヲ經過スト云フ其証如何

三

一定點ヲ焦點トシ二定線ニ觸接スル拋物線ヲ畫クヲ如何

四

橢圓双曲線焦點ヲ相共ニスル片ハ兩曲線必ス直角ニ交ルト云フ其証如何

五

一定點ヲ一焦點トシ二定直線ニ觸接スル橢圓或双曲線ノ他一焦點ノ踪跡ハ如何

六

双曲線ノ二點及一焦點ノ位地ヲ不易トスレハ他一焦點ノ踪跡如何

第六套

代數幾何學雜問

一

二十三号

定圓内ニ作レル三角形ノ底邊ヲ不易トシ其三角形内ニ畫ケル圓ノ中心ノ踪跡ハ如何

二

三十三号

直角縱橫軸アリ拋物線ニ觸接シテ旋轉スル片ハ其縱橫軸原點ノ踪跡如何又問フ橢圓ニ觸接シテ旋轉セハ如何

三

三十三号

平圓アリ直角縱橫軸ヲ截リ又縱橫線 α 及 β 寸ナル一點ヲ經過ス今此縱橫軸ノ圓内ニ在ル部分ヲ各々 m 寸トスレバ該圓ノ式如何

四 **三十三号**

ABC 三角形ノ AB 邊中ニ設クル一點 P ヨリ AC 邊上ニ垂線 PQ チ
引キ又 BQ CP 二線ヲ引ケハ此二線ノ交點ノ踪跡ハ如何

五 **三十三号**

ABC 三角形ノ AB 並ニ AC 二邊ヲ同數ニ若干等分シ AC ノ分點ヨ
リ AB ニ平行線ヲ引キ又 C ヨリ AB ノ分點ニ直線ヲ引クハ A
ヨリ始メ逐次斜メニ交點ヲ接スレハ自ラ曲線ヲ畫クベシ
其線ハ如何ナルモノ乎

六 **三十三号**

直角縦横軸ニ觸接シテ拋物線ヲ旋轉セシムレハ其頂點ニ
由ツテ成セル曲線ノ式ハ如何

七 **三十三号**

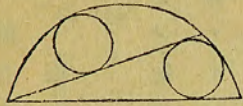
尖頭ヲ原點トセル尖圓ノ式ヲ $y = \frac{b^2}{2}(2a - a^2)^{\frac{1}{2}}$ トスレハ
切線式並ニ法線式ハ如何

八 **三十三号**

橢圓ノ一點ヨリ無數ノ通弦ヲ引キ之レヲ二分シテ定比チ
有セシムル片ハ其分點ノ踪跡ハ如何

九 **二十六号** 荒尾岬

圖ノ如ク半圓内ニ斜線ヲ設ケ等圓二個ヲ容
ルハアリ外圓徑 d チ以テ等圓徑ヲ求ムル式
如何



第七套

微積分法雜問

- 一 **二十五号**
尖圓ノ短徑ヲ $2b$ トスレハ之レニ平行スル最大通弦ノ長サ幾何ナルヤ
- 二 **二十七号**
半圓形内ニ最大ノ橢圓ヲ容ル、其ハ其長短半徑各幾何ナルヤ
- 三 **二十五号**
球ノ体積ト其内ニ容ルヘキ最大圓錐ノ積トヲ比スレハ如何又問フ其全表面積ノ比ハ如何
- 四 **二十七号**

橢圓ノ一點ヨリ長短二徑上ニ垂線ヲ引ク其兩趾點ヲ接スル直線ニ觸接スル曲線ノ式ハ次ノ如シト云フ其証如何

$$\left(\frac{a}{s}\right)^2 + \left(\frac{b}{s}\right)^2 = 1.$$

五 **二十七号**

二個ノ拋物線アリ頂點ヲ共ニシ橫軸ヲシテ直角ヲ爲サシムレハ兩拋線間ニ夾メル面積幾何ナルヤ

六 **三十三号**

圓内ニ作レル無數長方形ノ平均積ハ如何

七 **二十七号**

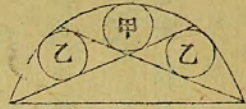
上野清

拋物線アリ其頂點 V ヲ中心トシ通徑 $2p$ ヲ半徑トシ曲線ヲ A 及 B ニ截テ圓ヲ畫ケバ之レヲ以テ界スル $VABV$ ノ面積ハ $\frac{4p^2}{3} \left\{ \left(2\cos \frac{2\pi}{5} \right)^2 + 3\cos \frac{2\pi}{5} \right\}$ ナリト云其証如何

八

十七号

關口開



圖ノ如ク缺圓内ニ二等斜ヲ隔テ甲圓一個乙圓二個ヲ容ル、アリ弦矢各若干ヲ知リ以テ乙圓形ヲ最大ナラシムベキ甲圓徑ヲ算スル式如何又問フ弦ヲ六十寸矢ヲ二十五寸トスレバ甲圓徑ハ如何

九

三十三号

全

左ノ二式アリ各種分セハ如何

其 一
$$y = \int \frac{\sqrt{1-x^2}}{a^4} \sin^{-1} x \, dx.$$

其 二
$$y = \int \frac{a^3 dx}{a^6 - 1}$$

第八套

微分方程式雜問

一 二十七号

次切線次法線ノ和横線ノ二倍ニ等シキ曲線ハ如何

二 二十七号

切線次切線ノ和定數ナル曲線ノ式ハ如何

三 二十七号

切線次切線ノ和横線ニ等シキ曲線ハ如何

四 二十七号

法線次法線ノ和横線ニ等シキ曲線ノ式ハ如何

五 二十七号

曲率半徑ノ長サ法線ニ二倍スル曲線ハ如何

荒川 重平

第九套

重學雜問

一

二十九号

上野清

A Bノ二重アリ細絲ヲ以テ之レヲ繫キ一個ノ滑車ニ掛シ
レバ秒時中ニA重下垂スルヲSナリ今此運動ヲ止メ二
重ヲシテ平均セシメントハ更ニm量ノ重ヲ以テB重ニ加
ヘザルヲ得ズ問フ二物ノ重量各幾何ナルヤ

二

二十九号

荒川重平

高一丈ノ二壁アリ其距離二丈ナリ今此壁ニ對セシメ大砲
一門ヲ据ヘ仰角ヲ六十度トシ一彈丸ヲ發射シ正ニ此二壁
ヲ超過セシメント彈着地ノ距離ハ如何

三

二十九号

全

高a尺ノ絶壁上ニ大砲一門ヲ据ヘ其仰角ヲA及B度トシ
同速力ヲ以テ續テ二彈丸ヲ發射セシニ彈着地ハ共ニ同一
點ナリシト云フ速力ハ幾何ナルヤ

四

三十二号

中川將行

伸長スヘキ紐ヲ以テ一重ヲ平滑ナル盤面ノ中心點Aニ
繫ケリ然ルニ重ハ忽然運動ヲ生シA點ヲ旋回シテ止ラス
爲メニ紐ハ伸長シテ其長ヲ二倍セリト云フ其重ノ速力ハ
幾何ナルヤ

五

三十八号

全

一質點アリx軸ニ平行ナル平速vヲ以テ橢圓ヲ畫クト云
フ全橢圓ヲ畫キ成ス時間ハ如何

六

三十五号

全

一質點アリ其彈力ヲeトス今a尺ノ高サヨリ一平面上ニ
 之レヲ落セハ質點ハ面ヲ擊ツテ反動スルヲ若干回終ニ該
 面上ニ靜止シテ復タ動カズト云フ點ノ運動スル全距離ハ
 如何

七

二十号

全

拋物線^{パロイダ}體ノ器アリ其高チhトシ其通徑ヲpトス其頂點ニ
 小孔アリ今若シ此器ニ水ヲ滿タシメ而シテ後此小孔ノ栓
 ナ抜キ器中ノ水ヲシテ是レヨリ漏出セシムレハ若干時ニ
 シテ水全ク尽クヘキヤ

第十套

問題解義

一 第七号二套ノ七
 本題ノ文

$$x^2 + ax = (x+p)^2$$

式ケ上義本
 ナ隨式ニ題
 生テヲ依ノ
 ス下設リ文

$$x = \frac{p^2}{a-2p} \dots (1)$$

$$\therefore a^2 - ax = \frac{p^2(p^2 + 2ap - a^2)}{(a^2 - 2p)^2}$$

シタ自後此
 故ル乘節式
 ニベ數亦ノ

$$p^2 + 2ap - a^2 = \left(p + \frac{n}{m}a\right)^2$$

バムヲメト
 レ求p定

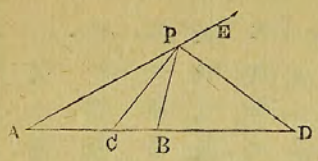
$$p = \frac{a(n^2 + m^2)}{2m(m-n)}$$

スヘp(1)之
 レ變ニ式レ
 ハ化代中ヲ

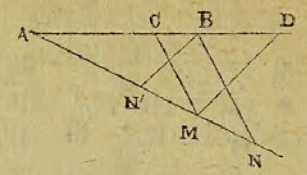
$$a = \frac{a^2(n^2 + m^2)^2}{4m^2(n^2 - m^2)}$$

第十号三套ノ四

十三



本題ノ畫法ハ定三角形内ノ一點ヨリ其三角點ニ引ケル三線ヲシテ三圓半径ノ比ノ如クナラシムルヲ得ルニアリ故先ヅ初メニ二定點ヨリ某一點ニ至ルノ距離恒ニ定比ヲ有スルキハ其點ノ踪跡ノ如何ヲ証シ隨テ其法ヲ舉ゲントス
 A B ハ二定點 M N ハ定比ナリ ○ 今 AB 線内ニ此定比ヲ有スル二點 C D ヲ取り又他一點 P ヲシテ亦定比ヲ有スルモノトスルハ $M:N::CA:CB::PA:PB::DA:DB$
 此比例ニ據レバ PC ハ APB 角ヲ中分シ PD ハ其並角ヲ中分スルヲ知ル故ニ PC PD ハ相互ニ垂線ニシテ P 點ハ CD ヲ以テ弦トセル直三角形ノ直角點ナリ故ニ其踪跡ハ CD ヲ徑トシ畫ク所ノ圓周ナリ



又 CD 二點ヲ求ムルノ法ハ先ヅ AB ヲ接シ次ニ A ヲ過ギ引ケル他ノ一線中ニ $AM=MP, MN=NN',$
 $|| N'トシ MN'ノ三點ヲ取り NB 及 N'B ヲ接シ之$
 $レニ平行シテ MC 及 MD ヲ引ケバ乃チ AB 線及其延$
 $線内ニ CD 二點ヲ得ベシ此 CD 二點ハ MN ノ$
 $比ニ從テ AB ヲ稍差比例ニ分ツ所ノ分點ナリ$

次ニ本題ノ畫法ヲ舉ゲ

ABC ヲ定三角形 O ヲ公中心 OM ON OP ヲ三圓ノ半径トス
 OM ON ヲ定比トシ AB ヲ稍差比例ニ分テ其分點ヲ QR トシ又 OP ヲ定比トシ AC ヲ同比例ニ分テ ST ヲ得而シテ
 QR 及 ST ヲ徑トシ二個ノ半圓ヲ畫キ其一交點ヲ G トシ AG
 BG 及 C ヲ接スベシ次ニ公中心 O ヲ任意ノ方向ニ半徑

本題答式中

$$\frac{a+b+c}{2} = \sin P$$

ノ分母ハ2ノチ脱スルナラン

$$c^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos C$$

$$= (a+b)^2 - 2ab(1 + \cos C)$$

第八號 四套ノ三

∴ $2ab(1 + \cos C) = (a+b+c)(a+b-c)$

バヲ變テニ今
求化上式 $a+b+c = 2s$
ムシ式ヲ $ab \sin C = cd$
レCヲ以ノ

$$c = \frac{2s^2}{2s + d \cos \frac{1}{2}C}$$

ノリ據ニ式公法角三又
分 $\cos \frac{1}{2}(A-B) : \cos \frac{1}{2}(A+B) :: a+b : c$
母 $\cos \frac{1}{2}(A-B) : \sin \frac{1}{2}C :: 2s - : : c$

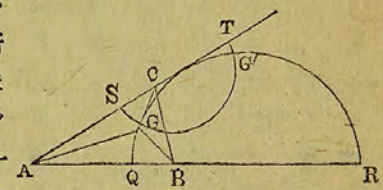
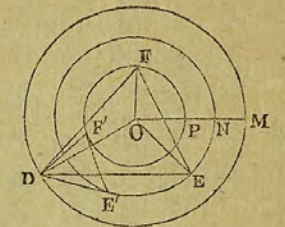
ス又 $\frac{s}{a} = \tan P$ シキC
レ變 $\frac{s}{a} = \tan P$ 且變テ
バ化シツ化解
 $\cos \frac{1}{2}(A-B) : 1 :: \cos(\frac{1}{2}C - P) : \sin P$
∴ $\cos(\frac{1}{2}C - P) = \cos \frac{1}{2}(A-B) \sin P$
∴ $C = 2[P + \cos^{-1} \{ \cos \frac{1}{2}(A-B) \sin P \}]$

ルニ必スAGB
ルヲ知ル故ニ全三角形
ABC
DEF
モAGC
又BGC
モ亦
DGF
EOF
ト互ニ同形ナ
ル

順序ヲ換ユレハ此他尚十件ノ答三角形ヲ得ベシトス

形ヲ得ベシ是亦所求ノ一ナリ又定比ト爲ス所ノ半徑ノ

點G'ヲ用ユレ



若シキOD
ノベシカDOE
ハ一シラDOF
ナ此ラDEF
チSGTハDEF
以テ兩半圓ノ如キ三角
ノ所ノ半徑ノ

ハ同法QGR
チSGT
以テ兩半圓ノ如キ三角

シカDOE
ラDOF
DEF
ハDEF
即チDEF
所及EFA
求三角
形

角キ又OE
ヲOF
ノ半徑ヲ引
ニ等

本題答式中
 4√30
 トアルハ恐クハ誤寫ナラン歟

テ以テ式兩(3)(1)

$$x' = 3 \sqrt{\frac{p}{2} (y-p)^2}$$

ハレス化キ解テ式(4)テ以

$$y = p \left(1 + \frac{3}{2}\sqrt{3}\right) \dots \dots \dots (5)$$

故ナ一線拋共B及又
 ニル點ノ物ニハビC

$$y^2 = 2px \quad (y+2p)^2 = 2ap$$

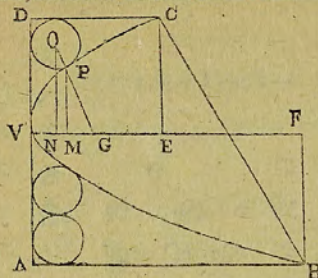
セキヲノ兩テテ(5)

ハ化解y式此以式

$$x = \frac{p(31+12\sqrt{3})}{8} \quad p = \frac{8a}{9(7+4\sqrt{3})}$$

$$\therefore x = \frac{a(31+12\sqrt{3})}{9(7+4\sqrt{3})}$$

$$= \frac{a}{9}(73-40\sqrt{3})$$



等圓半徑 =

半通徑 = p

AB = a

DC = a

CE = y

BF = y + 2p

第三号
 五套ノ
 四

$$VN = MG = p$$

$$NO = y - p$$

y' ノ ス ハ ト 觸 相 圓

ト 縱 而 一 圓 點 觸 ト

ス 横 〓 直 半 ノ ル 拋

ノ 線 テ 線 徑 法 ノ 物

ハ ヲ P テ PO 線 故 線

x' 點 爲 ト PG = ト

$$y'^2 = 2px' \dots (1) \quad (x' - p)^2 + \{y' - (y - p)\}^2 = p^2 \quad (2)$$

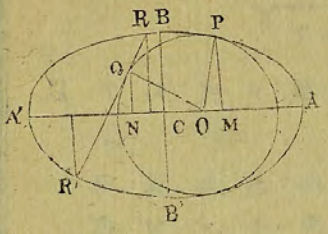
$$GM : GN :: PM : OM$$

$$p : x' :: y' : y - p$$

$$\therefore x' y' = p(y - p) \dots \dots (3)$$

テ以テ式兩(2)(1)

$$(y - p)^2 = \frac{x'^3}{2p - x'} \dots \dots (4)$$



CA = a
 BC = b
 PO = QO = r
 CO = p
 COQ = φ

CM = x' PM = y' ON = x'' QN = y''
 $r = \frac{b}{a} \sqrt{a^2 - e^2 x'^2}$ 故線圖 PO
 = + ノハ
 p = $\frac{2}{a} x'$ ル法楕
 $\therefore p = \frac{ae}{b} \sqrt{b^2 - r^2} = \frac{c}{b} \sqrt{b^2 - r^2} \dots (1)$
 ハノ線ノルシ點ヲ又
 式 RR' 切圓 * ト原 O
 $y'' y + x'' x = r^2$
 $y'' = r \sin \phi \quad x'' = r \cos \phi$
 $\therefore y \sin \phi + x \cos \phi = r$
 x △ ヲ ~ = ヲ原
 √ 求 y 換 C 點
 $\therefore y = \frac{r - (x - p) \cos \phi}{\sin \phi} \dots (2)$

今此切線ト楕圓トノ交點ノ縱横線ヲ求メノガ爲メニ此
 yノ同數ヲ以テ楕圓式ノyニ代ユルハ
 $r^2 - 2(x-p) \cos \phi + (x-p)^2 \cos^2 \phi = \frac{b^2}{a^2} (a^2 - x^2)$
 式中²pヲ解キ變化シテxノ同數ヲ求メ又之レヲ以テ
 式ヲ解ケハ

$$x = \frac{a^2 \cos \phi (r + p \cos \phi) + a \sin \phi (b^2 p - c^2 r \cos \phi)}{c(b^2 + a^2 \cos^2 \phi)}$$

$$y = \frac{b^2 \sin \phi (r + p \cos \phi) \pm a \cos \phi (b^2 p - c^2 r \cos \phi)}{c(b^2 + a^2 \cos^2 \phi)}$$

xノ二根ヲx₁ x₂トシyノ二根ヲy₁ y₂トシRR'ノ長ヲuトスレハ

$$u^2 = (x_1 - x_2)^2 + (y_1 - y_2)^2$$

$$x_1 - x_2 = \frac{2a \sin \phi (b^2 p - c^2 r \cos \phi)}{c(b^2 + a^2 \cos^2 \phi)}, y_1 - y_2 = \frac{2a \cos \phi (b^2 p - c^2 r \cos \phi)}{c(b^2 + a^2 \cos^2 \phi)}$$

第 九 号 八 套 十 六

$$\frac{dy}{ax} + \frac{ay}{1-x^2} = xy^{\frac{1}{2}}$$

$$(1-x^2)dy = \{y^{\frac{1}{2}}(1-x^2) - y\}x dx$$

バ レ ス 化 變 メ 定 ト $1-x^2=P$ ノ

$$Pdy = (y - y^{\frac{1}{2}}P^2)dP$$

バ レ ス 化 變 シ ト $y^{\frac{1}{2}}=PQ$ 又

$$2PdQ = -(Q+P)dP$$

バ レ ス 化 變 シ ト $Q=PR$ 又

$$2PdR = -(3R+1)dP$$

$$\therefore \frac{dR}{3R+1} = -\frac{dP}{2P}$$

$$\therefore \frac{1}{3} \log(3R+1) = -\frac{1}{2} \log P + C$$

$$\therefore (3R+1)^{\frac{1}{3}} = \frac{C}{P^{\frac{1}{2}}}$$

バ ス 變 解 P 次 解 Q 解 R

レ 化 キ チ テ キ チ キ チ

$$y^{\frac{1}{2}} = \frac{c^{\frac{3}{2}}}{3} (1-x^2)^{\frac{1}{2}} - \frac{1-x^2}{3}$$

$$\text{バ レ ス ト } \frac{C^3}{3} = 3$$

$$\therefore y^{\frac{1}{2}} = c(1-x^2)^{\frac{1}{2}} - \frac{1-x^2}{3}$$

$$\therefore u^2 = \frac{4a^2(b^2n - c^2r \cos \phi)^2}{c^2(b^2 + c^2 \cos^2 \phi)^2}$$

$$\therefore u = \frac{2a(b^2n - c^2r \cos \phi)}{(b^2 + c^2 \cos^2 \phi)} \dots (3)$$

ハ レ ス ト $\frac{du}{dx} = 0$ シ 分 微

$$r(b^2 + c^2 \cos^2 \phi) + c \cos \phi (b^2 p - c^2 r \cos \phi) = 0$$

ハ ケ 解 チ p^2 ノ 求 チ $\cos \phi$

$$\cos \phi = \frac{b^2(p \pm r)}{c^2 r}$$

ハ チ 化 之 式 チ 以

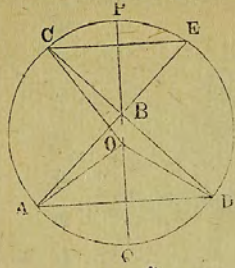
用 シ レ チ 解 テ

フ 正 チ 用 キ (3)

レ 号 變 ヒ (1) 式

$$u = a \left\{ 1 + \sqrt{1 - \left(\frac{r}{b}\right)^2} \right\}$$





$\angle AOD = \theta$

$\angle BAD = \phi$

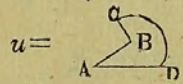
$\angle C0P = \pi - 2\phi - \frac{\theta}{2}$

$\angle C0D = 2\pi - 2\phi - \theta$

$AD = a$

$CE = x$

$CO = AO = DO = r$



$$u = \frac{a^2}{4} \tan \phi + \left\{ \frac{r^2 (2\pi - 2\phi - \theta)}{2} + \frac{r^2 \sin(2\phi + \theta)}{2} \right\}$$

$$\frac{du}{d\phi} = \frac{a^2}{4} \sec^2 \phi + r^2 \{ \cos(2\phi + \theta) - 1 \} = 0$$

$$\therefore a^2 = 4r^2 \cos^2 \phi \{ 1 - \cos(2\phi + \theta) \}$$

$$= 4r^2 \cos^2 \phi \times 2 \sin^2 \left(\phi + \frac{\theta}{2} \right)$$

$$\therefore a = 2r \sqrt{2} \cos \phi \sin \left(\phi + \frac{\theta}{2} \right)$$

$$= r \sqrt{2} \left\{ \sin \left(2\phi + \frac{\theta}{2} \right) + \sin \frac{\theta}{2} \right\}$$

$$= \sqrt{2} \cdot \left(\frac{x}{2} + \frac{a}{2} \right)$$

$$\therefore x = \frac{a(2 - \sqrt{2})}{\sqrt{2}} = a(\sqrt{2} - 1)$$

第十一號答式

算數學

(一) 「メートル」ヲ以テ一位トスレバ厚、○○○○○○○○七五三弱

(二) 「メートル」ヲ以テ一位トスレバ全徑ハ、○○○○○○七七七八八強

(三) 〇、九八。 (四) 〇、七八六 (五) 十「オンス」、一八

代數學

(一) 十九歳 (二) 十二、四 (三) 八、十八、三十二、五十……等

(四) $a = \frac{1}{2}a(1 \pm \sqrt{5})$ 或 $\frac{1}{2}a(-1 \pm \sqrt{5})$, $y = \frac{1}{4}a(-3 \pm \sqrt{5})$ 或 $\frac{1}{4}a(3 \pm \sqrt{5})$

$z = \frac{1}{4}a(1 \pm \sqrt{5})$ 或 $\frac{1}{4}a(-1 \pm \sqrt{5})$.

三角法

(三) $AB = a \times \frac{\sin(2\alpha + 2\beta) \cos(\alpha - \beta)}{\sin 2\alpha \sin 2\beta}$

- (四) $a = \frac{1}{2} \sqrt{\left(\frac{p^2 \sin^2 a}{4I^2} + 4I \cos \frac{1}{2}a \right) + \frac{1}{2} \sqrt{\left(\frac{p^2 \sin^2 a}{4I^2} - 4I \tan \frac{1}{2}a \right)}$
- $y = \frac{1}{2} \sqrt{\left(\frac{p^2 \sin^2 a}{4I^2} + 4I \cos \frac{1}{2}a \right) - \frac{1}{2} \sqrt{\left(\frac{p^2 \sin^2 a}{4I^2} - 4I \tan \frac{1}{2}a \right)}$
- (五) $\phi = ka a^{-1} \sqrt{\frac{a}{b}}$
- (六) $\tan r = \sqrt{\left(\frac{\sin(s-a)\sin(s-b)\sin(s-c)}{\sin s} \right)}$
- (七) $\cot R = \sqrt{\frac{-\cos(S-A)\cos(S-B)\cos(S-C)}{\cos S}}$

圓錐曲線法

(四) 橢圓線

代數幾何學

- (一) 半長徑 $= \frac{1}{2} \sqrt{\left(a^2 + b^2 + 2ab \sin \phi \right) + \frac{1}{2} \sqrt{\left(a^2 + b^2 - 2ab \sin \phi \right)}$
- 半短徑 $= \frac{1}{2} \sqrt{\left(a^2 + b^2 + 2ab \sin \phi \right) - \frac{1}{2} \sqrt{\left(a^2 + b^2 - 2ab \sin \phi \right)}$
- $\alpha = \frac{1}{2} \sqrt{\left(a^2 + b^2 + \frac{2ab}{\sin \phi} \right) + \frac{1}{2} \sqrt{\left(a^2 + b^2 - \frac{2ab}{\sin \phi} \right)}$
- $\beta = \frac{1}{2} \sqrt{\left(a^2 + b^2 + \frac{2ab}{\sin \phi} \right) - \frac{1}{2} \sqrt{\left(a^2 + b^2 - \frac{2ab}{\sin \phi} \right)}$,
- $PR = \frac{2y \cos \phi + p}{2y + p \cos \phi} \times y, PR' = \frac{p - 2y \cos \phi}{2y - p \cos \phi} \times y$
- $MR = \frac{y \sin \phi}{2y + p \cos \phi} \sqrt{\left((2y - p \cos \phi)^2 + p^2 \sin^2 \phi \right)}$
- $M'R' = \frac{y \sin \phi}{2y - p \cos \phi} \sqrt{\left((2y - p \cos \phi)^2 + p^2 \sin^2 \phi \right)}$
- $TM = \frac{y}{p} \sqrt{\left((2y + p \cos \phi)^2 + p^2 \sin^2 \phi \right)}$
- $TM' = \frac{y}{p} \sqrt{\left((2y - p \cos \phi)^2 + p^2 \sin^2 \phi \right)}$

(五) 面 AO : 面 $AB = 3\sqrt{3} : 2$.
 $\tan \phi = \frac{B^4 - 1}{B^4 + 1} c t \frac{1}{2} a$

雙曲線

微分積分法

(一) 二、四及ヒ三分ノ十

(二) 四邊形ノ四角點皆ナ圓周内ニ在ルノキヲ以テ最大ト

ス故ニ $\cos \phi = \frac{(a^2 + b^2) - (c^2 + d^2)}{2ab + 2cd}$

(三) $\frac{128}{3} \pi r^3$

(四) $\frac{1}{12} h (m(c+d) + (n+n)(a+b+c+d) + n(a+b))$

式中 n ハ AB m ハ DC 其相距乃チ h ニ

a b c d ハ AA' BB' CC' 及ヒ DD' ナリ

(五) 糸ノ長大約一千六百八十二尺二寸

(六) $\frac{h}{4}$ (七) $\frac{b}{\sqrt{3}}$

(八) AC ナ軸トスル旋轉体ノ積ハ $\frac{48a^3 \pi}{5}$ ニン AB ナ軸トスル旋轉

体ノ積ハ $\frac{\pi a^3}{15} (15\pi + 64)$ ナリ

(九) 置二个開平方乗上斜三約之得短徑 O 以三个除二个開

平方乗上斜得長徑合問

重學

(二) $AG = \frac{4}{5} AH$

(四) $l = \frac{1}{\sqrt{mg}} \frac{tm - 1}{g + mv} \frac{(v - V)\sqrt{mg}}{\sqrt{mg}}$

$a = \frac{1}{2m} \frac{g + mv^2}{\text{nep. log } g + mV^2}$

第十一號正誤

- 第四套ノ末ニ四圖五圖七圖トアルハ三圖、四圖、六圖ノ誤
- 第七套ノ末ノ五圖七圖八圖ハ四圖六圖七圖ノ誤リ
- 第九套第四題ノ第二行中ノルハカノ誤リ
- 第十三葉ノ表第八行中ニ「其二分ヲ以テ通弦トシトアルハ「其之ニ應ズル半周二分ノ通弦ヲ以」ノ誤リ
- 第十七葉ノ裏最末行○ノ下ニ直トアルハ點ノ誤リ

社長

神田孝平

岡本則録

總理 伊藤直温

編輯 大村一秀

賣捌呀

東京芝區柴井町

土屋忠兵衛

同 日本橋區本町三丁目

清水卯三郎

明治十二年三月一日

每月第一土曜日刊行

東京數學會社雜誌

第十三號



- 一 本社ノ大意ハ第一號ノ題旨ニ依テ知ルベシ
- 一 本號ノ諸問題ハ入社人ヨリ蒐輯スル所ニシテ其答商ハ必ス次號ニ記載ス可シ
- 一 入社人ニ非ザル者ト雖モ奇異ノ諸題ヲ投スレハ其題ノ巧拙ニ因リ之ヲ取捨シ記載スベシ
- 一 諸名義譯例等ハ漸次ニ改正ス可シ
- 一 集會ハ毎月第一土曜日午後一時ヨリ湯嶋昌平館ニ於テス
- 一 入社セント欲スル者ハ集會日ニ該館へ來リ名刺任所ヲ記スベシ
- 一 出ス可シ

明治十二年三月

東京數學會社

第一套
算數學雜問

- 一 佛尺ノ一碼メートルハ地球ノ海面上コテ極ヨリ赤道ニ至ル距離ノ一千万分ノ一ニ適ス今一碼ヲ英寸三九三七〇〇八九トスレハ全子午線ハ幾英里ニ當ルヤ
- 二 八アリ井中ノ深ヲ知ラント欲シ一條ノ繩ヲ用ヒ中折シテ井中ニ入レシニ濕ルモノ六寸ナリ再ヒ之ヲ三折シテ其ニ入レシニ濕ルモノ二尺八寸ナリ然ルハ井中水際迄ノ距離幾何尺ナルヤ
- 三

今三艘ノ船アリ總價六千圓ニシテ甲船ノ價三倍ハ乙船ノ價二倍ニ適ス乙船ノ價五倍ハ丙船ノ價七倍ナリ依テ各船ノ價幾何

四

三種ノ麥酒アリ上品一箱ノ價七圓五拾錢ニシテ中品ハ六圓三十五錢ナリ又中品百箱ハ下品ノ百二十七箱ニ當タリト然ルキハ上品五十箱ハ下品ノ幾箱ニ當タヤ哉

五

爰ニ三千人ノ兵士五行ニ列シテ一個ノ鐵橋ヲ踰ントスルニ其長五十五間ナリ而シテ層列一人毎ノ相距ハ最初一尺ニシテ遞次一寸ヲ増加ス亦行列一分時ニ五間ヲ進行スレハ全ク此橋ヲ踰エル時間幾何ナルヤ

第二套

代數學雜問

一

今左ノ式アリ各項ノ和ハ一個ナリト云フ其証如何

$$\frac{(m-a)(n-a)}{(a-b)(a-c)} + \frac{(m-b)(n-b)}{(b-c)(b-a)} + \frac{(m-c)(n-c)}{(c-a)(c-b)}$$

二

今 $39 + \sqrt{1496}$ ナル數アリ之ヲ平方ニ開カハ幾何ヲ得ルヤ

三

今 $g = \frac{(1+r)^{n-1}}{r(1+r)^n}$ ナレハ次式ヲ得ル其証如何

$$\frac{1}{1+r} = \frac{1}{g+1} \left\{ g + \frac{1}{(1+r)^{n+1}} \right\}$$

四

今 $(1+2ax+3ax^2)^n$ ナル式アリ x^8 ノ係數幾何

五

$$\begin{aligned} \text{今 } & 1 - nx + \frac{1+x}{1+nx} + \frac{n(n-1)}{2} \frac{1+2x}{(1+nx)^2} - \frac{n(n-1)(n-2)}{3} \frac{1+3x}{(1+nx)^3} \\ & + \dots \text{ノ無究數ハ零ナリト云其証如何} \end{aligned}$$

第三套

幾何學雜問

一

多角形アリ其各邊ヲ引長スレハ形外ニ亦角ヲ作ル其角ノ和ハ四直角ニ等シト云フ其証如何

二

斜三角形アリ形内ニ圓ヲ畫キ其切點ヲ接スルノ三角形ヲ作リ此三角點ヨリ各對邊ニ垂直線ヲ引キテ對邊ニ相遇フ三點ヲ接スレハ又三角形ヲ作ル此三角形ノ各邊ハ原三角形ノ各邊ニ平行スト云フ其証如何

三

正方形 ABCD ナレモノアリ今其對角線 AC ヲ接シ AD ノ折半點 E ヨリ一線ヲ引キ AC 線ヲ過テ B ニ達セシム而シテ此線 AC 線ヲ過ル處ヲ F トスレハ AEF CEF ABE 及ヒ BCF ノ四積算數架ヲナスベシ其故ヲ解明セヨ

四

圓周ニ四個ノ弦ヲ引キ其各弦ノ中央ヨリ之ニ對スル弦ニ

垂直線ヲ引クキハ其四線同一點ニ會スルト云其故如何

五

四斜形内ニ一圓ヲ畫キ各相對スル二邊ノ切點ヲ接スル線ハ對角線ト同一點ニ會スルト云フ其故如何

六

鈴木 圓

圓内ニ三角形ヲ容レ又其三角形内ニ中勻ト三角形各邊ニ相切シテ中圓ヲ容レ再ヒ三角形ノ下邊ト中勻ト右外圓周ニ相切スル小大圓ヲ容ルハハ大圓心ヨリ小圓心ニ至ルノ斜線ハ必ス心ニ中圓過クト因テ其証ヲ問フ

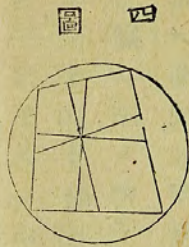


圖 四

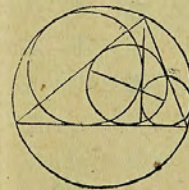


圖 六

第四套

三角法雜問

一

爰ニ一塔アリ或人其塔ヲ正北ニ望ンテ高度ヲ測ルニ二十度ヲ得タリ然ルニ其度ヲ變ゼズシテ一百五十「ヤード」ヲ歩行シテ再ヒ塔ノ方向ヲ望ムニ北東ニ當ルト云フ因テ塔高及ヒ距離幾何

二

今 $a \cdot \cot A + b \cdot \cot B + c \cdot \cot C$ ナル式ハ三角形内外兩圓經ノ和ナリト云フ其証如何

三

若 $\frac{a}{13} + \frac{b}{13} + \frac{c}{13} = \cos a + \cos 3a + \cos 9a$ 則 $\frac{1+\sqrt{13}}{4}$

ナリ其故如何

四

$$\text{今 } \frac{1}{3} + \tan^{-1} \frac{1}{5} + \tan^{-1} \frac{1}{7} + \tan^{-1} \frac{1}{8} = \frac{\pi}{4} \quad \text{ナリ其証}$$

如何

五

正圓周コ等距ノ數點ヲ設ケ其點コ各切線ヲ引キ其一點ヨ
 リ他ノ切線コ垂線ヲ引ク點數ヲ $2n$ トスレハ其各垂線ノ
 和ハ $3n^2$ ナリト云フ其証如何

六

ナル平行邊形アリPヲ形内ノ一點トスレハ其點ノ位置
 論ゼズ左ノ數ハ定數ナリト云フ其証如何

$$\Delta APC. \cot APC - \Delta BPD. \cot BPD$$

第五套

圓錐曲線法雜問

一

茲ニA及ヒBノ二定點アリ今他ノ一點PヨリAPBPヲ引キ
 某一直線ト恒ニ同角ヲ爲サシメントス問P點ノ踪跡ハ如
 何ナル形ヲナメ乎

二

今Sヲ圓錐截面ノ一焦點トシAヲ某準線ノ中點トシQヲ
 P點コ於ケル切線中ノ一點トシSP及ヒSAヨリ垂線QR及ヒ
 QR'ヲ引クキハSRトARトノ比ハ恒ニ定數ナルベシ其証如何

三 **二十一号**

橢圓長短徑ヲ直徑トシテ二圓ヲ畫キ其橢圓周ノ一點ヨリ

兩軸ニ垂線ヲ引キ之ヲ引長シテ各圓周ニ會交セシム然
ルキハ其會交點ヲ接スル線ハ橢圓ノ中心ヲ過ルト云フ其
証如何

第六套

代數幾何學雜問

一 三十四号

爰ニ一圓アリ其式 $(y^2 + ax^2)(1 + a^2)^{\frac{1}{2}} - 2b(x + ay) = 0$ ノ如ク然

ラハ其圓ノ半徑幾何

二 二十九号

拋物線ト橢圓ト同頂點ナル者アリ而シテ拋物線ノ軸ハ橢
圓長徑ト一致セリ今拋物線ノ通徑橢圓ノ半短徑ニ等シク

レハ其拋物線ハ橢圓周ノ何レノ點ヲ截スルヤ

三

畫圖儀^{ゴラス}ノ机上ニ直立シ其蝶鉸ヲシテ机面ニ愈近カラシメ
ントスレバ兩脚ノ蹠角愈大ナリ今此各脚ヲ等分スル點ハ
自ツカフ形象ヲ成スナリ然ルキハ其線ノ式如何

四 三十四号

某曲線アリ其線内何レノ點ヲ論セズ一點ヨリ一ツノ拋物
線ニ二法線ヲ引クキハ其二法線交テ直角ヲ成スト云フ然
ルキハ其曲線式如何

五 三十四号

爰ニ金屬ノ二塊アリ一ツハ黃金余一ツハ銅ナリ若シ今金
塊ニ斤ヲ加フルキハ三ノ比例アルベシ然レトモ若シ銅

塊ヨリも斤ヲ殺シキハ...ノ比例アルベシト云フ各塊ノ
重率ヲ求メヨ

第七套

微分積分法雜問

一

十八号

岡野省吾

尖圓周ノ灣點即チ「ポイント、オフ、ヲ貫キテ橫線ヲ引ク然ル
ル其橫線ハ長徑ノ幾何コ當ルヤ

二

二十号

大村一秀

拋物線内ニ一圓ヲ容レ其圓コ切シ拋物線コ界スル最大ノ
一直線ヲ求メントス今拋物線ノ通徑ヲ石容圓半徑ヲゲト
スレハ直線長ヲ求ムルヲ如何

三

二十九号

小澤兼藏

拋物線アリ其弦ノ兩端ヨリ上方周線コ送シテ斜交線ヲ引
キAQCノ積ヲ最大ナフシム其通徑ト其弦ABヲ以テ該斜
交線長ヲ求ムル術如何

四

二十九号

大伴改 肝付兼行

一地平線上ニ等圓轉軌線ヲ置キ原點Oヨリ其周線コ無數
ノ直線(即OPOR)ヲ引キ而シテ各自ノ同長線(即PQRS)ヲ其周線
ヨリ地平線コ平行シテ連書シ其線端ヲ聯スレハ則等圓轉
軌線外ABQSCDRPノ如キ風帆形ヲナス唯該等圓ノ
半徑ヲ知テ此風帆形ノ面積ヲ求ムル術如何

變態會社雜誌 第一三號

圖 三

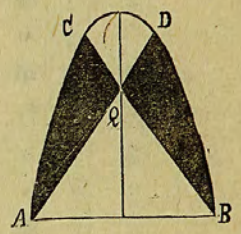
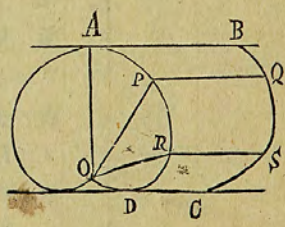


圖 四



第八套

微分方程式

一 二十九号

曲線アリ其兩軸のyノ中間ニ於ケル切線ヲシテ恒ニ定數
aニ等シカラレメントス其曲線式ヲ問

二 二十九号

今左ノ微分式アリ之ヲ復原スレハ其式如何

$$x \frac{dy}{dx} + \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2}$$

三 二十九号

今左ノ微分式アリ之ヲ復原スレハ其式如何

$$x \frac{dy}{dx} + 3y = \text{Sin} x$$

四 三十四号

今左ノ微分式アリ之ヲ復原ナス 全解ヲ問フ

$$y \frac{dy}{dx} + \frac{dy}{dx} - \left(\frac{dy}{dx}\right)^2$$

五 三十二号

曲線アリ其次法線ト其横線トハmトnトノ比ヲナス其曲

線式ヲ問

六 二十号

一 般ノ漁船Vノ速力ヲ以テ直線ニ大河ヲ下タルアリ今端
舟Vノ速力ヲ以テ河岸ノ一點ヨリ出船シ漁船ニ向ヒ及
トス漁船河岸ヲ距ル Γ α里ナレハ端舟全ク漁船ニ達スル
里程ハ幾何ナルヤ但河ハ同幅ニシテ直線トス

第九套

重學雜問

一 三十二号

柳 猶悅

今有銀月形内背乃内外背協于圓載金日圓而其尖端穿一小
竅繫絲鈎垂之則月形斜傾日圓從之動轉竟自有所鎮止也月

弦若干外矢若干日圓經若干金銀重率各若干問得傾度術如
何

二 三十二号

肝付兼行

等圓轉軌線 其等圓ノ半空殼体ノ重心ヲ求メヨ

三 三十四号

二斜面上ニ一物体ヲ置キ之ヲ平滑ナル地平面上ニ安頓シ
斜面ノ最下點ヲ絲ニテ繫クルハ其絲ノ牽力ト一物体ノ重
サトノ比ハ二面地平ニ傾ク角余功ノ和ニ等シト云フ其証
如何

四 三十一号

太陽白羊宮ヨリ夏至點ニ運行スルハ夏至點ヲ距ル Γ αナ
レハ太陽ノ中心ハ某地ノ頂點ヲ過クベシ今地球ノ軌道ヲ

圈トシ赤道面ヲ變動セサルモノトスレバ左ノ式ノ如クナ
ラザレバ夏至ヨリ天秤宮ニ運行スルニ於テ再ヒ其地ノ頂
點ヲ過ザルベシ其故如何

$\tan \theta = \frac{v}{r \omega}$ 但 v ハ黃道ノ傾角 n ハ地球太陽ヲ周
ル角速率ト自轉速率トノ比ナリ

五

一體アリ垂直力ヲ以テ鎖線形ヲ成スト云フ其線内何レノ
點ニ於テモ準線ヲ距ルニ其速ニ從フテ變ス其故如何



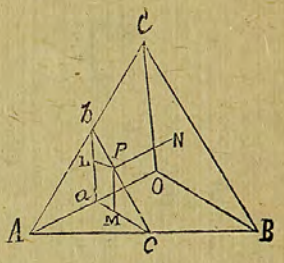
第十套
問題解義

第七號六套四

三角錐体アリ其底 ABC ハ等邊三邊形コトテ頂點三位ノ面角
ハ俱ニ直角ナリト云フ問フ底面ノ任點 P 他ノ三面ニ
引ク三直線 PM PN PL ノ和ハ P 點ノ位置ヲ論セズニ恒ニ同
長ナルベキヤ否ヤ

解

左圖ノ如ク ABC ハ三角錐体ノ底面コトテ O ハ其頂點
今 BOC 面ニ平行シテ底面ノ一點 P 有リ abc 面ヲ作ル面
シテ又 P 點ヨリ AOC 及ヒ AOB 面ニ垂直線 PL 及ヒ PM ヲ引キ
ニ平行シテ PN ヲ引クハ PL PM PN ノ三直線ハ即チ三面ニ



垂直ナリ而シテ PM ハ CO ニ平行ナルニ因
 テ $PM \parallel CO$ ナリ故ニ $PM \parallel CL$ 又
 $ac \parallel OB$ ニ平行ナルニ因テ $ac \parallel aA$
 $aM + Mc$ 又 $AO \parallel PN$ ニ平行ナルニ因テ
 $PN \parallel ac \dots [1]$ 而シテ
 $PM \parallel Mc$
 $PL \parallel aM$
 $\dots [2]$ ナリ是ニ於テ [1]

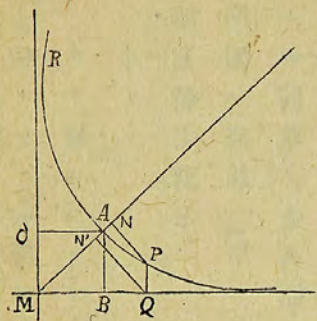
(2) ノ和ハ $ac + aA$ 即チ AO ニ等シカルベシ是ニ依テ本題
 答ニソントナルキハ三直線ノ和ハ恒ニ同長ナルベキヲ以
 テス
 二

第七號七套六

AP 等邊双曲線トシテ A ヲ頂點トシ MQ 漸近線トス今此漸
 近線ヲ軸トシ曲線 AP ト AB 線ト且漸近線トノ間ナル無究面
 ナ旋轉スルハ則チ一種ノ曲面体ヲナスナリ MB ヲ以テ其体
 積ヲ求ムルト如何圖上 AB ハ漸近線 MQ ニ引ク垂線ナリ

解

解左圖ノ如ク MQ ハ等邊双曲線ノ漸近線ナルが故ニ今
 MQ ヲ軸トシテ同雙曲線ノ公式ヲ解クト次ノ如ク



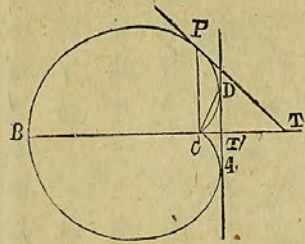
MQ $\parallel x$ PQ $\parallel y$ MB $\parallel a$ ト名
 ケ等邊雙曲ノ公式 [1] 漸近線式 [2]
 $PN^2 \parallel MN^2 - 2a^2 \dots [1]$
 $QN' \parallel MN' \dots [2]$
 チ以テ $ay \parallel a^2$ チ得ル之ヲ MQ ヲ軸
 トシテ同雙曲線ノ公式トス今 MQ ヲ

軸トシテ旋轉スル立体積ヲVトスレハ $V = \pi a^2 \int_0^{\pi} dy$
 ナリ故ニ $V = \pi a^2 \int_0^{\pi} dy$ ヲ得ル

三

第七號七套七

四圓ノ周線ニ所ニ接觸シテ直線ヲ引ケハ ABCノ空間ヲ生ス
 ベシ四圓ノ中央徑4aヲ以テ此空間積ヲ求ムルコト如何



今四圓周ノ二點ヲシテ一直線ニ切
 セメントスルキハ切線D式ヲ求ムルヲ
 要トス而シテ PTCヲ求トスレハ

$$\begin{aligned}
 BT' &= y & CT' &= x & DCT' &= \theta \\
 \tan \theta &= \frac{dy}{dx} & \text{又切線 D} & \text{ニ至ラン} & & \\
 \tan \theta &= 8 & \text{ナリ故ニ} & \frac{dx}{dy} &= 0 \dots [1] &
 \end{aligned}$$

今本圖ノ公式ヲ以テ [1] 式ニ轉置スルコト次ノ如ク

$$x = 2a \cos \theta (1 - \cos \theta), \quad y = 2a \sin \theta (1 - \cos \theta)$$

$$\frac{dx}{dy} = \frac{\sin \theta - \sin 3\theta}{\cos \theta - \cos 3\theta} = 0$$

$$\sin 2\theta = \sin \theta \quad \therefore \theta = \frac{\pi}{3}$$

今 ABCノ空間積ヲ求メン爲メ假リニ命名ヲ用ケテ

$$OBDT' \text{ 積} = A, \quad CDB \text{ 積} = u, \quad CBT' \text{ 積} = \Delta$$

$$\therefore A = \Delta - u \quad \Delta = \frac{1}{2} xy = \frac{a^2}{8} \sqrt{3}$$

$$u = \int y dx = 2a^2 \int_0^{\pi/3} (1 - \cos^2 \theta) d\theta$$

$$\therefore 2A = \frac{a^2}{4} \sqrt{3} - a^2 (2\pi - \frac{7\sqrt{3}}{2}) = \frac{15}{4} \sqrt{3} - 2\pi$$

四

第八號七套十

柿果ノ蒂ヲ放テ之ヲ盆上ニ置ハ盆上柿果ノ下部ヨリ自カラ
 空間アルベシ夫レ柿果ノ形體タル凹圓ノ立體ト其狀ヲ恰
 モ相似タリ故ヨリ今柿果ヲ凹圓立體ト見做シ其縱徑ヲ $4a$ ト
 セハ該空間積及ヒ空間ニ面スル皮積ヲ求ムル術各如何
 解 此題ハ全ク前題ト其象ヲ同フス故ヨリ前解ノ公式ヲ
 以テ次ニ旋轉積ヲ求ム

$$V = \pi \int y^2 dx \dots [1]$$

前解ノ公式ヲ以テ [1] 式ニ轉置スレハ則次ノ如ク

$$V = 8\pi a^3 \int_0^{\pi} \frac{1}{3} \cos^2 \theta (1 - \cos \theta)^2 (\sin \theta - \sin^3 \theta) d\theta$$

$$= 8\pi a^3 \left(\frac{\cos^3 \theta}{3} - \frac{\cos^4 \theta}{3} - \frac{1}{3} \cos^5 \theta + \frac{1}{3} \cos^3 \theta - \frac{\pi}{3} \right)$$

$$V = \frac{\pi}{24} a^3$$

又茲ニ皮積ヲ求ム

$$S = 2\pi \int y ds$$

$$S = 64\pi a^2 \int_0^{\pi} \frac{1}{3} \sin^4 \frac{\theta}{2} \pi \cos \theta n \frac{1}{2} d\theta = \frac{64}{5} \pi a^2 \sin^5 \frac{\pi}{5}$$

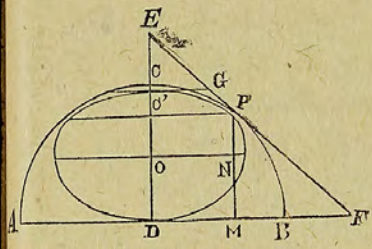
$$S = \frac{4\pi}{5} a^2$$

解者曰凹圓立體ヲ柿果ト見做シタル者ハ眞ニ適言ナ
 リ歐人ノ地球形ヲ橙ノ如キト云フモ且ニ之ニ類似ス
 余試ニ其空間積ヲ知ント欲シ即チ解キテ茲ニ舉ク

五

第三號五套六

半圓内ニ無數ノ橢圓ヲ容ルアリ各橢圓ノ長徑ハ恒ニ半圓ノ全徑ニ並行シ周線ノ二點ハ常ニ半圓周ニ接スト云問其無數ノ橢圓積ヲ平均スレハ其積如何但シ半圓ノ



解

a 半長徑 b 半短徑 トス
 $AB \parallel 2R$ $ON \parallel DN \parallel x$

$PN \parallel y$

圖ニ依テ次式ヲ得ル

$y \parallel R \cos \phi - b$ $\dots \dots [1]$

$x \parallel R \sin \phi$

又

$DE \cdot BC \parallel DE \cdot O'G$

$R \parallel DE \cos \phi \parallel DE \sin \phi \parallel (2b + BC) \cos \phi \dots \dots [2]$

而 $x = DE \cdot O'G \parallel a^2 \dots \dots [3]$

(1) (2) (3) 式ヲ以テ次式ヲ算ス

$a^2 \sin^2 \phi \parallel R^2 - 2bC \cos \phi \dots \dots [4]$

又橢圓ノ公式 $b^2 a^2 + a^2 y^2 \parallel a^2 b^2 \dots \dots [5]$

之ヲ以テ (1) 式ニ轉置スレハ

$b^2 R^2 \sin^2 \phi + a^2 (R^2 \cos \phi - b)^2 \parallel a^2 b^2 \dots \dots [6]$

今 (4) (6) 二式ヨリ八線項ヲ省ケハ

$b^2 R^2 + a^4 \parallel a^2 R^2$ 故ニ $a \parallel \left\{ \frac{R^2}{2} \pm R \left(\frac{R^2 - b^2}{4} \right)^{\frac{1}{2}} \right\}$

今橢圓積ヲ A トシ其個數ヲ n トシ A ノ總和ヲ $(A) \dots$ 平均數ヲ M トスレハ

$$A = \sqrt{b} \left\{ \frac{R^2}{2} \pm R \left(\frac{R^2 - b^2}{2} \right)^{\frac{1}{2}} \right\}^{\frac{1}{2}} \dots \dots [7]$$

$$M = \frac{M(A)}{n} \dots \dots [8]$$

今 $R \sin \theta = 2b \dots$ [7] [8] 兩式を轉置し分母分子に db を乘

スルハ

$$M = \frac{\sqrt{R^2} \int_0^{\frac{1}{2}\pi} \frac{1}{\cos^2 \theta} \frac{1}{\sin \theta} \frac{1}{2} \theta \cos \theta d\theta}{n \cos \theta d\theta}$$

式中ノ n ハ無究大ノ數ナル故ニ其係數ヲ積分スル者ニ等シ

$$\therefore M = \sqrt{R^2} \left(\frac{2}{3} \cos^3 \phi - \frac{4}{5} \cos \phi \right) \dots \dots \text{式中ノ } \phi \text{ ハ } \frac{\pi}{4} \text{ ト } 0$$

$$\text{ノ間トシテ } M = \frac{\sqrt{R^2}}{15} (2 + \sqrt{2})$$

六

第十號 八套九

法線ノ長縱線自乘ト定比ヲ保ツ曲線式如何



n ヲ定比トスルハ

$$y \left\{ 1 + \left(\frac{dy}{dx} \right)^2 \right\}^{\frac{1}{2}} = xy^2$$

$$\frac{dy}{dx} = \frac{1}{(n^2 y^2 - 1)^{\frac{1}{2}}}$$

今 $ny = \sec \theta$ トスルハ前式ヲ變ハテ

$$dx = \frac{1}{n} \sec \theta d\theta \quad \int dx = \frac{1}{n} \int \sec \theta d\theta$$

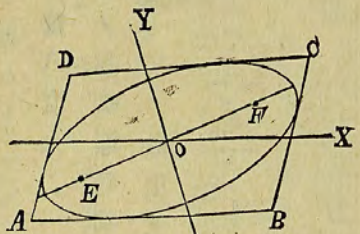
$$x + c = \frac{1}{n} \log \frac{1 + \sin \theta}{\cos \theta} \quad \therefore x + c = \frac{1}{n} \log (ny + \sqrt{n^2 y^2 - 1})$$

明治十二年二月一日抑君出題二條

伊藤直温解之

第一題

定平行四邊形内ニ画ケル橢圓ノ焦點ノ踪跡ハ如何



$$AB = DC = 2a, \quad AD = BC = 2b$$

$$\angle DAB = \alpha, \quad \angle FOX = \theta$$

橢圓長短半徑 = A, B.

$$DC \text{ 橢圓式 } \quad y = b \sin \theta \quad \dots \dots [1]$$

$$BC \text{ 橢圓式 } \quad y = (a - a) \tan \theta \quad \dots \dots [2]$$

橢圓式

$$\frac{(y \sin \theta + x \cos \theta)^2}{A^2} + \frac{(y \cos \theta - x \sin \theta)^2}{B^2} = 1 \dots [3]$$

[1] 式ヲ以テ [3] 式ノシヲ解キ之レヲ變化スレハ

$$(B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta) x^2 - 2bsin \theta \cdot sin \theta \cos \theta (A^2 - B^2) x =$$

$$A^2 B^2 - A^2 b^2 \sin^2 \theta \cos^2 \theta - B^2 b^2 \sin^2 \theta \sin^2 \theta$$

線ノ橢圓ト相觸ル、故ニ其交點ハ一個ナリ故ニ

$$(B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta) (A^2 B^2 - A^2 b^2 \sin^2 \theta \cos^2 \theta - B^2 b^2 \sin^2 \theta \sin^2 \theta)$$

$$+ \{ b \sin \alpha \sin \theta \cos \theta (A^2 - B^2) \} = 0$$

之レヲ解キ變化スレハ

$$B^2 + (A^2 + B^2) \sin^2 \theta - b^2 \sin^2 \theta = 0 \quad \dots \dots [4]$$

又 [2] 式ヲ以テ [3] 式ノシヲ解キ變化スレハ

$$\{ B^2 \cos^2 (\alpha - \theta) + A^2 \sin^2 (\alpha - \theta) \} x^2 - 2a \sin \alpha \{ B^2 \sin \theta \cos (\alpha - \theta) + A^2 \cos \theta \sin (\alpha - \theta) \} x = A^2 B^2 \cos^2 \alpha - B^2 a^2 \sin^2 \alpha \cos^2 \theta - A^2 a^2 \sin^2 \alpha \cos^2 \theta$$

又線ト楕圓ト相觸ルノ故ロ

$$\{B^2 \cos(\alpha - \theta) + A \sin^2(\alpha - \theta)\} \{A^2 B^2 \cos^2 \alpha - B^2 a^2 \sin^2 \alpha \sin^2 \theta - A^2 a^2 \sin \alpha \cos^2 \theta\} + a^2 \sin^2 \alpha \{B^2 \sin \theta \cos(\alpha - \theta) + A^2 \cos \theta \sin(\alpha - \theta)\}^2 = 0$$

之レヲ解キ變化數回ロミテ

$$B^2 + (A^2 - B^2) \sin^2(\alpha - a^2 \sin^2 \alpha) = 0 \dots [5]$$

[4] [5] 兩式相減シ以テ $A^2 - B^2$ ナ求ム

$$A^2 - B^2 = OF^2 = \frac{(a^2 - b^2) \sin^2 \alpha}{\sin^2(\alpha - \theta) - \sin^2 \theta}$$

變化シOFヲットス

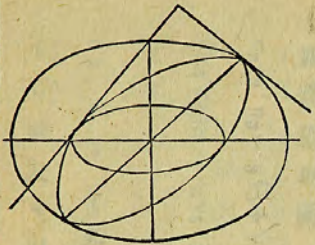
$$OF^2 = \frac{(a^2 - b^2) \sin \alpha}{\sin(\alpha - 2\theta)}$$

是レ即チ等徑双曲線式ナリ今若ク $\theta = \frac{\alpha}{2}$ 以テ上式ヲ變化ス

$$x y = \frac{(a^2 - b^2) \sin \alpha}{2} \quad \text{ヲ得ル}$$

第二題

二個ノ楕圓兩焦點ヲ相共ニスルアリ其中間ニ他ノ楕圓ヲ畫キ兩楕圓ニ相觸レムルキ兩觸點ヲ引ケル切線ハ相互ニ直角ニ交ルルニ其証如何



$$\frac{a^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1 \dots [1] \text{ 外楕圓式}$$

$$\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1 \dots [2] \text{ 内楕圓式}$$

又觸楕圓ノ式ハ

$$\frac{(y \sin \theta + a \cos \theta)^2}{A^2} + \frac{(y \cos \theta - x \sin \theta)^2}{B^2} = 1 \dots [3]$$

[1] [3] 兩式ヲ以テ觸點ノ縱橫線ヲ求メンガ爲メ
 $\frac{a^2}{b^2}$ ト $\frac{a^2}{b^2}$ ヲ及ビ $\frac{a^2}{b^2}$ ヲ去リ變化 $\frac{a^2}{b^2}$ ノ指數ニ從ヒ之ヲ括
 ン

$$\left\{ a^2 A^2 B^2 - a^2 b^2 (B^2 \sin^2 \theta + A^2 \cos^2 \theta) \right\} \left\{ a^2 + 2a^2 b^2 (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta \right\} =$$

$$a^2 b^2 (B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta) - b^2 A^2 B^2$$

兩橢圓相觸ル、故ニ觸點、縱橫線只一個ナリ故ニ、
 價亦一個ナリ

$$\therefore a^2 b^2 (B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta) - b^2 A^2 B^2 \left\{ a^2 A^2 B^2 - a^2 b^2 (B^2 \sin^2 \theta + A^2 \cos^2 \theta) \right\}$$

$$+ \left\{ a^2 b^2 (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta \right\}^2 = 0$$

之レヲ解キ變化シテ同乘數ヲ省ケン

$$a^2 b^2 - b^2 (B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta) - b^2 (B^2 \sin^2 \theta + A^2 \cos^2 \theta) + A^2 B^2 = 0 \dots [4]$$

而レテ $\frac{a^2}{b^2}$ ノ價ニ

$$\frac{a^2}{b^2} = \frac{b^2 (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}{b^2 (B^2 \sin^2 \theta + A^2 \cos^2 \theta) - A^2 B^2} = \frac{b^2 (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}{a^2 b^2 - a^2 (B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta)}$$

又 [2] [3] 兩式ヲ以テ同法ニ據ン

$$a^2 b^2 - a^2 (B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta) - b^2 (B^2 \sin^2 \theta + A^2 \cos^2 \theta) + A^2 B^2 = 0 \dots [5]$$

$$\frac{a^2}{b^2} = \frac{b^2 (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}{b^2 (B^2 \sin^2 \theta + A^2 \cos^2 \theta) - A^2 B^2} = \frac{b^2 (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}{a^2 b^2 - a^2 (B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta)}$$

外橢圓ノ觸點ニ引ケル切線ト横軸トノ交角ノ正切ヲ m
 内橢圓ノ觸點ニ引ケル切線ト横軸トノ交角ノ正切ヲ m'
 トシ兩切線ノ交角ヲ α トスルハ橢圓ノ切式ニ據リ

$$\frac{m}{m'} = \frac{\frac{b^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta - b^2}{a^2 y}}{\frac{b^2}{a^2 x}} = \frac{B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta - b^2}{(A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}$$

$$\frac{m}{m'} = \frac{\frac{b^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta - b^2}{a^2 y}}{\frac{b^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta - b^2}{a^2 x}} = \frac{B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta - b^2}{(A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}$$

$$\tan \alpha = \frac{m - m'}{1 + m m'}$$

$$\frac{(A^2 - B^2) \sin^2 \theta \cos^2 \theta + (E^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta)^2 - (b^2 + b'^2) [B^2 \cos \theta + A^2 \sin^2 \theta] + b^2 b'^2}{(b^2 - b'^2) (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta} \\ \frac{(b^2 - b'^2) (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}{(A^2 - b'^2) (A^2 - b'^2) \sin^2 \theta + (B^2 - b^2) (B^2 - b'^2) \cos^2 \theta} \dots \quad [6]$$

併 [4] [5] 兩式相減スルハ

$$a^2 b^2 - a'^2 b'^2 - (a^2 - a'^2) (B^2 \cos^2 \theta + A^2 \sin^2 \theta) - (b^2 - b'^2) (B^2 \sin^2 \theta + A^2 \cos^2 \theta) = 0 \\ \text{而シテ内外兩橢圓焦點ヲ相共ニスル故ニ } a' - b' = a^2 - b^2 \\ a^2 - a'^2 = b' - b^2 \quad \text{以テ上式ヲ變シ } A^2 + B^2 \quad \text{ヲ求メシムルニ} \\ A^2 + B^2 = \frac{a^2 b^2 - a'^2 b'^2}{a - a'} = a^2 + b'^2 = a'^2 + b^2 \dots \dots [7] \\ \therefore A^2 - b'^2 = a' - B^2 \quad B^2 - b'^2 = a^2 - A^2$$

以テ [6] 式ヲ變シシム

$$\tan \alpha = \frac{(b^2 - b'^2) (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}{[A^2 - b'^2] (a^2 - B^2 \cos^2 \theta) + [B^2 - b^2] (a'^2 - A^2 \cos^2 \theta)} \\ \frac{(b^2 - b'^2) (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}{a'^2 (A^2 \sin^2 \theta + B^2 \cos^2 \theta) - a^2 b'^2 - A^2 [b^2 + b'^2] (1 - 2 \sin^2 \theta) + A^2 \cos^2 \theta}$$

此式ノ分母ハ [4] 式ニ同シ

$$\therefore \tan \alpha = \frac{(b^2 - b'^2) (A^2 - B^2) \sin \theta \cos \theta}{0} = 8$$

$$\therefore \alpha = 90^\circ$$

且ツ [7] 式ニ據リ察スルハ此橢圓ハ長短兩半徑各平方ノ和恒ニ定數ナリ

第十二號答式

算數學

四尺二寸

三百斤

四圓

代數學

甲二十日

乙二十四日

丙三十日

前輪八尺

後輪十尺

(五)

甲八尺

乙十六尺

最大邊長ヲ

n^2

トスレハ

三角形ノ數ハ

$(n-1)!$

コシテ

$2n+1$

ナルキハ

其數 $n-2n+1$

ナリ

七)

二分一

三角法

(六)(四)(三)(一) (六)(三)(一)

$$2\sqrt{2} \parallel m \text{トスレハ } a \parallel m \pm 2\sqrt{m}$$

前輪八尺

後輪十尺

(五)

甲八尺

乙十六尺

最大邊長ヲ

n^2

トスレハ

三角形ノ數ハ

$(n-1)!$

コシテ

$2n+1$

ナルキハ

其數 $n-2n+1$

ナリ

七)

二分一

三角法

$$a \parallel \frac{m \sin \vee \cos \frac{1}{2}(a-\beta)}{\cos \frac{1}{2}(\alpha+\beta)-\vee}$$

PAQ $\parallel \alpha$

QAR $\parallel \beta$

tac θ

$$\frac{(t+f \tan \delta \tan \lambda)}{t \tan x - t \tan \lambda}$$

圓錐曲線法

直線

(六) 二點共ニ同一曲線内ニアレハ 双曲線又相

對兩曲線内ニアレハ 橢圓

代數幾何學

圓ニレテ其中心ハ定圓ノ最下點ニアリ

拋物線ニ觸ルキハ 準線 橢圓ニ觸ルキハ 圓

$$x + \pm \sqrt{2} \alpha \sqrt{\lambda + \frac{m^2}{4}} \parallel p \text{トスレハ } x^2 + y^2 - 2p[x+y] = \frac{m^2 - p^2}{4}$$

A角鋭ナルハ 双曲線 鈍ナルハ 橢圓 直ナルハ 直線

$$\text{拋物線 (六) 通徑ヲ } 4a \text{トスレハ } x^2 + y^2 + x^2 + y^2 \parallel a^2$$

(五)(四)(三)(二)(一)

(七)

曲線内一點ノ縱橫線ヲ x, y トスレバ

切線式 $y = \frac{b^2 x^2 (3a - 2x)(x - (a - x^2 x^2))}{4b^2}$

法線式 $y = \frac{a^2 y' x - 3a^2 + 3ay^2 x^2 - 2b^2 x^2}{b^2 x^2 (2x^2 - 3a)}$

(八)

橢圓 (九) $s = \frac{d}{b} \left\{ 10 - 6 \frac{3}{3} \sqrt{40 \sqrt{1026} + 1133} - \frac{3}{3} \sqrt{40 \sqrt{1026} - 1133} \right\}$

微分積分法

$x = \frac{3b \sqrt{3}}{4}$ (二) 半長經 $\frac{r}{3} \sqrt{6}$ 半短短 $\frac{r}{3} \sqrt{2}$

體積ノ比 27:8 全面積ノ比 9.2(1+ $\sqrt{3}$)

兩拋物線式ヲ $y^2 = 4ax, x^2 = 4a'y + 4a^2$ トスレバ積 $= \frac{16}{3} a^2$

平均積 $\frac{4y^2}{3}$ 但本題ハ十號四套ノ八ノ重複ナリ

(八)(六)五(三)(一)

弦ヲ O トシ 矢ヲ h トスレバ 甲圓徑ハ $\frac{c}{h} \left(\frac{c}{h} + 1 - \frac{c}{h} \right)$ ニシテ 其數價ハ十二寸ナリ

(九)

其一 $y = \frac{-1}{6.2} \{ x + 2(1 - x^2)^{\frac{1}{2}} \sin^{-1} x + 2a^2 \log x \}$

其二 $y = \frac{1}{6} \log \frac{\sqrt{2} - ax + a}{x^2 + 1} - \frac{1}{2\sqrt{3}} \tan^{-1} \frac{\sqrt{3}}{2a^2 - 1}$

微分方程式

拋物線 (二) $x = \log \frac{y^2}{\frac{e}{4a}}$ (三) 圖

$y^2 = \frac{x^3 - 1}{3x}$ (五) 拋物線

重學

一秒時中ニ物体ニ加ル地力率ヲ y トスレバ其重サ

$a = \frac{m}{4s} (f^2 y + 2s)$ $b = \frac{m}{4s} (f^2 y - 2s^2)$

2 $\sqrt{3}$ 丈 (三) $V = \frac{Vaj \sec A \sec B \tan(A+B) \sin A + B}{2}$

紐長ヲ h トシ之レヲ倍セシムル重力ヲ w トスレバ

重ノ速力ハ (2ndp) ナリ

(五) $\frac{4a}{a}$

六) $\frac{a^2}{1-l^2} \frac{1+l^2}{l^2}$

(七) $\frac{2\pi be^{\frac{1}{2}}}{8KV2g}$

第十二號正誤

○第二葉裏面最末行ヨ(三)ノ字ヲ脱ス

○第十四葉表面最末行(チ接スヘシ)ノ上ニCトアルハCGノ脱落ナリ

○第十五葉裏 GM:GM::PM:OM トアル此例式ノ第四率PMハONノ誤リ

○十八葉裏面第三横行中 (1-3) || P)ノPハP)ノ脱落ナリ

第十號正誤

○第十三葉ノ裏 CD = $\frac{1}{2}a$, $\therefore CD = \frac{1}{2}a$ ノ誤リ

社長

神田孝平
岡本則録

總理 儀野健

編輯 大村一秀
印刷

東京芝區柴井町 第十三號

賣捌所

東京芝區柴井町

土屋忠兵衛

同 日本橋區本町三丁目

清水卯三郎

明治十二年五月三日

每月第一土曜日刊行

東京數學會社雜誌

第十五號



- 一 本社ノ大意ハ第一號ノ題言ニ依テ知ルベシ
- 一 本號ノ諸問題ハ入社人ヨリ蒐輯スル所ニシテ其答商ハ必ス次号ニ記載ス可シ
- 一 入社人ニ非ザル者ト雖凡奇異ノ諸題ヲ投スレハ其題ノ巧拙ニ因リ之ヲ取捨シ記載スベシ
- 一 諸名義譯例等ハ漸次ニ改正ス可シ
- 一 集會ハ毎月第一土曜日午後一時ヨリ湯島昌平館ニ於テス
- 一 入社セント欲スル者ハ集會日ニ該館へ來リ名簿住所ヲ記ス可シ

明治十二年五月

東京數學會社

第一套
算數學雜問

一 茲ニ整數アリ其七分ノ五ヨリ三個ヲ減シ得ル數ハ三十六個ナリ請フ設數法ヲ用ヰテ此整數ノ數價ヲ算定セヨ

第三套

代數學雜問

- 一 同元ノ二式 $x - y = m$, $\frac{x}{y} - \frac{y}{x} = n$ アリ之ヲ並用シテ x , y ノ數價ヲ求ムレハ如何
- 二 同

梅 武 松

同元ノ三式 $x^2 + y^2 = ax^2 = y^2 + z^2$ $z^2 = (x^2 + y^2) = bx^2$ ア
リ x ノ數價ヲ需ム

三

大村 一秀

甲乙ト名ケル二數アリ之ヲ併スレハ五個ヲ得又甲ノ三乘
方積ニ乙ノ三乘方積ト甲ノ二乘方積ト及乙ノ二乘方積ノ
二倍ヲ加フレハ共ニ五十二個ヲ得ル問フ甲數幾何ソ

四

岡本 則錄

左(1)(2)ノ如キ同元二式アリ程式ノ法ニ據リテ其 x, y ナ消
去スレハ(3)式ヲ得ル其故ヲ需ム

$$ax^3 + bx^2y + cy^3 = 0 \dots\dots(1)$$
$$a'x^3 + b'x^2y + c'y^3 = 0 \dots\dots(2)$$

$$\begin{array}{cccc} a, & b, & c, & 0 \\ 0, & a, & b, & c \\ a', & b', & c', & 0 \\ 0, & a', & b', & c' \\ 0, & 0, & a', & b', & c' \end{array} = 0 \dots(3)$$

第三套

幾何學雜問

一

樽俊之助

三邊形アリ中垂線ニ並行スル二線ヲ以テ其積ヲ三平分セ
ント欲ス其画法如何

二

同

圓内ニ画ケル不等四邊形アリ其各邊遞次ニ等差級數ヲナ
シ且ツ其AB邊トCD邊ノ和ハ m 又BC邊トDA邊ノ和ハ n ナリ
ト云フ若シ圓半徑ヲ r トスレハ其圓積ヲ求ムル式如何

三

英國大學校試驗題

已定ノ等脚三邊形アリ此ト等積ノ等邊三邊形ヲ画クテ如
何

第四套

三角法雜問

一

設如ハ $\tan(\cot x) \equiv \cot(\tan x)$ 式アリ此 x ナ需ム

二

設如ハ $\cos^{-1} \frac{1-x^2}{1+x^2} + \tan^{-1} \frac{2x}{1-x^2} = \frac{4\pi}{3}$ 式アリ此 x ナ需ム

三

已知ノ一圓内ニ ABC. 三邊形ヲ画キ其 AB. AC. 二邊ヲ引長シサテ此二線ト已定圓トニ切スル圓ヲ画ケハ其各數ノ連属左式ノ如シ(式中 R. ハ已知圓ノ半徑、r. ハ他ノ一圓ノ半徑ナリ)何ヲ以テ之ヲ知ルヤ

$$r \cos^2 \frac{A}{2} = 4R \sin \frac{A}{2} \cos \frac{B}{2} \cos \frac{C}{2}$$

四

互ニ直角ニ相交ルニ平面アリ其一面ハ水平面ト a. 角ヲナシ餘ノ一面ハ水平面ト b. 角ヲナスキ其二平面ノ交界線ト水平面トノ交角ヲ θ ト名シレハ $\cot^2 \theta = \cot^2 a + \cot^2 b$. ナリトス其證ヲ需ム

第五套

圓錐曲線法雜問

一 **十七号**

已定ノ一拋物線ノ心點ヨリ其線ノ任一點ニ引ケル線ヲ全徑トシテ圓ヲ画ケハ其圓ハ必ス拋物線ノ頂點ニ在ル切線ニ相切ス可シト云フ其證如何

二
 甲乙ノ橢圓アリ甲ノ心點ハ俱ニ乙ノ線内ニ在リ乙ノ心點
 ハ甲ノ線内A. B. ノ二點ニ在レハ乙ノ兩心差率トAB. 徑ト比
 例スト云フ其證ヲ需ム

三
 已定ノ一橢圓内ニ在ル六邊形ノ相對スル各二邊ヲ引長ス
 レム其各二線ノ交點A. B. C. ハ常ニ必ス同一直線内ニ在ル
 ナリ何ヲ以テ之ヲ知ルヤ

圖題二



圖題三



第六套

代數幾何學雜問

一 十九号

無數ノ拋物線アリ共ニ同一點ヲ經過シ各其頂點ハ恒ニ同
 一線ニ切スト云フ各心點ノ跡線ハ何線ヲ成スヤ

二 三十四号

一定線ヲ底邊トシテ画ケル無數ノ三邊形アリ其各ノ頂角
 俱ニ同一ナルハ各形内ニ客ル、圓心ノ跡線ハ一個ノ圓線
 ナ顯ス其證如何

三 三十四号

一曲線アリ其各點ヨリ他ノ已知二圓シカラスニ引ク兩切
 線ハ常ニ雙々相等シト云フ其曲線ノ式ヲ需ム

四 三十四号

肝付兼行

圖ノ如ク直線上ニ等圓轉軌線ヲ置キ切點ノ二處 AB. ト尖點 C. トニ因テ成ル所ノ形象ハ AB. 上 C. ノ垂高ヲ $\frac{1}{2}a$. トス (a . ハ等圓ノ半徑ナリ) 今此形象内底邊ニ一邊ヲ占メ傍邊ニ二角點ヲ接スル所ノ無數長方形ヲ客ル、アリ其平均積ヲ求ムルト如何

五 十七号

英國大學校試驗題

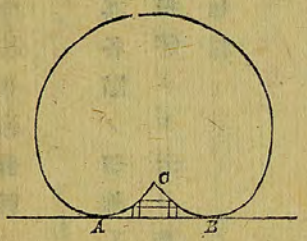
左圖 S. ヲ大陽トシ E. ヲ地球トシ俱ニ之ヲ球体ト觀且ツ大陽恒ニ地球ノ軌道 mn . 橢圓ノ一心點ニ在リト觀レハ地球ニ因テ空中ニ生スル闇虛ノ尖頂 e . ノ跡線ハ一橢圓ニシテ其通徑ハ $pe(r-r')$. 一ナリ (式中 p . ハ軌道ノ通徑 r . ハ大陽ノ半徑又 r' . ハ地球ノ半徑トス) ト云フ其證ヲ需ム

六 三十七号

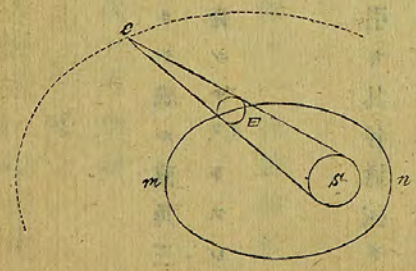
同

己定ノ拋物線内ニ無數等長ノ通弦ヲ書クアリ其通弦ノ中點ノ跡線ハ何次ノ曲線ヲ成スヤ

四 題 四



五 題 五



第七套

微分積分法雜問

一 十八号

曲線アリ其各點ノ切線 X. Y. 兩軸ニ交リテ成ル直角三邊形ノ積恒ニ相等シト云フ若シ其各積ヲ命シテ C². トスレハ其曲線ノ式如何

二 十九号

已知拋物線ノ頂點ヨリ無數ノ通弦ヲ引キ其各通弦ヲ全徑トシテ半圓ヲ畫シアリ若シ拋物線ノ通徑ヲ 4p. ト定ムレハ無數半圓ノ交跡線ノ式如何

三 十九号

直角三邊形アリ其三角點ヲ經過シテ積極小ノ橢圓ハ其斜邊

行ニ並ニ畫カント欲ス問フ若シ三邊形ノ一銳角六十度ニシテ斜邊ノ長 a. ナルキハ其橫徑ヲ求ムル式如何

三十七号

茲ニ
$$\frac{2 \tan x - \tan^2 x}{x(1 - \cos 3x)}$$
 式アリ若シ $x = 0$ ト爲セハ $\frac{0}{0}$ ニ

化ス問フ其眞數價如何

五

其式 $y^3 - y^2 - 8x^6 - 36x^5 - 2x^4 = 0$ ナル曲線ハ一拋物線形ヲナセル曲漸近線ヲ有スト云フ其證ヲ需ム

六

其式 $x^2 y^2 + x^2 y = a^3$ ナル曲線アリ之ヲ畫クト如何

七 十九号

圖ノ如ク拋物線内ニ其積極大ノ一橢圓ノ高ト相親ム

小澤兼藏

容ル、アリ今拋物線ノ通徑 $4p$ 及其高 h ヲ已知シテ拋物線ノ心點ヨリ橢圓ノ一心點ニ至ル距長 D ヲ求ムル式如何

八 **三十六号**

肝付兼行

長方形(長邊ハ a 、短邊ハ b)ノ四角點ヲ經過シテ其積極小ナル尖圓ヲ定メヨ

九 **十九号**

上野 清

直線アリ之ヲ撓メテ周界トシ一平面ヲ作ルニ其積ヲ極大ナラシメンニハ其平面ハ必ス圓形ナリト云フ其證如何

十 **十九号**

山本信實

諸三邊形アリ其底邊及容圓皆相等シ其積ノ極大ト極小ト問フ但シ底邊ヲ a トシ容圓半徑ヲ r トス

十一 **二十二号**

肝付兼行

圖ノ如ク一直線上ニ ACB 、等圓轉軌線ヲ置キ周ノ二處ヲ切セ

シメ其一切點 A 、ヨリ極長ノ斜徑 AB 、ヲ畫シアリ A 、ヨリ左方 B 、ニ至ル曲周ヲ求ル式如何

十二

赤松則良

已知ノ圓環体アリ空間ノ已知一點ヨリ環面ニ無數ノ切線ヲ引クキハ其切點ノ跡自ラ二條ノ曲線ヲ成ス問フ此兩曲線ノ式及其各長ヲ求ムルヲ如何

十三

英國大學校試驗題

設如ハ $\int_0^{\infty} \frac{1}{x} \cos \frac{1}{x} dx$ 式アリ此積分ヲ求ム

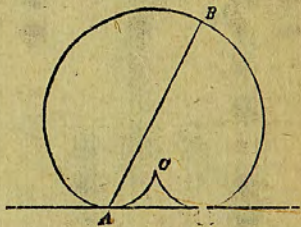
同

已知圓錐体アリ其表面ノ一點ヨリ起リ体面ヲ一周シテ該點ニ復スル極短ノ曲線長ヲ求ム

圖題七



圖題一十



第八套

微分方程式法雜問

一 微分方程式 $\frac{d^2y}{dx^2} + 13\frac{dy}{dx} + 36y = \cos 2x$. アリ此積分ヲ需ム

二 微分方程式 $\frac{dy}{dx} + \frac{dy}{y} + \frac{adz}{xy}$. 式ヲ積分スレバ $xy - az = c$. ナ得ル

其證ヲ需ム

三 曲線アリ各點ノ切線ニ曲線外ノ二定點ヨリ直角線ヲ引ケ

ハ其兩直角線ノ相乗ハ恒ニ同數價ナリト云フ問フ此曲線

ハ何線ナラム

第九套

力學雜問

一

三十七号

其半徑ハナル一圓板アリ其疎密率ハ周ノ一定點ニ引ケル切線ヨリノ直距離ト比例シテ變化スト云フ其重心點ト切線トノ直距離ヲ求ム

二

安西 謠 朝

圖ノ如ク滑摺ヲ以テ連テタル二等杆(其各長ハ a 、各重ハ w)ヲ同水平面ノ二栓P、Q上ニ垂直ニ措キ兩杆上ニ二等球(其各全徑ハD、各重ハ w)ヲ載セ又兩杆相連ル處Aニ一錘Bヲ垂レシニ各杆ト水平ト三十度ノ傾角ヲナセリ問フ錘重ハ幾何ナルニヤ

三

三十七号

我月ハ大約二十七全日七時ニシテ地球ヲ一周シ地球面ノ重力ハ一秒時間ニ靜止ノ一物体ヲ引クヲ大約十六忽又地球ノ半徑ハ大約四千英里ナリ問フ月地ノ距離幾許

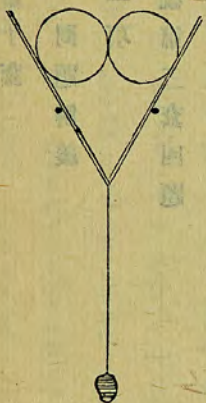
四

三十七号

尖圓アリ其縱徑スル尖點ヲ經過ナ $2a$ トシ横徑ヲ $2b$ トシ以テ此縱徑ヲ軸トセル惰力率ヲ求ムルヲ如何

モメント、オフ、アイチルシヤ

圖 題 二



第十套

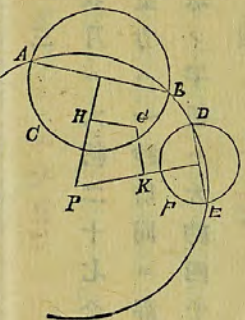
問題解義

第一項

關 口 開 解

第七號第三套四題

一定點 P. ナ經過スル一圓ヲ画キ以テ大小ノ二定圓 A. B. ノ各周ヲ二等分セントス問フ此圓心ト其半徑ヲ定ムル如何



○定點 P. ヨリ各定圓ノ中心ヲ結合シ其各線ニ直角ナル AB. DE. 全徑ヲ引キ A. B. P. 及 D. E. P. 各三點ヲ通過シ得ヘキ圓ノ中心 H 及 K. ナ求メ此 H. 及 K. ナ通シ AB. 及 ED. 線ニ並行シ HG. 及 KG. ナル二直線ヲ作り其相會フ點 G. ナ中心トシ GP. ナ半徑トシ圓ヲ画

ク可シ是レ需ムル所ノ圈ナリ

第二項

肝付兼行 解

第十二号第四套六題

Tan(A+B) = 3tanA. ナルルハ次式ヲ得ヘシ其證如何

$$\sin 2(A+B) + \sin 2A = 2\sin 2B.$$

○Tan(A+B) = 3tanA. 故ニ cosA.sin(G+B) = 3sinA.cos(A+B). 即チ
 (sinA.cosB)cosB + (cos²A)sinB = (3sinA.cosA)cosB - 3sin²A.sinB.
 1/2sin2A.cosB + sinB(1 - sin²A) = 3/2sin2A.cosB - 3sin²A.sin²B.
 之ヲ變ニ sinB + (2sin²A)sinB = sin2A.cosB. 仍之ヲ化シテ
 2sinB - cos2A.sinB = sin2A.cosB. 此ニ 2cosB. ナ乗スレハ
 4sinB.cosB - 2cos2A.sinB.cosB = (2cos²B)sin2A. 之ヲ化シテ
 2sin2B = sin2A + (sin2A.cos2B + cos2A.sin2B). ナ得ル此

故 $= 2\sin 2B = \sin 2A + \sin 2(A+B)$. ナルヲ必セリ

第三項

第七号第五套三題

雙曲線ノ任點 P.ニ引ケル切線ト其漸近線トノ交點ヲ T.ト
 シ一心點 S.ヨリ P.ニ引ク一線ト同漸近線トノ交點ヲ Q.ト
 スレハ SQ.ハ必ス QT.ニ等シト云フ其解ヲ示セ

○案スルニ凡ソ雙曲線ノ任一點 P.ヨリ引ケル兩切線ヲ
 心點 S.ヨリ之ヲ見レハ其角必ス常ニ相等シキ者トス、故
 ニ若シ S. T. 點ヲ聯キ又 QT.ニ並行シテ SR.ヲ引クト觀レハ
 角ト TSR. 角ト相等シカラサルヲ得ス由テ QST. 角ト等
 シシテ從テ SQ.ト QT.ト等シキヲ明カナリ 第七号十葉六題
 第四項 圖ヲ照覽ス可シ

第七号第七套二題

爰ニ級數 $4x + 8x^2 + 12x^3 + \dots + 4nx^n$. アリ積分法ヲ以

テ第 n . 項迄ノ和ヲ求ムルヲ要ス

○其和ヲ S.ト名ケ此級數ヲ化スレハ左式ヲ得ル

$S = 4x(1 + 2x + 3x^2 + \dots + nx^{n-1})$. 此ニ $\frac{dx}{x}$ ヲ乘シ積分
 ナ求メ之ヲ化スレハ

$$\int S \frac{dx}{x} = \int 4(dx + 2xdx + 3x^2dx + \dots + nx^{n-1}dx), \quad \text{故ニ}$$

$$= 4(x + x^2 + x^3 + \dots + x^n) = \frac{x-x^{n+1}}{1-x}$$

$$d \int S \frac{dx}{x} = S \frac{dx}{x} = d \frac{x-x^{n+1}}{1-x} = \frac{dx - (n+1)x^n dx + nx^{n+1} dx}{(1-x)^2}$$

即チ $S = \frac{x - (n+1)x^{n+1} + nx^{n+2}}{(1-x)^2}$. ナ得ル需ル所ノ和トス

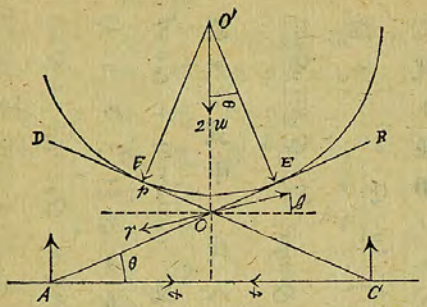
第五項

岡本則錄解

第一号第六套三題

輕重不等ナル兩杆 其各長ノ中點ヲ滑軸ニテ繫キ各下端ヲ
 水平盤上ニ安置シ杆ヲ一垂面ニ置キ兩杆ノ上隙ニ圓盤全
 徑ハ杆ノ半長ヲ載セ其面ヲ杆ト同垂面ニ在ラシメ兩杆ノ
 下端ヲ絲ニテ繫キ以テ垂面内ニ杆ノ倒伏スルヲ止ムルア
 リ今若シ此絲ノ牽力ヲ最少ナラシメ各杆ト水平盤
 トノ交角 θ ヲ如何ニ定ム可キヤ 其一杆ノ重ハ圓盤ノ重ノ
 倍重ナリ n .

○圓盤ノ半徑ヲ a トスレハ各杆ノ半長ハ $2a$ ナリ圓盤ノ
 重ヲ $2w$ トスレハAB杆ノ重ハ $2mw$ ニシテCD杆ノ重ハ $2nw$ ナリ
 又圓盤ノ重自ラ分レテ各杆ニ加ハル壓力ヲ p トシ各



杆ノ下端ニ在ル水平盤面ノ抵抗力ヲ q トシ兩杆ヲ聯ヌ
 ル滑軸ノ抵抗力ヲ r トシ r ノ力線ト水平線トノ角ヲ b
 トシ絲ノ牽力ヲ t トス

O' 垂直線ニ準テ各 p ヲ分解スレハ
 $2pcos\theta = 2w$ 即チ $pcos\theta = w$ 故ニ
 $p = \frac{w}{cos\theta}$

A. ヲ原點トシAB杆ノ重 $2mw$ 及其杆ニ
 加ハル p 及 r ノ力距率ヲ求ムレハ
 $p(a\sin\theta + 2a) + 2mw \cdot 2acos\theta = r \cdot 2asin(\theta - b)$
(1) 又 O ヲ原點トシ同理依テ
 $p(atan\theta + 2a) + 2nw \cdot 2acos\theta = r \cdot 2asin(\theta + b)$
 此兩式ヲ並用シテ r ヲ消去スル後

其式中ノ p ナ代ヘ尙之ヲ化シ之ヲ括レハ

$$\tan \theta + 2 + 2\cos^2 \theta (m+n) \parallel 2\cos \theta \cdot \sin \theta (n-m) \cot \theta, \dots \dots \dots (2)$$

次ニ p, r ニカヲ水平線ニ準テ分解スレハ左式ヲ得ル

$$p \sin \theta + t \parallel r \cos \theta. \text{ 此 } p \text{ ナ代ヘ } r \text{ ナ求ムレハ } r \parallel \frac{r \tan \theta + t}{\cos \theta}$$

以テ(1)式中ニ代入スル後其式中ノ p ナ代ヘ之ヲ化スレハ

$$\frac{r \cos \theta}{\cos \theta \sin (\theta + b)} (a \tan \theta + 2a) + \frac{4mr \cdot a \cdot \cos \theta \cdot \cos \theta}{\sin (\theta + b)} \parallel 2a (r \tan \theta + t)$$

即チ $\frac{r \cos \theta \cdot r}{\sin (\theta + b)} \left(\frac{\tan \theta}{2\cos \theta} + \frac{1}{\cos \theta} + \frac{2\cos \theta}{1} \right) - r \tan \theta \parallel t$ ナ得ル

(2) 式ト並用シテ b 角ヲ消去シ之ヲ化シ t ナ求ムレハ

$$\frac{[r \tan \theta + \cos^2 \theta + \cos^2 \theta (m+n)] w}{\sin \theta \cdot \cos \theta} \parallel \frac{w}{2\cos^2 \theta} + \frac{\cos \theta \cdot w (1+m+n)}{\sin \theta}$$

$$\parallel w \left\{ \frac{1}{2} \sec^2 \theta + (1+m+n) \cot \theta \right\}$$

惟フニ t カノ多少ハ必ス θ ノ如何ニ關ス可キ故今 θ ナ自變數ト觀此得式ヲ微分シ宜ク其式ヲ化スレハ

$$\frac{dt}{d\theta} \frac{\sin \theta}{\cos^3 \theta} - (1+m+n) \frac{\cos^2 \theta}{\sin^2 \theta} (1+m+n) \parallel 0. \text{ 此故ニ}$$

$$\frac{1}{1+m+n} \frac{\sin \theta}{\cos^3 \theta} \parallel 0. \text{ 即チ } 1+m+n \parallel \tan^3 \theta,$$

故ニ $\tan \theta \parallel \sqrt[3]{1+m+n}$ ナ得ル牽力 t ナ最少ナラシムル θ ノ正切トス

第六項 菊地大麓 解

第七号第九套三題

其速率ト漸加力ト常ニ相比例スルトハ其ト時ニ於テノ速率 $v, v_0 \parallel V_0 e^{kt}$ ナル式ヨリ得ヘク其時迄ニ經過シシ距離ノ長 $s, s \parallel \frac{V_0}{k} (e^{kt} - 1)$ ナル式ヨリ得ヘシ(此兩式中 k ハ

一 常數ニシテ又 V_0 ハ其最始ノ速率ナリ(問フ何ヲ以テ之ヲ知ルヤ)

○ 此題漸加力ハ速率ト比例スル故ニ動力學ノ理ニ依テ

$$\frac{dV}{dt} = kv, \text{ 此} = e^{-kt}, \text{ ナ乗スレバ } e^{-kt} \frac{dV}{dt} = ke^{-kt} = V_0. \text{ 即チ}$$

$$\frac{d}{dt} (e^{-kt} V) = 0, \text{ 故ニ } e^{-kt} V = e^{-kt} V_0, \text{ 此故ニ } V = V_0 e^{kt}, \text{ トス}$$

又動力學ニ依テ $\frac{ds}{dt} = V$, 故ニ $\frac{ds}{dt} = V_0 e^{kt}$, 而テ V_0 ハ己ニ

常數ナル故ニ $s = \frac{V_0 e^{kt}}{k} + C_1$, 按スルニ $t=0$ ノ數價 0 ナレハ

$s=0$ 亦 0 ナル故ニ此式化シテ $0 = \frac{V_0}{k} + C_1$, 故ニ $C_1 = -\frac{V_0}{k}$.

$$\text{此故ニ } s = \frac{V_0 e^{kt}}{k} - \frac{V_0}{k} = \frac{V_0}{k} (e^{kt} - 1) \text{ ナ得ル}$$

第七項

同

第八号第八套四題

圖ノ如ク玻璃管中 V 量ノ水銀ヲ水銀製大氣計 h 高ニ因テ量記セル大氣壓力ニ因テ支ユルアリ今該管上部横截ノ面積ヲ a , 下部横截ノ面積ヲ b , トスレハ BC ノ長ハ $\frac{hb-V}{b-a}$ ニシテ亦若シ大氣計ニ於テ水銀「インチ」ヲ降ルトハ此長ニ於テ $\frac{b}{b-a}$ ナ降ルト云フ其故ヲ證明セヨ

○ 左圖 A, C ニ至ル高ハ即チ h ナリ故ニ RC トナシト

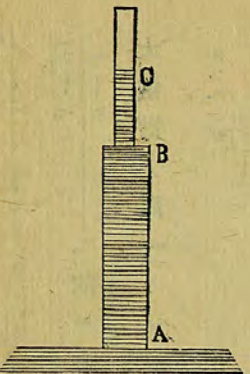
$$\text{スレハ } AB = h - x, \text{ 而テ } V = ax + b, AB,$$

$$\text{即チ } V = ax + bh - bx, \text{ 故ニ } x = \frac{hb-V}{b-a},$$

又若シ h 損消シテ $h-1$ トナレハ

$$BC + BA = h-1, \text{ 今 } BC \text{ ナ } x', \text{ ト名クン}$$

$$\text{ハ } AB = h-1-x', \text{ ナリ故ニ左ノ如シ}$$



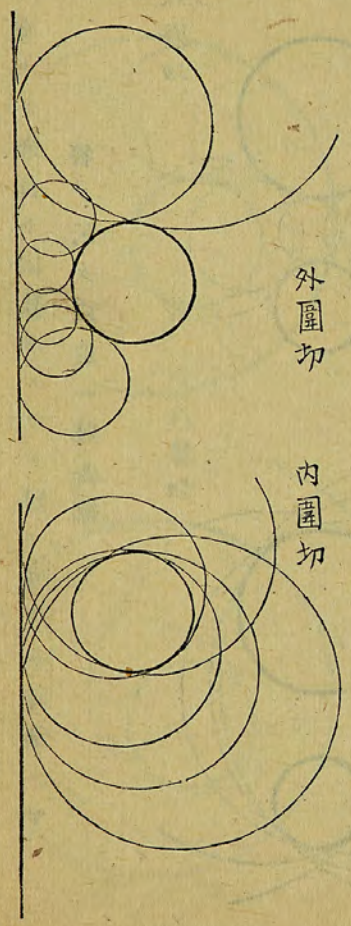
$V = ax^2 + b, AB = ax^2 + b(h-1-x^2),$ 故 $x = \frac{b(h-1)-V}{b-a}$
 $\frac{bh-V}{b-a} - \frac{b}{b-a}$ 故 x 之ヲ變シテ $s = \frac{b}{b-a}$ ナ得ル由テ
 大氣計ノ高一「インナ」ヲ降レハ BC ノ長ハ $\frac{b}{b-a}$ ナ降ルヲ知
 ルハシ

附錄第一

形象自然三題

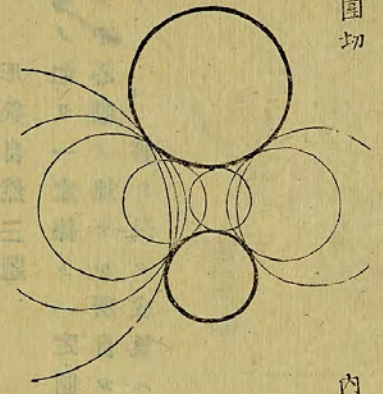
伊藤雋吉 記

今圖ノ如ク一定線ト一定圈トニ相切シテ數圈ヲ累書スレ
 ハ其中心點ノ連ナル所自カ成象アルナリ問フ成象ハ何線
 シヤ 答テ云ク成象ハ拋物線

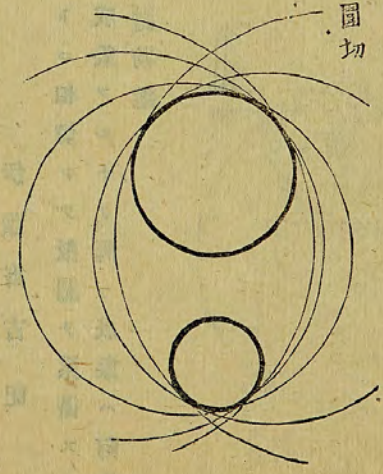


今圖ノ如ク二定圈ニ相切シテ數圈ヲ累畫スレハ其中心點ノ聯ナル所自ラ成象アルナリ問フ成象ハ何線ソヤ
答テ云ク成象ハ雙曲線

外圍切



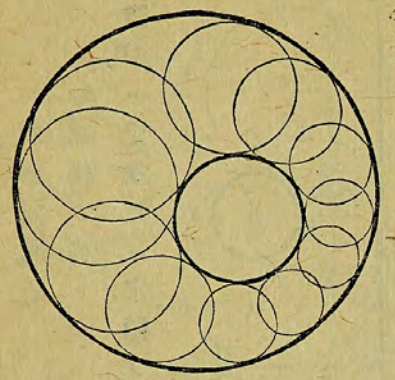
内圍切



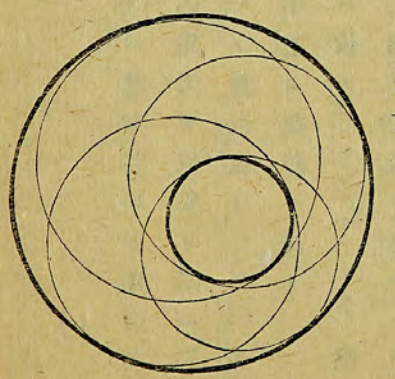
今圖ノ如ク定圈内ニ數圈ヲ累畫シ其圈ヲシテ定圈ト他ノ

定圈トニ切セシムレハ其中心點ノ相連ナル所自ラ成象アルナリ問フ成象ハ何線ソヤ
答テ云ク成象ハ橢圓線

外圍切



内圍切



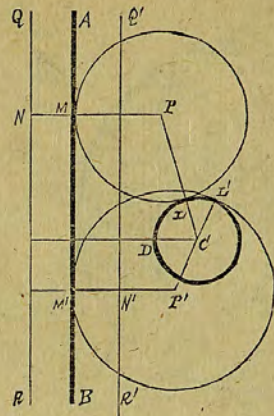
第一題解義

外圍切ノ解

左圖 AB, ハ定線 C, ハ定圓ノ心點 CD, ハ其半徑 P, ハ外切畫圓ノ中心點乃チ成象ノ某一點又 QR, ハ AB, ノ並行線ニシテ CD, ノ定圓半徑ノ距離ニ在リ

之ニ依テ $MN \parallel OL, PN \parallel PC$, 然ルルハ P, 點ノ QR, 線ヲ距ル、ト定圓心 C, ヲ距ル、ト全ク等シ故ニ

成象ハ QR, ヲ準線トシ C, 夫心點トシタル拋物線ニ等シキヲ知ル



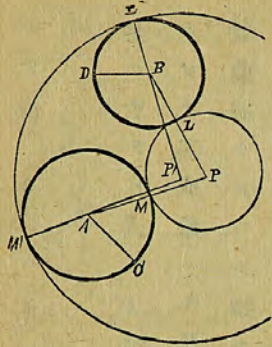
内圍切ノ解

前圖 P, ハ其内切畫圓ノ中心點即チ成象ノ某一點 Q'R, ハ亦 AB, ノ並行線ニシテ其右側ニ在ル者ナリ

之ニ依テ $P'N' = P'M' - M'N' = P'L' - OL' = P'C$,

故ニ此成象ハ拋物線ニシテ其心點ハ C, 準線ハ Q'R, 乃チ定線ノ右ニ於テ定圓半徑ノ距離ヲ保テ其線ニ並行スル者

第二題解義



上圖 A, 及 B, ハ定圓ノ心點 P, ハ外圍切圓ノ中心點 P', ハ内圍切圓ノ中心點ナリ

之ニ依テ $PM = PL, P'N' = P'L', AC = R, BD = r$,

故ニ $PA = PM + R, PB = PL + r$, 相減

シテ $PA - PB = R - r$, 又 $P'A = P'M - R, P'B = P'J - r$. 相減シテ
 $PA - P'B = R - r$,
 是ニ於テ P . 或ハ P' 點ヨリ A . 及 B . ニ至ル距離ハ恒ニ $R - r$.
 ニシテ其成象ハ A . 及 B . ナ心點トシテ P . 初軸トシタル
 雙曲線ナルヲ知ル
 (以下次号)

附録第二

前号投書第二條ノ答辨

東京ノ住某君ニ答ントス君ハ其投書第二ヲ以テ本誌第八
 号ニ掲載セシ流質重學ノ設題ヲ評セラレ本題ハ恐クハ誤リ
 ナラシク宜ク題文ヲ改正スルアルヘシト言ハレタリ因テ竊ニ君
 ノ本題ヲ觀想セラレシ所ヲ推スルニ其意管内已ニ AB . ニ充テ

ル h . 高ノ水銀アリ其力恰モ能ク管外水銀面ノ大氣壓力ト
 相抵支スル後更ニ V . 量ノ水銀ヲ取リテ管内上部 BC . ノ間ニ
 注入スレハ其 BC . ノ高ハ云云ナリト謂フ者トセラレタリト
 覺ユ何トナレハ君ノ評言中ニ AB . 管ノ水銀器 V . 量ノ水銀柱
 ナ b . 面加フト雖也云云トアレハナリ嗚呼是レ君カ誤會ノ
 ミ抑々本題ノ意タルヤ然ラス管内 AC . ニ充テル V 量ノ水銀
 アリ其特大氣計ノ高(乃チ AC . ノ高) h . ナレハ BC . ノ高ハ $h - V$.
 ナリト謂フ者ナリ而テ題文中 V . 量ノ水銀ヲ器 V . 大氣壓力ニ
 因テ支ユルアリト記セシヲ以テ其意既ニ明カナリ焉ソ題
 文ヲ改正スルヲ須キシヤ君尙前ニ記載セル本題ノ解義ヲ
 照覽セハ其意愈々明晰ナルヘキナリ

第十一号第八套答式

微分方程式雜問

(一) $y^n = cx^m - a.$

(二) カテナリ (鎖線)

(三) $1 - \tan^{-1} \frac{y}{x} = c + \log \sqrt{x^2 + y^2}.$

1) $x^2 = c^2 + 2cyl.$

ii) $\frac{1}{2} \log \left\{ xy \left(\sqrt{x^2 + y^2} - y \right) \right\} = \frac{y(y + \sqrt{x^2 + y^2})}{2cx^2} = c.$

右答式第十二号ニ記載ス可キ例ナルヲ脱漏セシヲ以テ爰ニ之ヲ掲グ

第十四号答式

算數學

- (一) 二倍 (二) 九百九十五圓 (三) 十一時三十分

- (四) 車十五輛大人廿四人小兒十五人

- (五) 蒲長十尺 水深八尺

代數學

- (一) 一万冊ノ益三十圓七四錢五百九十三分ノ百十八又一冊ノ時損九圓八一錢六千五百廿九分ノ二千二百五十一損益ヲキ鬻キ數百四十四冊八百九十九分ノ五百四十四

(二) $\frac{\sqrt{5+1}}{2} = p, \quad x = \frac{p^m - 1}{1+p^m}, \quad \text{iii) } b = 2a - 1,$

(四) $b = 3(a-1)a+1, \quad \text{五) } a = 18, b = 17$

三角法

(三) $a (\text{hcof}A + \sqrt{1+a^2} + a \text{hcof}A - h^2 = b^2, \text{或} = c^2,$
 (四) $\sqrt{h^2 \text{cot}^2 \frac{1}{2}A + S^2} - \text{hcof} \frac{1}{2}A = a,$

圓錐曲線

(三) 縱線五寸九分二九九有奇

代數幾何

(一) 橢圓 (i) $\theta = \tan^{-1} \sqrt{15}$ (ii) $b = \frac{a}{\sqrt{4, 25+1, 5}}$

(四) $r = \frac{4R}{\sin \frac{1}{2}(A+B)} \left\{ \cot \frac{1}{2}(A+B), \sin \frac{1}{2}A, \sin \frac{1}{2}B \right\}$

(五) $C = AB, \frac{\cos \frac{1}{2}B, \sin A}{\sin(A+B)} = \tan^2 p, \frac{\sec^2 p, \sin(A+B)}{\cos \frac{1}{2}A, \sin B} = \tan^2 Q,$
 $\text{トスレハ } x = \frac{8}{3} Q, \sin A, \cos^2 Q, \sec \frac{1}{3} A,$

微分積分法

(一) $d^n u = \sin(x + \frac{\pi}{2}) dx^n$ (ii) $x = \frac{10}{7} a.$

(三) 長半徑ヲ a , 短半徑ヲ b , トスレハ $x = a \sqrt{5}, y = b \sqrt{5}$

(四) 日角三十九度四十三分三十秒

星角百十七度五十五分二十秒

地角二十二度二十一分十秒

(五) $\frac{1}{\sqrt{2}} \log \tan \left(\frac{\pi}{8} + \frac{x}{2} \right), \text{ (六) } y = \left\{ \left(1 + A^2 + 1 - \frac{A^2}{2} \right)^2 + \left(\frac{A^2}{2.3} \right)^2 + \dots \right\} \pi$

(七) $a = \frac{r}{\sqrt{2}}, b = \frac{r}{\sqrt{6}}$ (八) 固有立方形一面積四分ノ一

(九) $y = a \sqrt{6}$

(十二) 二等圓轉軌線ノ等圓半徑ヲ r , トスレハ 平象積 $\frac{15}{2} \pi r^2,$

曲周 $\frac{3}{5} \pi r,$ 又縱軸旋轉体ノ面積 $\frac{256}{5} \pi r^2,$ 全立積 $\frac{3200}{5} \pi r^3,$

横軸旋轉体ノ面積 $\frac{416}{5} \pi r^2,$ 全立積 $\frac{3200}{5} \pi r^3,$

$$\frac{8192\pi r^3}{105}$$

$$(十三) \text{容圓ノ半徑ハ} \frac{1}{6}r.$$

微分方程式

(一) 對數曲線ニシテaヲ以テ摸形スルモノナリ

$$(二) y = ax^2$$

$$(三) y = a \log(x^2 - y^2).$$

$$(四) y = a^2 - x^2.$$

重學

$$(一) \text{平象面ノ重心ハ} \begin{matrix} x = \frac{640r}{63\pi} & y = \frac{8192r}{1575\pi} \end{matrix}$$

$$\text{曲周ノ重心ハ} \begin{matrix} x = \frac{208r}{15\pi} & y = \frac{128r}{15\pi} \end{matrix}$$

$$\text{縱軸旋轉体ノ曲面ノ重心ハ} \begin{matrix} x = \frac{55r}{26} \end{matrix}$$

$$\text{全立体ノ重心ハ} \begin{matrix} y = \frac{231r}{125} \end{matrix}$$

$$\text{橫軸旋轉体ノ曲面ノ重心ハ} \begin{matrix} x = \frac{55r}{16} \end{matrix}$$

$$\text{全立体ノ重心ハ} \begin{matrix} x = \frac{357r}{64} \end{matrix}$$

第十四号正誤

○ 第四葉十行中ノHハハニシテ底邊Aハaノ誤リ

○ 第十二葉六行中PN、P'N'ノ誤リ

○ 同八行中AN、AN'ノ誤リ PM、P'N'ノ誤リ

○ 第十三葉裏末行中nハNノ誤リ

○ 第十四葉八行ノ始メ曲率半徑ノ公式中分母ニdy²トアルハd²yノ誤リ

○ 同裏十一行中nap、nepノ誤リ

○ 第十八葉裏六行中tan T、tan 4ノ誤リ

○ 第十九葉九行中T²ハ皆Tナリ

○ 同裏二行ノ末sin⁵ $\frac{\pi}{6}$ ハsin⁵ $\frac{\pi}{6}$ ナリ又三行及ヒ七行ノ7ハ4ナリ又四行中DE、CyトアルハDECGノ誤リ又十一行中a

ハ&ナリ

- 第二十葉二行四行五行八行ノdハ皆ナaノ誤リ
- 同末行ハハノ誤リハハノ誤リ
- 同裏六行中 $a-b^2$ ハ a^2-b^2 ナリ
- 同八行中bハBノ誤リ
- 同二十一葉十行中gハyナリqハgナリ
- 同裏 $\frac{2xph}{2k\sqrt{2g}}$ ハ $\frac{2xph}{2k\sqrt{2g}}$ ナリ
- 第四葉裏十一行中 $\frac{2r^2}{x}$ ハ $\frac{r^2}{x}$ ノ誤リ

社長 神田孝平

總理 岡本則錄

編輯 大村一秀

日本書局

東京芝區柴井町 第一五号

賣捌所

東京芝區柴井町

土屋忠兵衛

同 日本橋區本町三丁目

清水卯三郎

同 本 田 義
同 本 田 義
同 本 田 義
同 本 田 義

定稅
通送
免許

明治十二年四月五日

每月第一土曜日刊行

東京數學會社雜誌

第十四號



- 一 本社ノ大意ハ第一號ノ題言ニ依テ知ルベシ
- 一 本號ノ諸問題ハ入社人ヨリ蒐輯スル所ニシテ其答商ハ必ス次号ニ記載ス可シ
- 一 入社人ニ非ザル者ト雖凡奇異ノ諸題ヲ投スレハ其題ノ巧拙ニ因リ之ヲ取捨シ記載スベシ
- 一 諸名義譯例等ハ漸次ニ改正ス可シ
- 一 集會ハ毎月第一土曜日午後一時ヨリ湯島昌平館ニ於テス
- 一 入社セント欲スル者ハ集會日ニ該館へ來リ名簿住所ヲ出ス可シ

明治十二年四月

東京數學會社

第一套
算數學雜問

- 一 逸翁ノ曰文化教諭ノ進歩スルヲハ往年ニ比スルニ二倍七分ノ三ナルベシ又今時生徒ノ勉強力ノ往年ニ劣レルトモ亦一倍七分ノ三ナルベシ然ル時ハ幾倍カ進歩ヲ受ルヤ
- 二 或人ノ曰我囊中ノ金ハ千圓ニ充サレ九ヲ以テ計ヘテモ十ヲ以テ計ヘテモ十一ヲ以テ計ヘテモ恒ニ五圓ヲ盈スト云此囊中ノ金幾何ナルヤ
- 三 或人ニ時ヲ問シニ其人ノ答ヘニ日出ヨリ今マテ經シ時間

數學會社雜誌 第十四號

ヨリハ今ヨリ日没迄ノ時間ハ一時多シト云然ルキハ今何時ナルヤ

四

人力車若干輛ヲ命シ小兒ト共ニ三人宛乗ル則ハ車二輛餘リ又二人宛乗ル則ハ大人九人歩行スト云車數及ヒ大人小兒ノ員數如何ナルヤ

五

圓池アリ其徑十二尺ニシテ其中央ニ蒲ヲ生ス水面上ニ出ル_レ二尺ナリ其稍ヲ引寄ル則ハ岸ト適然ト合スト云此池ノ深サ及ヒ蒲ノ長幾何ナルヤ

第二套

代數學雜問

一

或會社ニ於テ雜誌ヲ編輯スルアリ其言ヲ聞ニ五百部ヲ發兌スルキハ金十九圓ノ益ヲ生ス又幾何多ク鬻クトモ其益金三十二圓ニ過ズ又少シモ發行セストモ其損金十圓ニ過サルノ社則ナリト云然ルキハ一万冊ヲ發行スルキハ幾何ノ利益ニシテ又若シ不幸ニシテ一冊ヨリ鬻ザルキハ幾何ノ損失ナルヤ尙損益ナキヲ欲スレハ幾何冊ヲ鬻クベキヤ

二

何 $\sqrt[m]{1+x} - \sqrt[m]{1-x} = \sqrt[n]{1-x^2}$ 此ノ如キ式ニ於テ x ノ價ヲ求ル_レ如

三

甲乙ノ數アリ其差最モ少ク甲數自乘ノ内乙數ヲ減シ平方ニ開キ奇零ナシト云甲數若干ヲ題シ乙數ヲ求ル術如何

四

甲乙ノ數アリ其差最モ少ク甲數三自乘ノ内乙數ヲ減シ平方ニ開キ奇零ナシト云甲數若干ヲ題シ乙數ヲ求ル術如何

五

甲乙ノ數アリ其差最モ少ク甲數三自乘ノ内乙數三自乘ヲ減シ餘リ九百十九個ナリ甲乙ノ數幾何ナルヤ

第三套

幾何學雜問

一

一直線アリ之ヲ一邊ト對角線ニ分テ正方形ヲ画クト如何

二

二點アリ數個ノ過圓ヲ画キ二點ノ連線ヲ引長シ此引長ノ一端ヨリ各圓ニ切線ヲ引クト其長各相等シト云其証如何

三

勾股形アリ其周圍ハ和ヲ以テ三等邊形ノ周圍ニ化スレハ其一邊ハ股ニ等ク四等邊形ノ周圍ニ化スレハ其一邊ハ勾ニ等ク五等邊形ノ周圍ニ化スレハ其一邊ハ中勾ニ等ク六

等邊形ノ周圍ニ化スレハ其一邊ハ容圓ノ中徑ニ等シ七等邊形ノ周圍ニ化スレハ其一邊ハ容ル正方形ノ一邊ニ等シト云勾股弦ヲ求ルヲ如何

四

不同ナル三正方形ヲ以テ内ニ三邊形ヲ作り又其外ニ三個ノ三邊形ヲ作ルハ外ナル三底邊自乗ノ和ハ三正方形ノ積ノ和三倍ニ等シト云其證如何

五

正三角形ノ底邊ノ平分點ヨリ垂線ヲ設ケ其垂線ノ平分點ヲ貫キ底ノ兩端ヨリ等斜ヲ交ヒ其間部ニ一個ノ甲圓ト二個ノ乙圓ヲ容ルニ底邊ト等斜二處ニ切シテ画シ甲圓徑ハ傍邊ト等斜垂線ニ切シ画シ乙圓徑ノ二倍ナリ其証如何

荒尾 岬

第四套

三角法雜問

一

$\cos 47^\circ + \cos 25^\circ - \cos 61^\circ - \cos 11^\circ = \sin 7^\circ$ 右項ヲ變シ左項ヲ得ル其

証如何

二

三角形ニ於テ $3 \tan \frac{1}{2} C = \cot \frac{1}{2} A$ ナ得ル然ルキハ其邊算數槩ヲ爲スト云其證如何

三

三邊形ノ頂角 A ト中垂線 H 及ヒ底邊 A ナ知テ左右兩立邊ヲ求ルヲ如何

四

三邊形ノ頂角Aト中垂線H及ヒ左右兩立邊ノ和Sヲ知テ
底邊ヲ求ルル如何

五 **十六号**

菊地大麓

$$a \cos \phi = b \cos \theta + c \cos \psi \quad \text{ナルキハ} \quad \cot \frac{\phi}{2} + \frac{\cot \theta}{2} = \frac{a+b}{a-b} \quad \text{トナル此証}$$

如何

六

肝付兼行

圓半徑トス内ニ無數ノ二等邊ノ三邊形ヲ画キ其角點皆周ニ
親ム點トス其平均積ヲ求レハ $\frac{2r}{\pi}$ ナリト云之ヲ解セヨ

七

全

半圓内其全徑 $2r$ ナ一邊トシ此邊ニ對スル角ハ周ニ親ム處
ノ無數三邊形ヲ画キ其平均積ヲ求レハ $\frac{2r}{\pi}$ ナリト云之ヲ
解セヨ

第五套

圓錐曲線法雜問

一

二十号

拋物線ノ切線中或一點ヨリ他ノ切線及ヒ焦點へ一線ヲ引
片ハ此二線ニテ成ス處ノ角ハ常ニ等シト云其証如何

二

二十号

拋物線ノ通徑兩端ト頂點ヲ經過スル圓ノ直徑ハ焦點ト頂
點ノ距五倍ニ等シト云其証如何

三

拋物線ノ或一點ノ切線法線及ヒ橫軸トニ因テ生ル三角積
三十六方寸ニシテ焦點原點ノ距二寸二分の一ナリ然ル片
ハ其縱線幾何ナルヤ

四

橢圓ノ二個ノ焦點ヨリ或直線ニ觸ル橢圓ヲ画シテ如何

五

橢圓周ノ或一點ヨリ兩焦點ニ至ル距ノ相乗ハ其法線横徑ニ交ル點ヨリ兩焦點ニ至ル距ノ相乗ト法線自乗ノ和ニ等シト云其証如何

第六套

代數幾何

一 **三十二号**

Oヲ中心トスル橢圓ノ或縦線内ニQ點ヲ設ケ其CQノ長ヲシテ恒ニ其縦線ニ等シカラシムレハQ點ノ踪跡ハ如何ナル曲線ヲ爲スベキヤ

二 **三十三号**

中心相等シキ二曲線交錯シテ角ヲ爲スアリ一ハ双曲線ニシテ一ハ平圓ナリ此平圓ノ半徑 $2a$ トスルキハ二曲線ノ交角如何ナルヤ

三 **三十四号**

圖ノ如ク三個ノ甲圓ヲ交錯シ其内外ニ三個ノ乙圓ヲ画シ

荒尾 岬

甲圓徑ヲ有シテ乙圓徑ヲ求ルテ如何

四

大村一秀

圓周ニA B C Dノ四點ヲ作リAD. BC.ノ二斜線ヲO點ニ交ヘ
而シテAOC. BOD.ノ間隙ニ大小二圓ヲ容ル有リ今A角及ヒB角
ト外圓半徑Rヲ以テ大小圓半徑和ヲ求ムルテ如何

五

三十二号

肝付兼行

圖ノ如ク等圓轉軌線ヲ等圓半徑ノ原點即チ凹突ニ切シテ横
線ヲ畫シ其上部ノ區内頂角原點ニ親シヨ余ノ兩角周ニ親
ム處ノ無數ノ二等邊三邊形ヲ畫キ假ニ三個其平均積ヲ求
ムレハ $\frac{34r^2}{3\pi}$ ナリト云之ヲ解セヨ

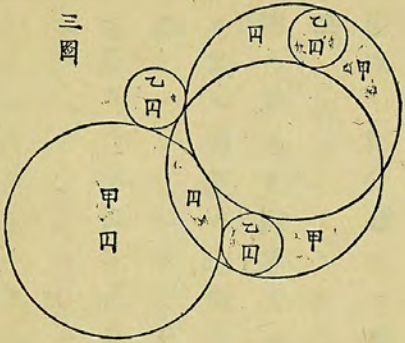
六

二十六号 又二十七号

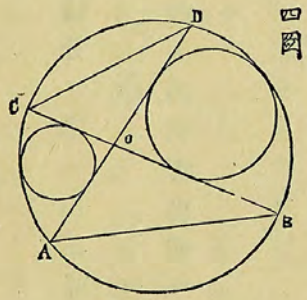
全

A B Cナル不等三邊形内ニ等圓轉軌線ヲ容レAB邊ニ二處

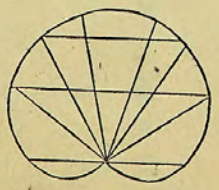
他ノ兩邊ニハ一處ヲ切スト云A B 兩角及ヒAB邊ヲ以テ該
轉軌線ノ全徑ヲ求ムルテ如何



三圖



四圖



五圖

第七套

微分積分法雜問

一 **三十四号**

$y = \sin x$ ナル式ノ累次微分ヲ求ル公式如何

二

高 a 尺ノ燈下ニ一物ヲ視ル其光力最明ナラント欲ス燈ノ基礎ヲ距ル丁幾何ナルヤ

三 **三十四号**

橢圓周ノ或一點ヨリ中心ニ引ケル線其法線ト交リ成ス角ヲシテ最大ナラシメント欲ス其位置ヲ求ル丁如何

四

水星ノ光力最大ノ時星日地ト成ス所ノ交角各ヲ求ル丁如何

何ナルヤ

五

$y = \int_a^x \frac{dx}{\sin x + \cos x}$ アリ之ヲ積分スル如何

六 **三十四号**

$y = \int_0^x e^{2A \cos x} dx$ アリ之ヲ積分スル如何

七

圖ノ如ク圓内ニ其積最大ナル三等橢圓ヲ容ルアリ其圓ノ半徑ヲアトスレハ橢圓ノ長短半徑各如何ナルヤ

八 **三十四号**

荒川重平

三直線 a, b, c アリ各線ヲ以テ造レル立方形ノ和ハ常ニ固有立方形ノ三倍ナルヲ知ルノミ今三直線ヲ以テ最大積ノ三角形ヲ造ランニハ其積如何ナルヤ

伊藤直温

九

二十七号

大村一秀

拋物線内ニ凹圓等圓軌線ヲ容ルアリ其頂點ノ拋物線ハ頂點一所ニ切シテ其面ヲ最大ナラシム凹圓中軸徑 a ヲ以テ拋物線ノ弦 l ヲ求ル l 如何

十

三十三号

肝付兼行

圖ノ如ク等圓軌線^{4r}全徑 r 内最大橫徑ヲ畫シ其上部内該橫徑中ニ一邊ヲ占メテ二角點周ニ親ム所ノ無數ノ直角形ヲ畫キ假ニ三个其平均積ヲ求ル $\frac{103r^2}{8\pi}$ ナリト云之ヲ解セヨ但最大橫徑ヲ求ルニ微分ヲ用ユルヲ許スト雖 r 平均積ヲ求ルニ微分ヲ用ユルヲ禁ス

十一

三十九号

全

Aナル某點ヲ有スル圓アリ其周線中Aヨリ最モ遠キ處ヲ

BトシAヨリ最モ近キ處ヲCト命ス今此C點ヲ地平線ニ切シ旋轉一周セシムレハA點ノ踪跡自カラ曲線ヲナスベシ而シテ此曲線周ハA Bヲ半長徑トシA Cヲ半短徑トシタル橢圓ノ全周ニ等シト云其然ル所以ヲ解セヨ

十二

二十四号

全

圖ノ如ク等圓軌線半周線ヲ地平線上ニ置キ之ヲ右轉シテ其周常ニ地平線ト相離ル h 無ク全徑正シク垂線ヲ成スニ至ルモノアリ原點ノ踪跡ニヨリテ成シタル曲線ノ象積及ヒ曲周並ニ兩軸旋轉體ノ面積及ヒ立積ヲ問

十三

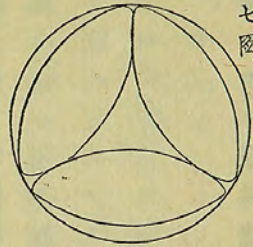
二十四号

全

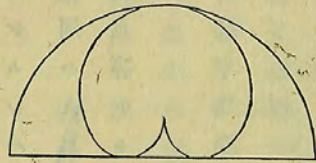
圖ノ如ク等圓軌線周ノ二處ニ切接シテ直線ヲ畫キ其内ニ此直線ノ一處該軌線周ノ二處ニ切接シテ圓ヲ容ル

リ該等圓半徑ヲ以テ容圓ノ半徑ヲ求ルヲ如何

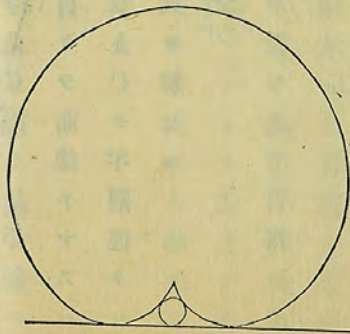
七圖



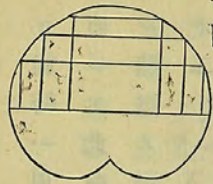
九圖



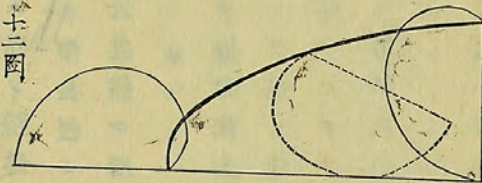
十三圖



十圖



十二圖



第八套

微分方程式雜問

一

三十号

次切線ヲ a トスル處ノ曲線ヲ定ムルヲ如何ナルヤ

二

三十号

$2ax^3$ ナ次法線トスル處ノ曲線式ハ如何ナルヤ

三

切線次切線ノ和ハ定數ヲ以テ其縱横線ノ積ヲ除キシモノ
ニ等シキ曲線ノ式ハ如何

四

三十四号

原点ト切線横軸ニ交ル點ノ距ハ $\sqrt[3]{\frac{2}{ax}}$ ニ等シキ曲線ノ式ヲ
求ルヲ如何

第九套

重學雜問

一

二十二号

肝付兼行

第七套十二題ノ曲線ノ平象及ヒ曲周並ニ兩軸旋轉ノ曲面及ヒ立體ニ關スル各重心ヲ求索セヨ

第十套

問題

一

柳 猶 悅

某點ヨリ拋物線ニ三法線ヲ作ラントス規矩術如何

記者曰ク前問ノ解路社員社外ヲ論セス次會五月三日迄ニ郵送ノ分ハ十六号ノ誌ニ其解義及ヒ姓氏ヲ編入スベシ又出稿多數ナルトハ其中ノ好解ヲ錄シ其他ハ出稿ノ名氏ノミヲ記載ス又出稿一名モコレ無キトハ問者ニ乞テ其解術ヲ錄スベシ以後ノ問題之ヲ期トス

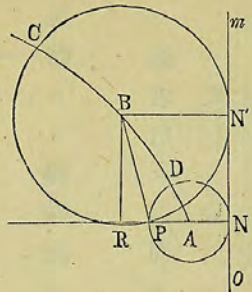
第十一套

問題解義

第一項

福田 半

第一号五套ノ一

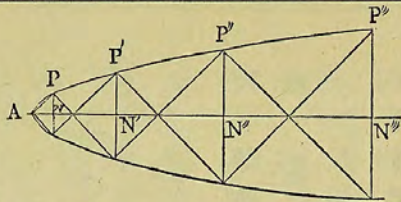


題言ニ依リ圖ノ如ク假ニom線トP點ニ
 觸ル、PDN及ヒPCNナル二圓ヲ畫キ而シテ
 解セント欲ス即チ $PN=2a$ $AR=a$ $BR=y$
 $BP=BN=RN$ ∴ $PB^2=RN^2$ 即チ $BP^2+PR^2=RN^2$ 之
 ナ解ク $y^2+(a-a)^2=(a+a)^2$ 再ヒ之ヲ解キ撰
 $= y^2=4ax$ ナ得ル故ニA P B C等ノ諸點

ヲ經過スル曲線即拋物線ナルヲ知ルヘシ

第二項

第五号五套ノ八

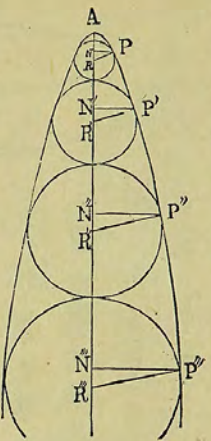


a b c 等ノ順ヲ以テ首方邊ニリ逐次ニ之ヲ命
 ス而ソ圖ニ依リ $AN=PN=\frac{a}{\sqrt{2}}$ 即チP點ノ縱橫線
 ナリ以テ拋物線公式 $y^2=4px$ ニ容レ原點焦點ノ
 距 $p=\frac{a}{4\sqrt{2}}$ ナ得ル又公式ヲ列シ $AN'^2=a\sqrt{2}+\frac{b}{\sqrt{2}}=a$
 $PN=\frac{b}{\sqrt{2}}=y$ ナ容レPヲ解キ $b^2=2a^2+ab$ ∴ $b=2a$.
 ナ得ル即チ第二方邊ハ首方邊ノ二倍ナリ又公
 式ヲ列シ $AN=(a+b)\sqrt{2}+\frac{c}{\sqrt{2}}=3a\sqrt{2}+\frac{c}{\sqrt{2}}=a$ $PN=\frac{c}{\sqrt{2}}=y$
 ナ容レP解キ $c^2=6a^2+ac$ ∴ $c=3a$. ナ得ル即チ第三
 方邊ハ首方邊ノ三倍ナリ逐テ此ノ如ク第四第五等ノ方
 邊ヲ求ルニ其式ノ右節係數皆其累方ノ個數ニ等シ故ニ
 之ヲ括リ(末方邊ヲNトシ其累方ノ個數ヲnトス) $N=na$

ヲ得ル答式ニ合ス

第三項

第八號六套ノ六



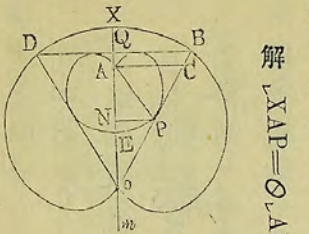
前題ノ如ク首圓ヨリ逐次其半徑ヲ a, b, c 等ニ命シ而シ圖ニ依テ $NR = N'R' = N''R'' = N'''R''' = 2AF = 2p$
 $\therefore AN = AF + FN = a - p = a - \frac{c}{2}$ $PN^2 = a^2 - 4p^2 = y^2$

以テ拋物線公式ニ容レ之ヲ撰ニ $p = \frac{1}{4}a$ ナ得ル又公式ヲ列シ $AN^2 = 2a + b - p = a$, $PN^2 = \sqrt{b - 4p^2} = y$ ナ容レ P ナ解キ $b = a(2a + b)$
 $\therefore b = 2a$ ナ得ル即チ第二圓ノ半徑ハ首圓半徑ノ二倍ナリ又公式ヲ列シ $AN''^2 = 2a + 2b + c - p = 6a + c - p = a$ $PN'' = \sqrt{c - 4p^2} = y$ ナ容レ P ナ解キ $c = a(6a + c)$ $\therefore c = 3a$ ナ得ル即チ第三圓ノ

半徑ハ首圓半徑ノ三倍ナリ逐テ此ノ如ク第四第五等ノ圓半徑ヲ求ルニ其式右節ノ係數ハ其累圓ノ個數ニ等シ故ニ前解ト全ク等シクシテ $N = na$ ナ得ル問ニ合ス

第四項

第八號六套ノ二

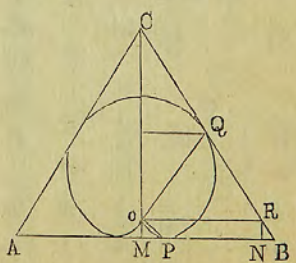


解 $\sphericalangle XAP = \sphericalangle APC = \frac{1}{2} \sphericalangle XAP = \frac{1}{2} \sphericalangle$ $PA \parallel OD \therefore \sphericalangle APC = \sphericalangle DOB$ $ON = AN$
 $OX = 4a$, $AE = 4x$, $moB = l \times AP = \sphericalangle$ 今凹圓公式ニ依リ
 $OB = 4a \sin^2 \frac{\theta}{2}$, $AP = 4x \sin^2 \frac{\theta}{2}$, $AQ = \frac{1}{2} a$ 圖ニ依リ
 $OQ = AQ + OA = AQ + 2AN \therefore OB \cdot \cos \theta = \frac{a}{2} + 2AP \cdot \cos \theta$
 $4a \cdot \sin^2 \frac{\theta}{2} \cdot \cos \theta = \frac{1}{2} a + 8x \sin^2 \frac{\theta}{2} \cdot \cos \theta$ $\theta = 144^\circ$
 $\therefore a(3\sqrt{5} + 5) = a(6\sqrt{5} + 12) \therefore 4x = \frac{2a(3\sqrt{5} + 5)}{3\sqrt{5} + 6}$
 右節分母子共ニ $3\sqrt{5} - 6$ ナ乘シ $4x = \frac{2}{3} a(5 - \sqrt{5})$ ナ得ルナリ

第五項

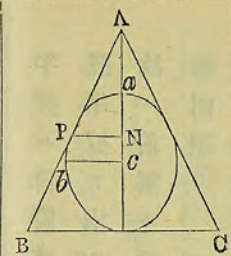
第九号六套ノ六

解 $\angle MOQ = \pi - (\angle OQR + \angle ORQ) + \frac{1}{2}\pi = 140^\circ = \theta, NB = OM$
 凹圓公式 $OQ = 4x \sin^2 \frac{\theta}{2}$ 又三角術ニ依テ
 $OR = \frac{OQ \cdot \sin^2 \frac{\theta}{2}}{\sin \theta} \angle AB = 2(OR + NB) = \frac{1}{\sqrt{3}} (16x \sin^2 \frac{\theta}{2} + 1)$
 $= \frac{1}{\sqrt{3}} (1 + 16x \cos^2 \frac{1}{2} \pi)$.



第六項

第十一号七套ノ九



圖ニ依リ $AC = a, AD = b, BD = c, aD = 2x, CB = 2y$
 $ca : ca :: ca : cn \therefore cn = \frac{ca}{ca^2} = \frac{x^2}{b-x}$ $\therefore an = \frac{x(b-2x)}{b-x}$
 $DN = \frac{bx}{b-x}$ 又 $AD : DN :: AN : PN \therefore PN^2 = \frac{DB}{AD^2} \cdot AN^2 =$
 $\frac{y^2}{x^2} (na \cdot nd) \therefore c^2 (b-2x)^2 = y^2 (b-x)^2 \therefore y^2 = c^2 (b-2x)$

今楕圓ノ積ナルトスレハ $u = \pi xy = \frac{x\pi}{\sqrt{b}} \sqrt{a^2 - b^2} \sqrt{b-2x}$, 微分術
 ニ依リ (1) (2) ノ兩式ヲ求ム $b = 3x, \dots (1) \quad a^2 + b^2 = b^3 \dots (2)$ (1)
 式ヲ以テ (2) 式ヲ變シ $a^2 = 18x^2 : 2a = \frac{a}{3} \sqrt{2} \therefore 2y = a \sqrt{\frac{2}{3}} \cdot y > x$
 ナリ故ニ $2y$ ナ長徑 $2x$ 短徑トス即チ答術ニ合ス
 第七項

第十号八套ノ七

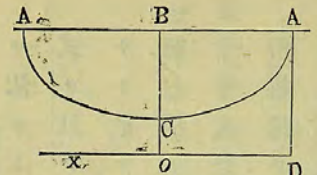
〔解〕 縦線ヲ y 横線ヲ x 曲率半徑ヲ R 法線ヲ N ニ命スレハ
 $R = \frac{(dx^2 + dy^2)^{\frac{3}{2}}}{dx \cdot dy}$, $N = y \left(1 + \frac{dy^2}{dx^2} \right)^{\frac{3}{2}}$, 今 $\frac{dy}{dx} = p$ トスレハ上式變シテ
 $R = \frac{dx(1+p^2)^{\frac{3}{2}}}{dp}$, $N = y(1+p^2)^{\frac{3}{2}}$, 題言ニ依リ $R = N$ トスレハ
 $\frac{dx(1+p^2)^{\frac{3}{2}}}{dp} = y \therefore \frac{dx}{1+p^2} = \frac{dp}{y}$ 之ニ $2p$ ナ乘シ變化ス $\int \frac{2pdy}{y} = \int \frac{2pdp}{1+p^2}$
 $\therefore \log y^2 = \log(1+p^2) + C$ 茲ニ於テ $C = \log a^2$ トスレハ上式變シテ

$$y^2 = a^2(1+p) \therefore p = \frac{1}{a} \sqrt{y^2 - a^2} \therefore da = \frac{ady}{\sqrt{y^2 - a^2}} \text{ 再ヒ之ヲ積分シテ}$$

$$x = a \log \frac{y + \sqrt{y^2 - a^2}}{a} \text{ ナ得ル故ニ曲率半徑ト法線ト等長ナル}$$

第八項 カチナリ
 曲線ハ鎖線ナルヲ知ル

第六号六套ノ一 第十一号十

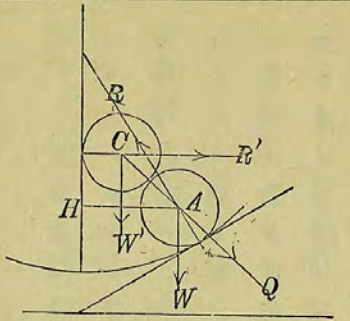


圖ニ依テ $\triangle ACA' = 2S$, $BC = h$, $OD = x$, $AD = y$ 又 C 點ノ牽力線長ヲ a トス 重學ノ理ニ依リ $h+a = \sqrt{(a^2+s^2)}$
 $\therefore a = \frac{s^2 - h^2}{2h}$, $y = \sqrt{(s^2 + a^2)}$ 以テ前解得ル所ノ dx 及ヒ x ナ變ス $dx = \frac{ads}{\sqrt{s^2 + a^2}}$, $x = a \operatorname{nep} \log \frac{s+h}{s-h}$ 又 ACB ノ半象積ヲ A トスレハ $A = \text{ADOB 積} - \text{ADOC 積} = ay - \int y \cdot dx$,
 $\therefore A = a \sqrt{s^2 + a^2} \operatorname{nep} \log \frac{s+h}{s-h} - \int_0^s ads \frac{s^2 - h^2}{2h} \left\{ \frac{s^2 + h^2}{2h} \operatorname{nep} \log \frac{s+h}{s-h} + S \right\}$ ナリ

第九項

第五号五套ノ十二

肝付兼行



本題ハ全ク重學ニ關スル者ニシテ代微積中ニ記載セシハ編者ノ誤ナリ
 上圖ニ依リ Q ハ R' W ノ并力ナルヲ以テ其大小率ノ $\sqrt{2}W$ ナルヤ明ラカナリ故ニ A 柱ヲ Q, R, W ノ三力ニ因テ静止シ居ルモノトシ斜面傾度ヲ ϕ ト命スレハ
 $W : \sqrt{2}W' :: \sin \left(\frac{3}{4} \pi + \phi \right) : \sin (\pi + \phi)$,
 $\therefore \sin \left(\frac{3}{4} \pi - \phi \right) : \sin \phi$,
 $\frac{1}{\sqrt{2}} = \frac{\sin \left(\frac{3}{4} \pi - \phi \right)}{\sin \phi} = \frac{\sqrt{2}(\cos \phi - \sin \phi)}{\sin \phi}$, $\therefore \sin \phi = \frac{1}{\sqrt{5}}$ 然ルニ $AH = \sqrt{\frac{1}{5}}(R-r)$, ナルニシテ
 $(2r)^2 = (AH-r)^2 + (AH-r)^2 = 2(AH-r)^2 = 2 \left(\sqrt{\frac{1}{5}}(R-r) - r \right)^2$
 $\therefore r = \frac{1}{3}R(7 + 3\sqrt{5} - 2\sqrt{10} - 5\sqrt{2})$.

套外

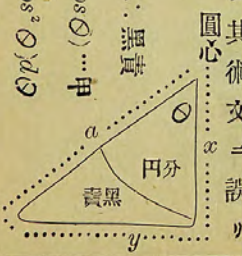
投書

東京之住

平民某拜

竊カニ貴社前會岡本氏カ算法圖理鑑第三問ノ誤リヲ辨明
 セラレシヲ聞ク其言ニ曰予西法ヲ用ヒテ本題ヲ推スニ此
 題只勾股積ニノミ定マリアルヲ以テ黑積ニ極數無シ又本
 邦ノ人ノ解ヲ見ルニ甚々誤ル處アリコレ全ク本邦ノ人未
 タ西國ノ如ク函數ノ理ニ詳カナラザルヲ以テ此誤リヲ生
 セリ故ニ今明カニ解之云々岡本氏ノ解
 評本邦ノ人イカニ函數ノ理ニ明カナラザルニモセヨ如
 此ノ淺題豈ニ誤ルコトアラシヤ○只々勾股積ノミヲ題
 シテ黑積ノ極ヲ問フノ題ナレハ解義ヲ施スト雖凡直チ

ニ其極ナキヲ知ルニ足ルヘシ何ソ岡本氏カ明解ヲ用ル
 ナ要センヤ○本題ノ如キハ決シテ然ラス何トナレハ其
 末文ニ○「勾股積干應弦欲黑積最多」トアリ故ニ本題ハ弦
 アリテ勾股積ハ其弦ノ狀勢ニ從ヒテ變化スト云意ヲ含
 メリ是ニ由テ見レハ此題ハ弦ヲ題シテ黑積ノ多極ヲ問
 モノナルト明カナリ然ルニ岡本氏ハ本題ヲ以テ只勾股
 積ニノミ定マリアリト考ヘテラレタリコレ甚々シキ誤リ
 ト云ヘシ是ニ於テ愚予今本題ノ意ニ依テ其術文ニ誤リ
 ナキヲ証ス左ノ如シ



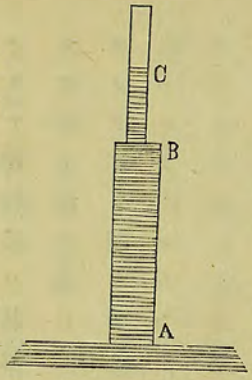
$a = a \cos \theta$ $y = a \sin \theta$ 分圓長 $= \frac{1}{2} a^2 \theta$ 弧長 $= \frac{1}{2} a \cdot \theta$ 黒積
 $= \Delta = (\text{勾股積} - \text{分圓積}) = \frac{1}{2} (ay - \theta a^2)$, $\Delta = \frac{1}{2} a^2 (\cos \theta \cdot \sin \theta - \theta \cos \theta)$... 甲
 之ヲ微分スルニ $d\Delta = \frac{1}{2} a^2 (\cos^2 \theta - \sin^2 \theta + 2\theta \cos \theta \cdot \sin \theta - \cos^2 \theta) d\theta$

$$\frac{dA}{d\theta} = \frac{a^2}{2} (\theta \cos \theta \sin \theta - \sin^2 \theta) = 0 \quad \therefore 2\theta \cos \theta - \sin \theta = 0$$

$$\theta = \frac{\sin \theta}{2 \cos \theta} = \frac{1}{2} \tan \theta \quad \text{是ニ於テ(甲)式ヲ解クトギハ}$$

$$A = \frac{1}{2} a^2 \sin \theta \cos \theta = \text{勺股責半} \quad \text{即チ術文ニ合ス}$$

二 菊地氏之題 全



圖ノ如ク玻璃管中V量ノ水銀ヲ水銀製ノ大氣計ハ高ニ因テ量記セシ大氣壓力ニ因テ支ユルアリ今其管上部横截ノ面積ヲa下部横截ノ面積ヲbトスレハBCノ長

ハ $\frac{b-a}{b}$ ニシテ亦若シ大氣計ニ於テ水銀一「インチ」ヲ降ルハ此長ニ於テ $\frac{b}{b-a}$ ナ降ルト云其故ヲ証明セヨ

評凡ク水銀ノ玻璃管内ニ昇ルヤ其管内空氣ナクシテ外

桶水銀面ニ空氣壓力アルニ因ル而シ其管内水銀ノ重量恰モ外桶水銀面ノ空氣壓力ト相抵定スルニ至レハ管内ノ水銀絶ヘテ上ニ向フノ力ナシ是ノ時ニ當リテ他管何量ノ水銀柱ヲ以テ管内水銀ノ上面ニ加フト雖凡皆ナ能ク下リテ同一ノ水平面ヲナスベシ故ニ右ノ圖ニ付テ云片ハAB管ノ水銀ト外桶水銀面ノ空氣壓力ト相抵定スルモノナル故ニBニ在テハ管内ノ水銀少モ上ニ向フノ力ナシ是ヲ以テV量ノ水銀柱ヲb面ニ加フト雖凡必ス下リテb面ノ水銀ト同一ノ水平面ヲ爲スト明白ナリ

本題ハ恐クハ誤リナラン宜ク題文ヲ改正スルアルヘシ

本編記者曰兩題ノ作者次号ニ答辯スベシ

第十三號答式

算數學

(一) 一二四二七英里四五〇七 (二) 六尺

(三) 甲 一六八〇圓 乙 二五二〇圓 丙 一八〇〇圓

(四) 七十五箱 (五) 十時二十七分九七

代數學

(一) $(\sqrt{22} + \sqrt{17})$

(四) (二) $\frac{n(n-1)\dots(n-3)}{\sqrt[4]{4}} 3^4 + \frac{n(n-1)\dots(n-4)}{\sqrt[2]{3}} 2^2 3^3 + \frac{n(n-1)\dots(n-5)}{\sqrt[2]{4}} 2^4 3^2 + \dots$

$\frac{n(n-1)\dots(n-6)}{\sqrt[6]{6}} 2^6 3 + \frac{n(n-1)\dots(n-7)}{\sqrt[8]{8}} 2^8$

三角法

(一) 高六九ヤード強 距離一九一ヤード弱

圓錐曲線

(一) 後号ニ出ス

代數幾何學

(一) $r = b.$ (二) 頂點ニリ $\frac{a(2b-a)}{b}$

(三) $x^2 + y^2 = b^2$ (四) $y^2 = m(x-3m)$ 拋物線ナリ

(五) $\frac{n(mb-na)}{(n^2-m^2)}$ 金塊 $\frac{n(nb-ma)}{(n^2-m^2)}$ 銅塊

微分積分法

(一) $x = \frac{a}{4}(3-\sqrt{3}).$ (二) $\frac{r^2}{p}.$ (三) $\frac{h}{p} \left\{ 2(p^2 + 2k^2(3-2\sqrt{2})) \right\}^{\frac{1}{2}}. 2k = AB.$

(四) $\frac{27}{2} r^3$

微分方程式

(一) $x^3 + y^3 = a^3.$ (二) $y = \frac{ap^2}{2} + \frac{p}{2} \sqrt{(1+p^2)} - \frac{1}{2} \log \left\{ p + \sqrt{(1+p^2)} \right\} + c.$

$$8\pi a^2 \left(\frac{\cos^3 \pi}{3} - 2\cos^2 \frac{\pi}{3} + \frac{4}{3} \cos \frac{\pi}{3} + \frac{1}{2} \cos \frac{\pi}{3} - \cos \frac{\pi}{3} + \frac{6\pi}{3} - \frac{1}{6} \right)$$

$$\text{同五行} \quad 64\pi a^2 \int_0^{\frac{1}{2}} 3 \sin^4 \frac{\theta}{2} \cos \frac{\theta}{2} d\theta = \frac{64}{5} \pi a^2 \sin^5 \frac{\theta}{6} \text{ノ誤リ}$$

- 第十三葉裏へ PDE = 7. ナ脱ス
- 第十四葉初行ハ DF.EC = DE.GJ ノ誤リ 同二行中ノ BC.ハ EC.ノ誤リ 同五行中ノ O.ハ R.ノ誤リ 同八行括弧中ノ R.ノ指數ヲ削ルベシ 同裏初行式中第二項ノ分母 8.ハ 4.ノ誤リ 同八行式中第二項ハ $\frac{4}{5} \cos^5 \frac{\pi}{7}$ ノ誤リ
- 第十五葉表五行 xy^2 ハ xy^2 ノ誤リ
- 同裏一行中抑君トアルハ柳君ノ誤リ
- 裏ノ圖ノ OY.ハ OX.ニ直角ヲ爲ス
- 同六行「DAB = a」ノ a.ハ a.ノ誤リ
- 同八行並ニ九行ノ楕式ハ線式ノ誤リ

- 同行 (1) 及 (2) 式中 d.ハ a.ノ誤リ
- 第十六葉表三行中 $\sin^2 \sin^2 d$ ○ トアルハ $\sin^2 d \sin^2$ ○ ノ誤リ
- 同六行括弧中 B_2 ハ B^2 ニシテ } ノ外ニ指數 2.ヲ脱ス
- 同末行中 $B^2 a^2 \sin^2 d \cos$ ○ トアルハ $B^2 a^2 \sin^2 d \sin^2$ ○ ノ誤リ
- 同裏二行ノ終リニ $\sin d$ トアルハ $\sin^2 d$ ノ 2.ヲ脱ス
- 同五行ノ式ハ $B^2 + (A^2 - B^2) \sin(d - \theta) - a^2 \sin^2 d = 0$ ノ誤リ
- 同七行九行及ヒ十行中ノ分數ノ分子ニ d.トアルハ皆ナ a.ノ誤リ
- 第十七葉表一行中 $\sin a$ ハ $\sin d$ ノ誤リ
- 同裏四行 } ノ外ニ a^2 トアルハ u^2 ノ誤リ
- 同八行ノ末ニ \cos ○ トアルハ \cos^2 ○ ノ 2.ノ脱落
- 第十八葉表一行四行ノ始メ及ヒ最末二行ノ第二分數ノ母ニ ヲトアルハ u.ノ誤リ

○同四行中ニ第二分數ノ分母ノ始メニ $a'b'$ トアルハ $a'^2b'^2$ ノ指數ヲ脱

○同七行中ニ切式式トアルハ切線式ノ誤リ

○同裏二行ノ分子中ニ $y^{1'2}$ トアルハ b'^2 ニシテ又分母中及ヒ

五行中ニ $\cos^2 \theta$ ノ2ヲ脱ス

○同六行故ニノ下ニ $a-b$ トアルハ a^2-b^2 ノ誤リ

○同八行中分數ノ分母 $a-a'$ ハ $a^2-a'^2$ ノ2ヲ脱ス

○同末行中 $a-b$ トアルハ a^2-b^2 ノ誤リ

○第十九葉表二行分數ノ分母中ニ $D^2 \cos^2 \theta$ トアルハ $B^2 \sin^2 \theta$ ノ誤リ

○同二行三行及ヒ五行ノ分數ノ分子中 $(b^2-b'^2)$ トアルハ皆ナ $(a^2-a'^2) = \text{改ム}$

○同裏十行中 n^2 ハ $2n$ 又十一行中 $n-n_1$ ハ $n(n-1)$ ノ誤ナリ

○第二十葉裏二行分數ノ分子ハ $b^2x^2 \{3a-2x\}x - (a-x^2)x^2$

ニシテ三行ノ分子ハ $a^4y^2x - (a^4+3ab^2x - 2b^2x^2)x^2y^2$ ナリ

○同四行中 d/b ハ $d-6$ ニシテ -6 ハ $($ 又最末ニアル $\}$ ハノ誤リ

○第二十一葉表一行ノ式ハ左ノ如クニシテ又二行ノ式中

$$\frac{1}{6} \log \frac{\sqrt{x^2-x^6+2}}{x^2+1} - \frac{1}{6} \log \frac{\sqrt{x^4-x^2+1}}{x^2+1} \text{ノ誤リ}$$

其一 $y = -\frac{1}{6ax^3} (x+2\sqrt{1-x^2})^3 \sin^{-1}x + 2ax^2 \log x$

○同四行(二)ノ式中 $4n$ ハ $4m$ ノ誤リ

○第二十一葉表八行式中 g ハ q ニシテ最末ノ2ハ)ノ誤リ最末行中ノ b ハ e ノ誤リ

○同裏一行ノ式中 p ハ g ノ誤リ

藝文類聚卷之四

○ 同二行中(五)ノ分母 a ハ d ニシテ(六)ノ式ハ $\left(\frac{1+d^2}{1-d^2} \right)$ 又

(七)ノ式ハ $\frac{2x^{ph}}{3k\sqrt{2g}}$ 誤リ

○ 同七行最末ノ PM ハ OM ナリ

社長 神田孝平

總理 岡本則錄

編輯 福田理軒

印刷 大村一季

賣捌所

東京芝區柴井町

土屋忠兵衛

同 日本橋區本町三丁目

清水卯三郎

明治十二年六月七日

毎月第一土曜日刊行

東京數學會社雜誌

第十六號



- 一 本社ノ大意ハ第一號ノ題言ニ依テ知ルベシ
- 一 本號ノ諸問題ハ入社人ヨリ蒐輯スル所ニシテ其答商ハ必ス次号ニ記載ス可シ
- 一 入社人ニ非ザル者ト雖厄奇異ノ諸題ヲ投スレハ其題ノ巧拙ニ因リ之ヲ取捨シ記載スベシ
- 一 諸名義譯例等ハ漸次ニ改正ス可シ
- 一 集會ハ毎月第一土曜日午後一時ヨリ湯島昌平館ニ於テス
- 一 入社セント欲スル者ハ集會日コ該館ニ來リ名刺住所ヲシテ出ス可シ

明治十二年六月

東京數學會社

東京數學會社雜誌第十六號

第一套

算數學雜問

- 一 算術書ニ曰ク某數ノ一位數ヲ四倍シ之ヲ十位ト見倣ス
 以上ノ數ニ加シ其和ヲ十三ニテ精除スルヲ得ル時ニ其
 某數モ亦十三ニテ精除スルヲ得ルト問フ何故ニ然ルヤ
- 二 又曰ク某數ノ一位數ヲ五倍シ之ヲ十位前ニ以上ノ數ヨリ
 減シ其差ヲ十七ニテ精除スルヲ得ル時ニ其某數モ亦十
 七ニテ精除スルヲ得ルト問フ何故ニ然ルヤ
- 三

六人ノ木匠アリ甲乙カノ比ハ五ト三ナリ丙丁時間ノ比ハ六ト五ナリ戊四人ニシテ己三人ノ業ヲ爲シ乙業ノ^五三ハ丙業ノ^七四ニ適シ丁ハ工直三圓平方ノ^一ヲ得ル毎ニ戊ハ^三圓ノ平方ヲ得ヘシ若シ一周毎ニ己三圓五十錢ノ工直ヲ得ルトセハ甲百圓ヲ得ルノ日數幾何

四

或學校ニ於テ授業料及ヒ食料共ニ四圓十二錢五厘ナリシニ米價騰貴ノ故ヲ以テ四圓三十七錢五厘ト爲レリ然シ前ハ壹石ノ米價六圓五十錢ニシテ後ハ一圓ノ米量一斗三升三合^三ナリ若シ一石ノ米價七圓ノ時價ト爲ラハ授業料及ヒ食料共ニ若干金トナランヤ但シ授業料ハ常ニ昂低ナシ

五

我壹萬二千圓價ノ貨物ヲ買ヒ其^一ハ現金ニシテ^三ハ三個月ノ後餘ハ六個月ノ後ニ價金ヲ拂ハン^一ヲ契約セリ然シ全價ノ^四ヲ現金拂ニシテ餘ハ遞次等差時限ヲ以テ每次等ク三次ニ拂ハントセハ其等差時限幾何

六

我嘗テ某書ニ於テ閱スル^一アリ甲乙相向フテ同時ニ發足シ相逢フ^一ノ後甲ハ乙ノ經過セシ道ヲ行キ乙ハ甲ノ經過セシ道ヲ行キ各々ノ時間ヲ費セシ時ニ其時間相乘ノ平方根ハ發足ヨリ相逢フニ至ルノ時間ヲ與フルト云フ其故何^ニヤ

第二套

代數學雜問

一

$ax-by=0, ax-cz=0, cz-by=0$ 此ノ如キ三元方程式アリ

x, y 及 z 量ヲ求ム

二

$x^2y^2=P(x^3+y^3)$ 方程式アリ此式中ノ x 及 y ハ x', y' ノ兩函
數ナリ今單函數 x' ナテ y' 量ヲ顯ス處ノ新式ヲ求ム

三

$x^m+Ax^{m-1}+Bx^{m-2}+Cx^{m-3}+...Sx+T=0$ ノ如キ高次方程式アリ其
第四項即チ Cx^{m-3} ナ脱落スル處ノ新式ヲ作ラシニハ定數 m
及ヒ A. B. C. 等ノ關係式ハ如何

四

魯敏遜氏代數書ニ曰ク x^2P+1 際限根式 式ヨリ得タル數量ハ
 $x^m+Ax^{m-1}+Bx^{m-2}+...Tx+U=0$ ナル高次方程式ノ最大正根ヨリ

必ス大ナリト 我同氏ノ解術ヲ閱スルニ氏ハ x^2P+1 ナ
預定シ之ヲ某連式中ノ x ニ代用シ術ヲ行フテ以テ右公式
ヲ探決シタルカ如シ今同氏ノ如キ探求法ヲ用キス術理ノ
自然ニ因テ氏カ如キ公式ノ証ヲ見ルヲ如何

但シ P ハ木式中最大ノ負係數ニシテ n ハ第一負係數ノ
前ニ順立スル處ノ項數ナリ例ハ $x^m+Ax^{m-1}+Bx^{m-2}-Cx^{m-3}$
 $+Dx^{m-4}+...$ 式ニ於テ n ハ三ナルカ如シ

五

x 或ハ x, y ナ含メル某方程式アリ此等ニ換ユルニ或特數ナ

十八号

以テセハ其式ノ一方爲メニ0トナル此ノ如キ性質ヲ有
スルノ方程式ニ就テ説論スヘキノ件々ハ如何ナルモノゾ

第三套

幾何學雜問

一

三角形アリ隨意ノ平行二線ヲ画シテ其面積ヲ三等分スル
ノ規矩術如何

二

面積及ヒ二定線アリ一定點ヲ過キテ引ケル直線ハ其二定
線ト相交リテ其面積ニ等キ三角形ヲ界成スルノ規矩術ヲ
問フ

三

一直線中ニ非サル三定點ヨリ引ケル三直線ハ一定線中一
點ニ會シテ其和最モ短ナリト云ハ、其點ノ位置ハ如何

四

一直線中ニ非サル三定點ヨリ引ケル直線ヲシテ一點ニ會
セシメ其和最小ナルヲ望マハ會點ノ位置ヲ如何ニ定メン
哉

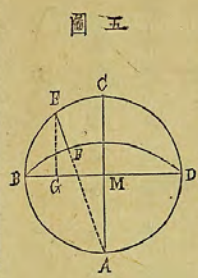
五

上野繼光

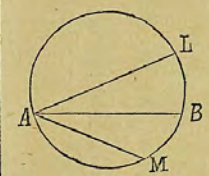
圖ノ如ク圓内ニ正方形ヲ作り其一角點Aヲ中心トシ其一
邊ヲ半徑トシテ以テBHD弧ヲ作り圓周中任意ノE點ヨリA
ニ向ヒEF線ヲ作り以テBEF面ヲ界ス今圓ノ半徑及ヒMGヲ前
知シ以テBEF面積ヲ算スルヲ求ム

英書抄譯

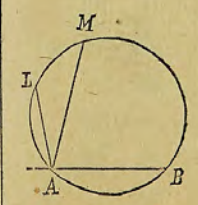
一六 AB 定線アリ A ナ過キテ引ケル二直線ハ AB ニ據テ等角ヲ作
 リ A 及ヒ B 點ヲ過キテ画セル一圓周ハ L 及ヒ M ニ於テ右
 二直線ニ交ルアリ若シ AB ハ AL 及ヒ AM ノ中間ニ在ル時ハ AL
 及ヒ AM ノ和ハ常數ナリ若シ又 AB ハ AL 及ヒ AM ノ一方ニ在ル
 時ハ AL 及ヒ AM ノ差ハ常數ナリト云フ之ヲ証スルヲ求ム
 七 圓内或ハ圓外ノ二定點ヨリ其周ノ一點ニ引ケル直線ノ和
 最短ナルノ點ヲ決セヨ



一 圖六



二 圖六



第四套 三角術雜問

一

圖ノ如キ ADCABC 三角形アリ前知 C 角點ヨリ AB 邊上ニ CD 垂線ヲ
 引キ以テ ADCABC 及ヒ BDC ナル兩三角形トナス而シテ其容圓心 E
 及ヒ F ヨリ A、B、C 角ニ向ヒ直線ヲ引キ又 EF ナ結合シテ新
 ニ AEF BEF CEF ナル三個ノ三角形ヲ作ル此等ノ面積ノ和ハ如何
 ナル式ゾ

二

圖ノ如キ ABC 三角形アリ前知其容圓心 E 及ヒ圍圓心 F ヨリ
 各角點ニ向ヒ直線ヲ引キ又 EF ナ結合シテ新ニ AEF BEF CEF ナル
 三個ノ三角形ヲ作ル此等ノ面積ノ和ハ如何ナル式ゾ

三角術百問ノ内

磯野 健

三 斜三角形アリ a 邊垂線及ヒ A, B 角差ヲ以テ b 邊ヲ問フ

四 同 A 角垂線及ヒ a, b 邊差ヲ以テ c 邊ヲ問フ

五 同 同 A 角垂線及ヒ B, C 角差ヲ以テ A 角ヲ問フ

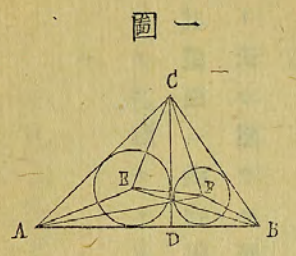
六 同 同 a 邊ト垂線ト相等シ b 邊及ヒ c 邊ヲ以テ A 角ヲ問フ

七 同 同 a 邊ト垂線ト相等シ b 邊及ヒ c 邊ヲ以テ A 角ヲ問フ

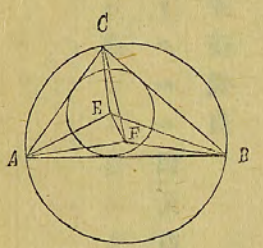
八 雪稜三角形アリ 三邊和及ヒ B, C 角差ヲ以テ a 邊ヲ問フ

上野 繼光

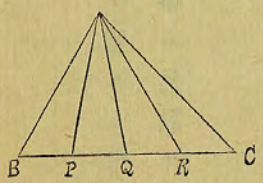
九 三角形アリ 圖ノ如シ 頂角 A ナ 四等分シ AP, AQ, AR 線ヲ作ル 此
 三線 $AP = a, AQ = b, AR = c$ 前知以テ 三角及ヒ 三邊ヲ求ム
 同
 不等四邊形アリ 其四邊ハ a, b, c, d 其面積ハ p^2 前知ナリ 四
 角ヲ求ム



圖一



圖二



圖八

第五套

圓錐曲線法雜問

一

圓錐ノ頂點ヨリ底圓心ニ向ヒ長ノ直線ヲ引シト想像ス
今其截面ニ拋物線ヲ作リタルニ偶此直線中ニ焦點ヲ得
リト云フ然ラハ底圓ノ半徑幾何

二

正高 h 底圓半徑 r ナル圓錐ヲ斜截シテ橢圓ヲ得其中心 O
ヨリ圓錐ノ心線點及ヒ焦點ニ至ルノ比ハ $m:n$ ナリ其截面及
ヒ底面ノ間 α ノ角ヲ求ムル術ヲ問フ

三

正高 h 底圓半徑 r ナル圓錐ヨリ a 面積ノ拋物線ヲ截成セ

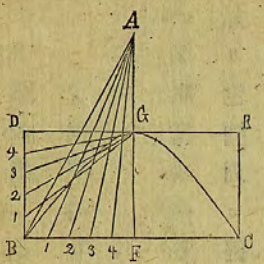
ハ縱線及ヒ横線幾何

四

又前題ノ圓錐ヲ斜截シ短徑 $2b$ 面積 A ノ橢圓ヲ得ルアラハ
截面ト底面トノ間 α ノ角ヲ顯スヘキ式ハ如何

五

「テート」氏幾何學ニ雙曲線ヲ書スルノ一法ヲ説テ曰ク圖ノ
如ク ABC 二等邊三角形ノ底邊ニ EB ナル長方形ヲ作リ BF 及ヒ
 BD ナ各同數ニ若干等分シ A 點ヨリ BF 邊
ノ各分點ニ向ヒ直線ヲ引キ又 G 點ヨリ
 DB 邊ノ各分點ニ向ヒ直線ヲ引ク然ル後
ナ各同号線ノ交點ヲ結合スル時ハ其象
自ラ雙曲線ヲナスト其故何ゾヤ



第六套

代數幾何學雜問

一 **三十三号**

一定點及ヒ一定圓(定點ハ定圓ノ内外ヲ論セス)アリ定點ニ
始リ定圓周ニ終レル數直線ヲ引キ此等ノ直線長ノ半點ヲ
結合スレハ其象何線ヲ成スヤ

二 **三十三号**

一定直線及ヒ一定圓(定直線ハ定圓ノ内外ヲ論セス)アリ定
線ト任意角ヲ以テ交ルヘキ平行數直線ヲ引キ定圓周ニ至
ラシム而シテ定直線ト定圓周トノ間タニ在ル各直線ノ半
點ヲ結合スレハ其象何線ヲ成スヤ

三

擺線及ヒ其轉圓ノ二交點ヲ過クル處ノ直線ノ方程式ヲ求

ム

四

拋物線ニ引ケル三觸線ニ成レル三角形アリ其容圓圍圓ノ
中心ヲ過クル處ノ直線ノ方程式ヲ求ム

五 **三十三号**

二等圓相背觸スルアリ其二圓心ヲ過キテ一直線ヲ引キP
及ヒQニ於テ兩圓周ニ相交レリ今P及ヒQヲ焦點トシテ
等圓周ニ切觸スル處ノ橢圓ヲ画セハ其長短徑幾何 但シ
等圓半徑 r ヲ與フ

六 **三十三号**

橢圓ノ長徑一端ヨリ短徑兩端ニ向ヒ二直線ヲ引クアリ此

二直線ニ觸レ且ツ楕心及ヒ一焦點ヲ過クルヲ要シテ一圓形ヲ画セハ其楕率幾何

七 三十五号

楕圓式 $a^2y^2 + b^2x^2 = a^2b^2$ ヨリ拋物線式ヲ化生スルヲ求ム

八

拋物線ノ法線ヲシテ直角三角形ノ弦トシ其直角點ヲ拋物線中ニ在ラシム若シ拋物線ノ通徑其三角形ノ中勾トナシカラシムルヲ要セハ其直角點ノ位置ヲ如何ニ定メシヤ

九 三十五号

伊藤直温

圖ノ如ク扇形内ニ其周邊ノ五處ニ觸接シテ楕圓ヲ容ル、アリ只云フ内外背ノ中心ハ相同ク而シテ内背ノ半徑ハ外背ノ半徑ノ半ナリ今外背ノ半徑ヲ r トシ内背ノ中心ヲ直

角トスレハ楕圓ノ長短徑各幾何

十 三十五号

大村一秀

三角形ノ三邊ヲ曳長シ其内外ニ凹圓等軌線轉四個ヲ画シ各周左右邊一所ト底邊二所トニ切ス外切三個ノ凹圓中軸徑凹突ヨリ頂 a, b, c ナテ内切凹圓ノ中軸徑 d ナ求ムトハ $\frac{ab}{c}$ ナ得ル起原如何

十一

英書抄譯

圖ノ如ク一定點 O ヨリ引ケル直線 OX 於テ A, B, C, D 等ノ點ヲ取リ此等ノ點ヲ通過シテ隨意ノ直線ヲ引キ又定點 O ニリ此等ノ直線ヲ切ル處ノ數直線ヲ引ク然ル時 $\frac{1}{OX} = \frac{1}{OA} + \frac{1}{OB} + \frac{1}{OC} + \dots$ 於テ得タル OA 線中ノ X 點ノ踪跡ハ一直線ナリ其証ヲ求ム

十二

同

$r = A \cos(\theta - \phi) + B \cos(\theta - \phi') + C \cos(\theta - \phi'') + \dots$ 方程式ノ踪跡ヲ決スル
ヲ求ム

十三

同

$y^2 = 4ax$ 拋物線ニ於テ二觸線ヲ引クアリ此觸點ノ横線ノ比
ヲ $1:u$ トス然ル時此二觸線ハ軸線ノ同方ニ在テ觸點ヲ持ツ
時ニ其交點ノ踪跡式ハ $y^2 = (u^{\frac{1}{2}} + u^{-\frac{1}{2}})^2 ax$ ナリ又若シ異方ニ在
テ持ツ時ニ $y^2 = (u^{\frac{1}{2}} - u^{-\frac{1}{2}})^2 ax$ ナリ其証ヲ舉ケヨ

十四

同

$\frac{a^2}{a^2} + \frac{b^2}{b^2} = (a^2 - b^2)^2$ 曲線中ノ某點ヨリ直線ヲ引キ此直線ヲシテ
 $\frac{a^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ 橢圓ノ觸線ヲラシメハ其觸トレテフコンタクト 弦ハ此橢圓ノ法線
タルヘシト云フ之ヲ証セヨ

十五

同

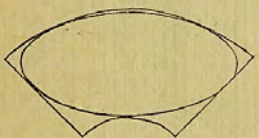
拋物線ニ引ケル二觸線ハ常ニ ϕ 角ヲ有スルナラハ其交點
ノ踪跡ハ同焦點及ヒ同準線ヲ持ツ處ノ雙曲線ナリト云フ
之ヲ証セヨ

十六

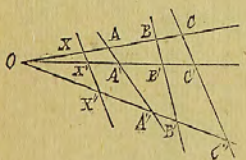
柳 猶 悅

某點ヨリ拋物線ニ引ケル切線相乗ヲ以テ其法線ノ相乗ヲ
除スル起原ヲ問フ

圖九



圖一十



第七套

連直線式雜問

左ノ五題ハ「トードホントル」氏「コニック、セクシヨン」ヨリ拔出シタルモノナリ連直線式ノ性質及ヒ文字ノ用法ハ此書ニ就テ學ヒタル輩ニ非レハ解シ易シトセス近世泰西ノ算家此法ヲ研究スルモノ少カラスト云フ依テ茲ニ題ヲ設ケテ次號ニ其解義ヲ載セ我輩同志ノ一助ニ供セントス

一

$\varphi = 0, \varphi' = 0, \varphi'' = 0$ ナ ABC 三角形ノ三邊ノ方程式トセハ其容圓圍圖ノ中心ヲ過クル處ノ直線式ハ次ノ如シ之ヲ得ルノ術ヲ問フ $\varphi'(\cos B - \cos C) + \varphi''(\cos C - \cos A) + \varphi'''(\cos A - \cos B) = 0.$

二

$\varphi = 0, \varphi' = 0, \varphi'' = 0$ ハ ABC 三角形ノ三邊ノ方程式ニシテ A, B, C. ハ其反對角ナリ然ル時 $\varphi \sin A - \varphi' \sin B = 0$ ハ C 角ヨリ AB 邊ヲ二等分セル直線式ナリト云フ之ヲ証セヨ

三

$l\varphi + m'\varphi' + n''\varphi'' = 0, l'\varphi + m''\varphi'' + n'''\varphi''' = 0$ ニ直線ノ交點ヨリ $l\varphi + m'\varphi' + n''\varphi'' = 0$ 直線ニ向フテ引ケル垂線ノ長ヲ求ム

四

左之三式ハ總テ $(\varphi_1, \varphi_2, \varphi_3)$ 及ヒ $(\varphi_2, \varphi_3, \varphi_1)$ ニ點間ノ距離ノ平方ナリト云フ之ヲ証セヨ

$$(\varphi_1 - \varphi_2)^2 + (\varphi_1' - \varphi_2')^2 + 2(\varphi_1 - \varphi_2)(\varphi_1' - \varphi_2') \cos C$$

$$(\phi_1 - \phi_2)^2 \sin^2 A + (\phi_1 - \phi_2)^2 \sin^2 B + (\phi_1 - \phi_2)^2 \sin^2 C$$

$$2 \sin A \sin B \sin C$$

$$(\phi_1 - \phi_2) \times (\phi_1 - \phi_2) \sin A + (\phi_1 - \phi_2) \times (\phi_1 - \phi_2) \sin B + (\phi_1 - \phi_2) (\phi_1 - \phi_2) \sin C$$

$$\sin A \sin B \sin C$$

五

$l^2 a^2 + m^2 b^2 + n^2 c^2 - 2lmab - 2mbca - 2nlca$ ハ負數、零、或ハ正數トナルニ從
 ナテ $l^2 \phi_1^2 + m^2 \phi_2^2 + n^2 \phi_3^2 = 0$ ハ一般ニ橢圓、拋物線、或ハ雙曲線ト
 ナルヘシト云フ之ヲ証セヨ

第八套

一 三軸式雜問

一

三平面ハ一直線ニ於テ相交ル時ニ定數中如何ナル關係ヲ
 領スルヤ

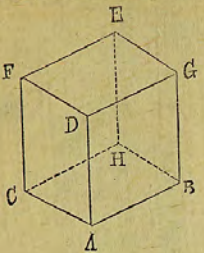
二

前知三點ヲ過ル處ノ一平面ハ三軸面ト相會シテA、B、C角
 ナ作り此等ノ角ヲ二等分スル處ノ三平面ハ又相會シテP
 點ヲ得此P點ノ位置ヲ顯スヘキ縱橫高三線各如何

三

上野 清

ABDEFGHナル正角長方体アリ其角隅ノ
 三點F、G、Hヲ通過シテ平面ヲ截ル而シテ
 A及ヒE點ヨリ其面ニ垂線ヲ落ス時ハA
 ヨリ落ス垂線ノ長サハEヨリ落ス垂線ニ
 二倍スト云フ其証ヲ求ム



四 英書抄譯

若シ三直線ハ互ニ直角ヲ以テ $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} + \frac{z^2}{c^2} = 1$ 橢圓体ニ觸シ
 而シテ (x', y', z') 點ニ於テ相交ルナラハ次式ヲ得ヘシ之ヲ
 証セ $x'^2(b^2+c^2) + y'^2(c^2+a^2) + z'^2(a^2+b^2) = b^2c^2 + c^2a^2 + a^2b^2$.

五 同

$\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} + \frac{z^2}{c^2} = 1$ ナル兩橢圓体ニ各通觸面ヲ引
 ク時ニ原點ヨリ其面ニ向ヒ引ク處ノ垂線ハ次式ニ見ハセ
 ル圓錐面上ニ在ルヘシト云フ其証ヲ求ム
 $(a^2 - x'^2)x'^2 + (b^2 - y'^2)y'^2 + (c^2 - z'^2)z'^2 = 0$.

第九套

微分積分法雜問

一

橢圓 長徑 $2a$ ノ長徑ヲ直徑トシテ之ニ画ケル圓形アリ一縱
 短徑 $2b$ ノ短徑ヲ直徑トシテ之ニ画ケル圓形アリ一縱
 線ヲ画シテ兩曲線ニ交ハラシメ以テ P 及ヒ Q 點ヲ得又橢
 圓 C 上 P, Q 上トナ結合シテ PCQ 三角形ヲ作り此三角形内ノ容
 積ヲシテ最大ナラシメハ其中心ノ位置如何

二

圓錐形ノ底面心ニ尖點ヲ持タシメテ之ヨリ最大ナル尖圓
 體ヲ製作セ \checkmark トナ求ム但シ圓錐正高 h 底圓半徑 r ト知ル
 べシ

三

尖圓(縱徑 a 横徑 b) 周ノ彎點 ポイント、チーフ ポイント、チーフ ニ引ケル觸線ハ其縱徑ニ相交リテ一點ヲ得此點ヲ中心トシ尖圓周ニ觸レテ画ケル圓形ハ如何ナル直徑ヲ領スルヤ

四

擺弧線ヲ伸シテ一直線トナシ之ヲ横軸トシテ此軸端ニ垂線ヲ立テ之ヲ縱軸トス而シテ擺弧ノ或長サヲ横線トシ之ニ適應セル縱線ヲ縱線トセハ此ノ如キ縱横線ノ各點ハ自ラ一種ノ曲線ヲ成ス此曲線ノ長サヲ求ム并ニ此曲線及ヒ横線ノ間ヲニ含メル面積ヲ問フ 左ニ略圖アリ

五

平面中一定點ヲ設ケ此點ヨリ d 距離ノ點ニ於テ運動ヲ始メ常ニ定點ニ向フヒ定角(九十度ヨリ少シ)ヲ有タシメハ其

踪跡自ラ一種ノ螺旋狀ヲ成スヘシ此螺旋ノ全長ヲ問フ并ニ右 d 長線及ヒ螺旋線ヲ以テ界スル全面積ヲ問フ

六

又球ノ半徑 r 也面ニ於テ前題ノ如キ螺旋線全長及ヒ全面積ヲ問フ

七

三十五号

關口 開

$$y = \frac{\sin x}{x} \quad \text{ナ微分スレハ} \quad \frac{dy}{dx} = \frac{y(\cos x - \sin x)}{\sin^2 x} \quad \log \frac{ey}{\sin x} \quad \text{ヲ得}$$

但シ式中 e ハ $(1 + \frac{1}{x})^x$ ノ極數ナリ

八

荒尾 岬

今有如图大球内容中球一箇小球三箇只云大球徑若干欲使中球徑最小問得小球徑術如何

九

三十五号

肝付兼行

拋物線ノ焦點ヨリ全曲線ニ引キタル無數直線ノ平均長ハ其横線ノ半ト通徑四分ノ一ノ和ナリト云フ之ヲ証セヨ

十

磯野 健

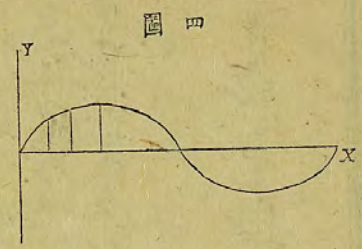
圖ノ如ク直線上ニ拋物線(横軸ハ半縦軸ニ等シ)ヲ置キ此直線ニ正交線ヲ引キ之ヲ縦軸トス今右直線ヨリ拋物線ニ無數ノ垂直線 PN P'N' 等ヲ引キ又之ト同長ノ PQ P'Q' 等ヲ引キ拋物線ノ軸ニ平行セシムル時ハ Q, Q' 等ノ踪跡自ラ成象アルナリ今拋物線ノ通徑ヲ 4a トスレハ成象ノ周長ヲ得ルノ式如何

十一

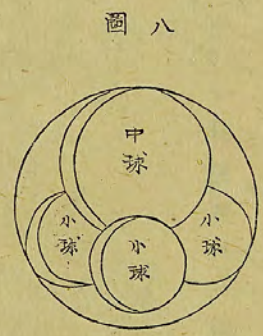
十八号

大村一秀

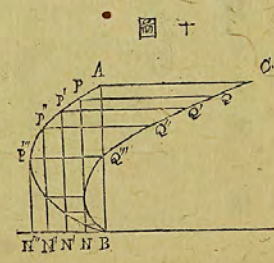
拋物線体ノ頂點ニ切シテ最大圓柱ヲ穿去ス通徑 4a ナ以テ穿去積ヲ求ムルハ 20πa³ ナ得ル起原如何



圖四



圖八



圖十

十二

アルチメズ 亞奇氏螺線半匝(其象桃果ノ如シ)アリ中軸徑(凹突ヨリ頂點ニ至ル) a ナ以テ皮面積ヲ求ムルハ左ノ如シ起原如何

$$1 + r^2 = a, \quad 3 = m, \quad 5m - r^2 = m^2, \quad 7m^2 - r^2 m = m^3, \quad 9m^3 - r^2 m^2 = m^4, \dots$$

$$S = 2\sqrt{ma^2} \left(1 - \frac{m}{a} - \frac{m^2}{a^2} - \frac{3m^3}{a^3} - \frac{3 \times 5m^4}{a^4} - \dots \right)$$

第十套

微分方程式雜問

一 二十五号

次法線ハ縱線及ヒ横線各平方ノ差ヲ横線ニ倍ニテ除シ得タル商ニ等シト云フ時ニ其曲線式ハ如何

二

第二次微分商(即チ $\frac{d^2y}{dx^2}$)ハ横軸ノ下ニ在ル縦線ニ相等シ此曲線式ハ如何ナルモノゾ

三

英書抄譯

$$\frac{d^3y}{dx^3} (y - a \frac{dy}{dx}) + 3x \left(\frac{d^2y}{dx^2} \right)^2 = 0$$

チ還元スレハ如何ナル式ヲ得ルソ

第十一套

重學雜問

一

一直鍊線アリ其一端ヲ曲撓シテ半拋物線ヲ作り鍊線長 $10a$ ニシテ拋物線ノ通徑ハ $4a$ ナリ其縦線ハ鍊線ト直交シテ長サハ半通徑ニ等シ今鍊線ノ二端ヲシテ地平ト同高ナラシメント欲セハ支柱點ノ位置如何

二

橢圓体(長徑 $2a$ 短徑 $2b$)アリ長徑ノ一端ニル長ナル細糸ノ一端ヲ結付ケ之ト正交セル直線軸ニ其他端ヲ結付ケ以テ其体ヲ鈎垂ス若シ此体一秒時ニ右軸線ノ周邊ヲ一振スルモノト想像セハ同時振動中ノ重心ハ其軸線ノ鈎點ヲ距ル

幾何

三 三十九号

上野繼光

正面上ニ圓錐形ヲ置ク而シテ圓錐底面ノ半徑ト高トノ比
 ハ $m:n$ ノ如シ又圓錐底面ト平面トノ間タノ面阻力係數ヨリ
 トナス今平面ヲ將テ之ヲ傾ク時ハ $m \cdot n$ 及ヒ f ノ數量ニ因
 テ圓錐形或ハ斜面ヲ滑却シテ下タリ或ハ直ニ覆ル其傾
 角ノ界ヲ知ラントナ求ム

第十二套

問題解義

第一項

第十二号第四套ノ七題

肝付兼行 解

三角形 ABC ニ於テ次式ヲ証スルト如何

$$\cot \frac{A}{2} + \cot \frac{B}{2} + \cot \frac{C}{2} = \frac{a+b-c}{b+c-a} \cot \frac{A}{2}$$

(解) $A+B+C = 180^\circ \dots (1), \quad \frac{1}{2}(B+C) = 90^\circ - \frac{1}{2}A;$

$$\frac{a+b+c}{a} = \frac{\sin A + \sin B + \sin C}{\sin A}, \quad \frac{b+c-a}{a} = \frac{\sin B + \sin C - \sin A}{\sin A};$$

$$\frac{a+b+c}{b+c-a} = \frac{\sin A + \sin B + \sin C}{\sin B + \sin C - \sin A} \quad (1) \text{ 及 } (2) \text{ ナ注意シ之ヲ化シテ}$$

$$\frac{\cos \frac{1}{2}(B-C) + \cos \frac{1}{2}(B+C)}{\cos \frac{1}{2}(B-C) - \cos \frac{1}{2}(B+C)} = \frac{\cos \frac{1}{2}B \cos \frac{1}{2}C}{\sin \frac{1}{2}B \sin \frac{1}{2}C};$$

$$\frac{a+b+c}{b+c-a} \cot \frac{1}{2}A = \frac{\cos \frac{1}{2}A \cos \frac{1}{2}B \cos \frac{1}{2}C}{\sin \frac{1}{2}A \sin \frac{1}{2}B \sin \frac{1}{2}C} \quad \text{再 } (1) \text{ 及 } (2) \text{ ナ注意シ之ヲ化シテ}$$

$$\frac{\frac{1}{2} \sin \frac{1}{2}(A+B) \cos \frac{1}{2}(A+B) + \frac{1}{2} \sin \frac{1}{2}(A+B) \cos \frac{1}{2}(A-B)}{\frac{1}{2} \sin \frac{1}{2}(A+B) \cos \frac{1}{2}(A+B) - \frac{1}{2} \sin \frac{1}{2}(A+B) \cos \frac{1}{2}(A-B)}$$

$$\frac{\sin \frac{1}{2}(A+B) \cos \frac{1}{2}(A+B) + \sin \frac{1}{2}(A+B) \cos \frac{1}{2}(A-B)}{\sin \frac{1}{2}(A+B) \cos \frac{1}{2}(A+B) - \sin \frac{1}{2}(A+B) \cos \frac{1}{2}(A-B)}$$

$$= \frac{\sin^2(A+B)}{\sin^2 A \sin^2 B} + \frac{\sin^2(A+B)}{\cos^2(A+B)} = \cot^2 A + \cot^2 B + \cot^2 C \text{ ナ得}$$

茲ニ於テ問ニ合スルノ証ヲ見ル

第二項

松平宗次郎 解

第十四号第四套ノ五題

$a \cos \phi = b \cos \theta$ ナル時、 $\cot \frac{\phi}{2} + \cot \frac{\theta}{2} = \frac{a+b}{a-b}$ トナル其証如何

解) 本題ニ因テ $\cos \phi = \frac{b}{a} \cos \theta \dots (1)$ 、此兩節ニ $\cos \theta$ ナ加フレハ

$$\cos \phi + \cos \theta = \frac{(a+b)\cos \theta}{a}, \text{ 即チ } \cos \frac{\phi}{2} + \cos \frac{\theta}{2} = \frac{(a+b)\cos \theta}{2a} \dots (2)$$

又(1)兩節ヨリ $\cos \theta$ ナ減スレハ

$$\cos \phi - \cos \theta = \frac{(a-b)\cos \theta}{a}, \text{ 即チ } \sin \frac{\phi}{2} + \sin \frac{\theta}{2} = \frac{(a-b)\cos \theta}{2a} \dots (3)$$

今(3)以テ(2)ノ同節ヲ除スレハ

$$\frac{\cos \frac{\phi}{2} + \cos \frac{\theta}{2}}{\sin \frac{\phi}{2} + \sin \frac{\theta}{2}} = \frac{a+b}{a-b}$$

$$\therefore \cot \frac{\phi}{2} + \cot \frac{\theta}{2} = \frac{a+b}{a-b} \text{ ナ得テ以テ問ヲ証ス}$$

第三項

柳 猶 悦 自 解

第十四号第十套ノ一題

某點ヨリ拋物線ニ三法線ヲ作ラントス規矩術如何

柳君自解略ニ曰ク拋物線正圓線相交四點ノ縱線ヲ連加
 スルモノハ空ナリ又或點ヨリ拋物線ニ三法線ヲ作ル其
 三、交、地、縱、線、ハ、和、モ、又、空、ナ、リ、故、ニ、拋、物、線、ニ、或、點、ヨ、リ、作、ル
 三、法、線、曲、線、ニ、交、ル、三、地、ニ、親、ニ、圓、ヲ、作、ル、時、ハ、必、ス、曲、線、ノ
 頂、ニ、交、ル、ト、明、ナ、リ、今、其、圓、心、ノ、縱、横、線、ヲ、求、ム
 圓、心、ノ、縱、線、ハ、或、點、縱、線、ノ、四、分、一
 同、横、線、ハ、同、横、線、ノ、二、分、一、ニ、正、矢、ヲ、加、フ

嘉一郎曰ク柳君自解ノ略說簡ニシテ意盡セリ亦何ソ之ニ加ヘン然リト雖厄唯憾シハ小生カ如キ不練ノ徒之ヲ見レハ藐乎トシテ其意解シ易カラサルカ如シ小生嘗テ此題ヲ解議ニ從事セリ偶マ柳君ノ寄解ヲ得之ト照會スレハ其術理同一ナルモノヲ見ル依テ同君解說ノ意ニ基キ之ヲ解解シテ蛇足トナス丁左ノ如シ

柳君文中、、、、ヲ解ス

拋物線中 (x, y) 點ヲ過キテ引ケル法線式ハ $y - y' = \frac{y'}{2a}(x - x')$ ナリ若シ此法線ハ (h, k) ナル或點ヲ過シル時ニ $k - y' = -\frac{y'}{2a}(h - x')$ ノ如ク書スヘシ今 y' 量ヲ決スルニ於テ $x' = \frac{y'^2}{4a}$ ナ注意シ以テ右法線式ニ代用スレハ $y'^3 + 4a(2a - h)y' - 8a^2k = 0 \dots (1)$ ナ得

今此成式ヲ視レハ (h, k) 點ヲ過キテ引ケル三法線ト曲線トノ交點ノ縱線(即チ y' 量)三個アル丁ヲ知ル而シテ又此等ノ和ハ零トナル丁ヲ知ル如何トナレハ此三次式ニ於テ第二項 y'^2 ノ係數零ナルヲ以テナリ

柳君文中、○○○○ヲ解ス

又圓形ノ方程式ヲ $(x' - b)^2 + (y' - c)^2 = r^2$ トス然ル時此圓式ノ x' 量ヲ以テ拋物式 $y'^2 = 4ax'$ ニ代用シテ之ヲ化スレハ $y'^4 + 8a(2a - b)y'^2 - 32a^2cy' + 16a^2(c^2 - r^2) = 0$ ナ得今此成式ヲ視レハ y' 量(即チ兩曲線ノ交點ノ縱線)四個アル丁ヲ知ル而シテ此等ノ和モ亦零トナル丁ヲ知ル如何トナレハ此四次式ニ於テ第三項 y'^3 ノ係數零ナルヲ以テナリ今若シ此四縱線ノ三ナシテ前ニ得タル三縱線ト等シカラシメハ他ノ一縱線

幾何法ニテ之ヲ顯セリ小生亦偶、軸線式ニ據テ其第二第三
 題ノ解義ヲ作レリ左ノ如シ

(解) 小圓半徑ヲ r トシ大圓半徑ヲ R トシ觸圓ノ半徑ヲ r' ト
 シ大小圓心ノ距離 ΔB ヲ d トス A ヲ原點トシ AB 及ヒ AY ヲ
 直交ノ兩軸トス而シテ CD (C ハ觸圓心 D ハ AB 線中ニ在リ)ハ AY ト平行ニ引
 ケル直線ナリ然ル時術ニ因テ

$$AD = \frac{r^2 - r'^2 + d^2 + 2r'^2(r - r')}{2d},$$

$$CD = \frac{1}{2d} \left\{ 4d^2(r - r')^2 + [r^2 - r'^2 + d^2 + 2r'^2(r - r')]^2 \right\}^{\frac{1}{2}} = \frac{E}{2d};$$

夫故ニ $r^2 - r'^2 + d^2$ ヲ P ト名クレン

$$AC \text{ 直線ノ方程式ハ } y = \frac{Eax}{P + 2r'^2(r - r')} \dots \dots (1),$$

$$BC \text{ 同斷 } y = \frac{2d^2 \{ P + 2r'^2(r - r') \}}{E(x-d)} \dots \dots (2).$$

(1) 及ヒ(2)式ヲ各ニ乗シ後チ(1)ヲ以テ(2)ノ同節ヲ除シ又

術ヲ行フテ r^2 量ヲ求ムレハ終ニ

$$r^2 = \frac{2ax(r'^2 - r^2) + dP}{2(r - r')(2ax - d)} = \frac{d^2 - (r^2 - r'^2)(2ax - d)}{2(r - r')(2ax - d)} \text{ ナ得}$$

此 r^2 量ヲ以テ(1)式ニ代入シ後チ化法ヲ行フテ終ニ

$$d^2 y^2 = [(r - r')^2 - d^2] ax^2 - d[(r - r')^2 - d^2] x + \left\{ \frac{d[(r - r')^2 - d^2]}{2(r - r')} \right\}^2 \text{ ナ得}$$

此成式ニ於テ $(r - r')^2 > d^2$ ヲ要スレハ

餘論
ア
ン
ヒ
茲
ニ
畧
シ
ヌ

$Ay^2 - Bx^2 + Cx - D = 0$ 公式ヲ得、是雙曲線ノ方程式ナリ

又 $(r - r')^2 < d^2$ ヲ要スレハ

$A'y^2 + B'x^2 - C'x - D' = 0$ 公式ヲ得、是橢圓ノ方程式ナリ

但シ以上兩公式ニ於テ原點ハ焦點ニ在ルヲ知ルヘシ

附錄第二 第十四号投書第一條ニ酬フ 岡本 則錄

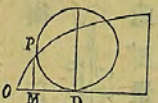
予曩日彼我東西立ル所數學ノ根理法則ニ自ラ長短優劣ナ

キ能ハサルノ一例トシテ勾股形内黒責ノ一題ヲ演ヘ其術
 義ヲ誤謬トナセシハ文義ヲ忽々ニ觀過セシ予カ過失ナリ
 寔ニ君カ駁說ノ如ク術義ニ誤謬アルトナシ是レ只管縷々
 ノ駁說ニ因リテ悟リヌ君ハ所謂一字ノ師ナル哉只憾クハ
 未タ其姓氏ヲサヘニ知ラス面謝セント欲スルモ由ナシ因
 リテ茲ニ之ヲ草シテ其懇論ニ酬フノミ

套外二題

向井嘉一郎

(1) 橢圓周ニ引ケル一觸線アリ其觸點ノ縱橫線如何ヲ知ラ
 ス之ニ適應スル處ノ法線ヲ引ク規矩術如何



擺線ノ始點ヲ原點トシテ橫線ニ倍ノ轉圓弧ニ適
 應スル處ノ縱線ヲ求ムル規矩術如何 但シ圖中
 Oハ原點 OMハ橫線 PMハ縱線 PDハ轉圓弧ナリ

第十五號答式

算數學 (1) 五十四個 $\frac{1}{5}$ ○代數學 (1) $\sqrt{\frac{n_1+4m}{5m}-n^2}=8$, $x=\frac{s+m^5}{2}$, $y=\frac{s-m^5}{2}$

(2) $(\frac{b}{a})^{\frac{1}{2}}=s$, $x=\frac{a}{1+(1-s)^2}$, (3) 三個、○幾何學 (2) $mm=P$, $(m-n)^2=q$.
 トスレハ四邊形外ノ積ハ $rs^2 \frac{(2P-q)(P^2-P^2)}{16R}$. ○三角法 (2) $x=\sqrt{3}$.
 $x=\frac{1}{2}sm^{-1} \frac{4}{(2n+1)\pi}$ ○代數幾何學 (1) 圓線、(3) 圓線ノ式ナリ、

(4) $\frac{a^2}{3\pi}$ (6) 四次曲線、○微分積分法 (1) $xy=\frac{C^2}{2}$, (2) $y^2=\frac{x^3}{x+p}$.
 但シ拋物線ノ頂點ヲ軸ノ原點トス、(3) 橫徑ヲ 2A トスレハ $2A=a$.

(4) $a=0$ ナル時其眞數價ハ二個ナリ、(7) $D=h+p$, (8) 長徑 $=\sqrt{\frac{6a}{10}}$

短徑 $=\frac{18b}{(247-14\sqrt{10})^{\frac{1}{2}}}$, (10) 極大ハ等邊三角形、極小ハ其積 $\frac{9a^2}{(2^2-4)^2}$. (11) (12)
 題者未タ答式ヲ投セス、(13) a ナ無窮大、(14) a ナ体ノ尖頂ヨリ其一點ノ

距トシ尖頂角ヲ $2b$ トスレハ其曲線長ハ $2a \sin(\pi \sin b)$ ナリ、○微分方程式
(1) $y = C \cos 2x + C_1 \sin 2x + C_2 \cos 3x + C_3 \sin 3x + \frac{1}{20} x \sin 2x$ (c) 楕圓或ハ雙曲線

○力學 (1) 其直距離ハ $\frac{5}{4} r$ (2) 題者未タ答式ヲ投セス、(3) 大約
二十四萬英里、(4) 尖圓ノ全質率ヲ M トスレハ、楕力率ス $\frac{3}{4} M^{1/2}$ 。

第十五號正誤

○第二葉九行 其圓積ハ四邊形外ノ圓積ノ誤、

○第八葉表六行ノ式中第二ノ十標ハ二標ノ誤、

○同裏九行 Q 、ノ次ニ(其距ハ C) ナ脱セリ、

○第十三葉中 v 、ハ總テ V ト見又 v 、ハ V_0 ト見ル可シ

○第十四葉表七行 RC | ハ BC ノ誤、

社長 神田孝平

總理 岡本則錄

編輯 向井嘉一郎

印刷 大村一秀

賣捌所

東京芝區柴井町

土屋忠兵衛

同 日本橋區本町三丁目

清水卯三郎

